

令和5年度観光客動向調査

調査結果

【海の京都】

2024年3月

目次

実態調査結果	3
I 調査概要	4
1 調査目的	4
2 実施概要	4
3 報告書の見方	5
II 調査結果	6
1 基本属性	6
(1) 居住地	6
(2) 性別・年齢	7
2 旅行の状況	9
(1) 宿泊の有無	9
(2) 宿泊数	12
(3) 京都府及びエリアへの訪問回数	13
(4) エリア別の宿泊都道府県・府内市町村	15
(5) 旅行行動（居住地からの交通手段）	18
(6) 旅行行動（海の京都の立ち寄り都道府県）	22
(7) 旅行費用	24
満足度調査結果	33
I 調査概要	34
1 調査目的	34
2 実施概要	34
3 報告書の見方	35
II 調査結果（日本人調査）	36
1 基本属性	36
(1) 居住地	36
(2) 性別・年齢	37
2 今回の旅行について	39
(1) 宿泊の有無／宿泊数	39
(2) エリア以外の旅行先	40
(3) エリアへの訪問回数	41
(4) 旅行の際に重視した点（複数回答）	42
(5) 旅行の際に重視した点（単一回答）	43
(6) エリアへの主な交通手段（複数回答）	44
(7) 訪問の際に活用した情報源（複数回答）	45
(8) 使用した支払い手段	47
(9) 利用できなかった支払い手段	48
(10) 利用できなかった場面（施設）	49
(11) コンテンツ／観光資源に対する事前期待度・体験時の満足度の平均点	50
(12) コンテンツ／観光資源に対する体験時の満足度・他人への推奨度の平均点	51
(13) 地元の方との交流について	52
(14) エリアへの再訪問意向	53
(15) エリアへの他人への推奨度	54
(16) 「もうひとつの京都」プロジェクトの認知度	55
(17) 調査地点の認知度	57
(18) 訪問前の関心度	58
(19) 訪問時の満足度	59
(20) 総合満足度	60
(21) 興味のある滞在や居住形態	61
(22) 検討候補に入る滞在や居住形態	63
(23) 長期滞在や居住等の地域を検討する場合に重視すること	65
III 調査結果（インバウンド調査）	67
1 基本属性	67
(1) 国名	67
2 今回の旅行について	72
(1) 訪日旅行・京都府・エリアへの訪問回数、宿泊の有無／宿泊数	72
(2) エリア以外にも旅行する場所	76
(3) 旅行の際に重視した点	77

(4) エリアへの交通手段.....	79
(5) 訪問の際の情報源	80
(6) コンテンツ／観光資源に対する事前期待度・体験時の満足度の平均点.....	82
(7) コンテンツ／観光資源に対する体験時の満足度・他人への推奨度の平均点	83
(8) 地元の方との交流	84
(9) エリアへの再訪問意向と推奨度.....	85
(10) 「もうひとつの京都」プロジェクトの認知度	87
(11) 調査地点の認知度について	88
(12) 総合満足度.....	91
(13) 日本国際博覧会の開催認知度と来訪意向	92
IV 調査結果まとめ・今後の方向性	95

令和5年度観光客動向調査

実態調査結果

【海の京都】

I 調査概要

1 調査目的

京都府を訪れた観光客に対し、観光庁において策定された「観光入込客統計に関する共通基準」を踏まえて調査を実施し、他の都道府県との比較可能な観光入込客数及び観光消費額等を調査することを目的に実施。

2 実施概要

調査対象者	観光施設等を訪れた観光客（男女個人） 家族やグループなどからは代表者1名から回答
調査手法	現地にて調査員の直接聞き取りによるヒアリング調査
調査地点	海の京都のエリア 日本人観光客を対象とした調査地点は3市町3地点を選定 インバウンド観光客を対象とした調査地点は2市町2地点を選定
調査時期及びサンプルサイズ	冬季調査：日本人観光客 332 サンプル、外国人観光客 6 サンプル 合計 338 春季調査：日本人観光客 360 サンプル、外国人観光客 0 サンプル 合計 360 夏季調査：日本人観光客 321 サンプル、外国人観光客 22 サンプル 合計 343 秋季調査：日本人観光客 418 サンプル、外国人観光客 13 サンプル 合計 431 年間計：日本人観光客 1,431 サンプル、外国人観光客 41 サンプル 合計 1,472
調査時期	冬季調査：2023年3月 春季調査：2023年6月 夏季調査：2023年7月～9月 秋季調査：2023年10月～12月

No	調査地点	観光客動向調査	
		日本人	外国人
1	伊根町観光案内所	232	19
2	丹後王国食のみやこ	220	—
3	天橋立ビューランド	242	22
4	ちりめん街道	30	—
5	舞鶴港とれとれセンター	237	—
6	あやべぐんゼスクエア	231	—
7	福知山城	239	—
海の京都 合計		1,431	41

3 報告書の見方

- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しており、今回の集計における母数※1は、有効回収数※2 ベースで算出している。
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数※3に対して、それぞれの回答数※4の割合を小数点以下第2位四捨五入したものである。そのため、単数回答※5であっても合計値が100.0%にならない場合がある。
- 複数回答※6の設問の場合、回答は選択肢ごとの回答数に対して、それぞれの割合を示している。そのため、合計値が100.0%を超える場合がある。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものである。
- インバウンド観光客を対象にした結果については、回収サンプル数が少ない設問については、傾向としてとらえる必要がある。
- 平均人数や平均金額を算出する設問については、無回答を除いた回答者で除して算出をしている。

※注釈

※1 母数：調査で回答を得られた標本（サンプル）の内、有効サンプルを指す

※2 有効回収数：調査で得られた標本の内、白票や無効票を除いた数

※3 有効サンプル数：集計対象者数

※4 回答数：調査対象者が回答をした選択肢の数

※5 単数回答：複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式

※6 複数回答：複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式

Ⅱ 調査結果

1 基本属性

(1) 居住地

		北海道	東北	関東	中部	関西	中国	四国	九州・沖縄	海外	無回答
全体 (n=1,472)		0.4	0.5	6.6	10.2	74.7	2.4	1.1	1.4	2.8	0.1
調査時期別	第4期 (冬季調査) (n=338)	-	0.6	7.1	9.2	78.4	0.6	0.9	1.2	1.8	0.3
	第1期 (春季調査) (n=360)	0.8	-	3.9	11.4	77.2	4.2	0.8	1.7	-	-
	第2期 (夏季調査) (n=343)	-	0.6	7.9	9.3	71.1	2.6	0.6	1.5	6.4	-
	第3期 (秋季調査) (n=431)	0.7	0.7	7.4	10.7	72.4	2.1	1.9	1.2	3.0	-
旅行目的別	ビジネス (n=16)	6.3	-	18.8	18.8	50.0	-	-	6.3	-	-
	観光 (n=1,299)	0.4	0.5	6.6	10.8	73.4	2.5	1.2	1.4	3.1	0.1
	帰省・知人訪問 (n=44)	-	-	9.1	13.6	68.2	4.5	-	2.3	2.3	-
	その他 (n=113)	-	-	3.5	0.9	95.6	-	-	-	-	-

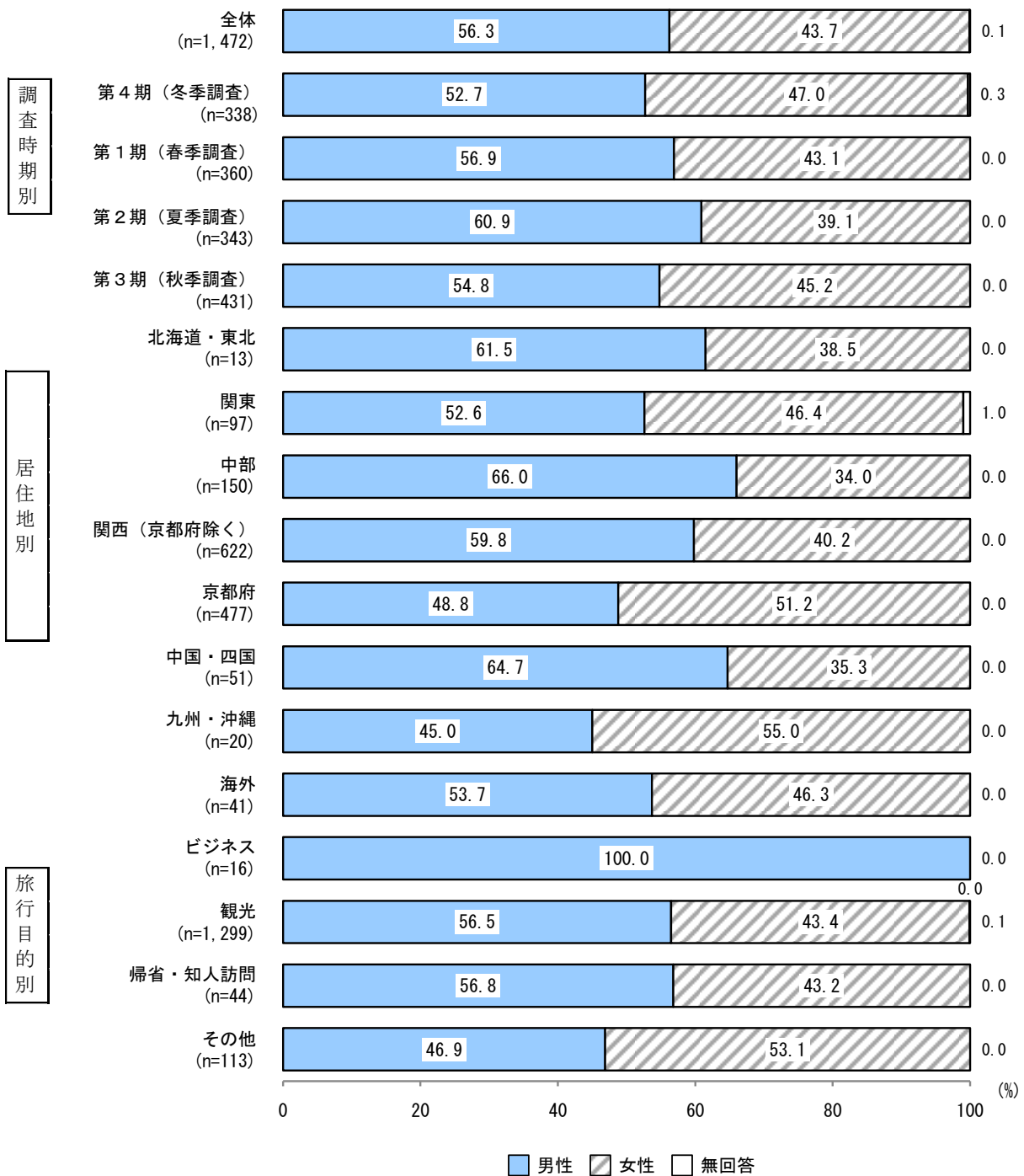
		北海道・東北	関東	中部	(関西(京都府除く))	京都府	中国・四国	九州・沖縄	海外	無回答
全体 (n=1,472)		0.9	6.6	10.2	42.3	32.4	3.5	1.4	2.8	0.1
調査時期別	第4期 (冬季調査) (n=338)	0.6	7.1	9.2	45.0	33.4	1.5	1.2	1.8	0.3
	第1期 (春季調査) (n=360)	0.8	3.9	11.4	47.2	30.0	5.0	1.7	-	-
	第2期 (夏季調査) (n=343)	0.6	7.9	9.3	39.4	31.8	3.2	1.5	6.4	-
	第3期 (秋季調査) (n=431)	1.4	7.4	10.7	38.3	34.1	3.9	1.2	3.0	-
旅行目的別	ビジネス (n=16)	6.3	18.8	18.8	37.5	12.5	-	6.3	-	-
	観光 (n=1,299)	0.9	6.6	10.8	44.9	28.5	3.8	1.4	3.1	0.1
	帰省・知人訪問 (n=44)	-	9.1	13.6	27.3	40.9	4.5	2.3	2.3	-
	その他 (n=113)	-	3.5	0.9	18.6	77.0	-	-	-	-

※ 全体より5%以上高い値

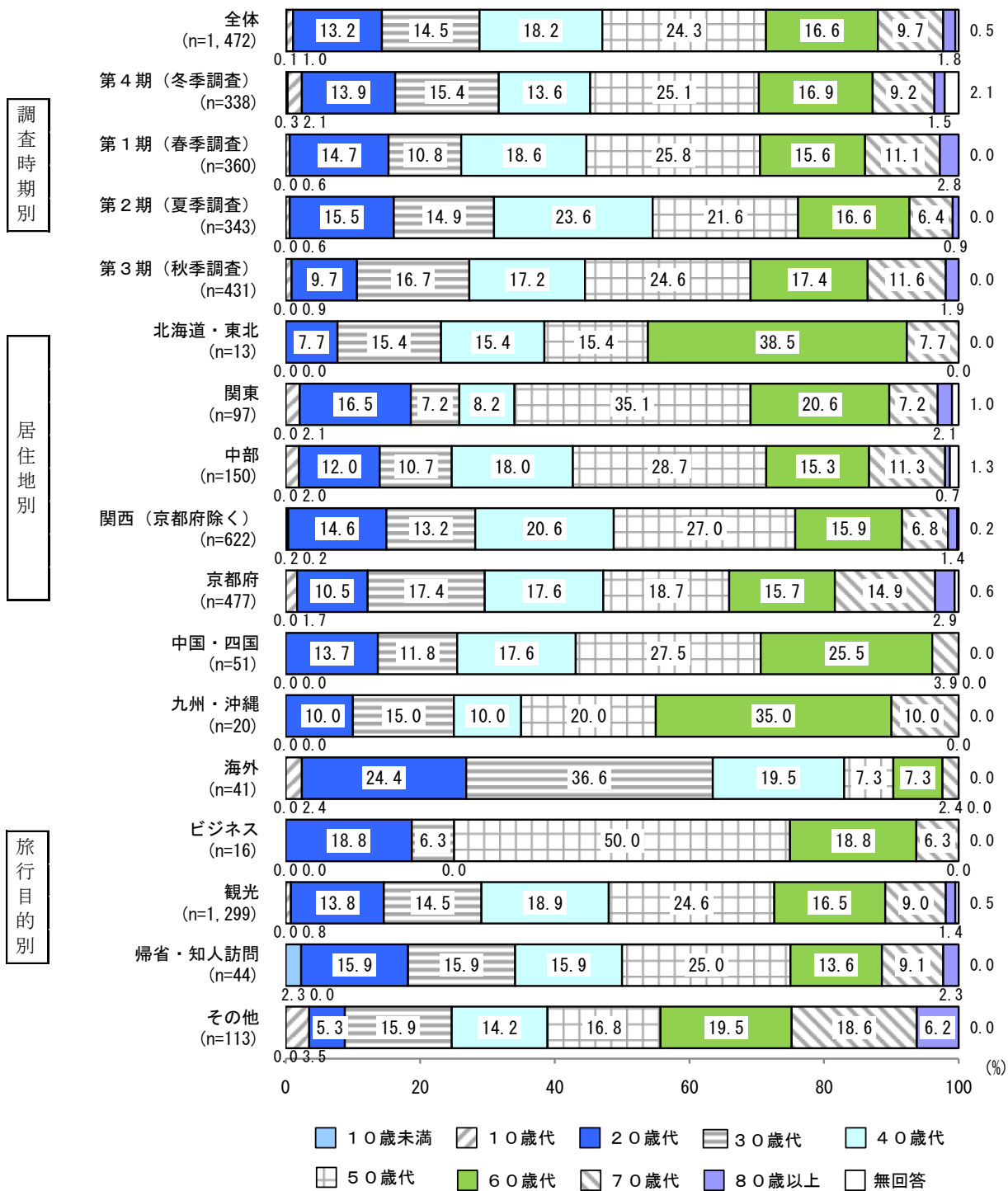
※ 北海道と東北、中国と四国については、サンプル数が少ないため統合した
 関西については、京都府とそれ以外で特徴を把握するために分割した

- 対象者の居住地については、「関西」が74.7%と全体の7割以上を占めており、「中部」が10.2%、「関東」が6.6%、「海外」からの訪日旅行者は2.8%となっている。居住地を「京都府」と「それ以外」で区分すると、「関西(京都府を除く)」が42.3%、「京都府」が32.4%となっており、全体の約1/3が京都府内在住の旅行者となっている。

(2) 性別・年齢



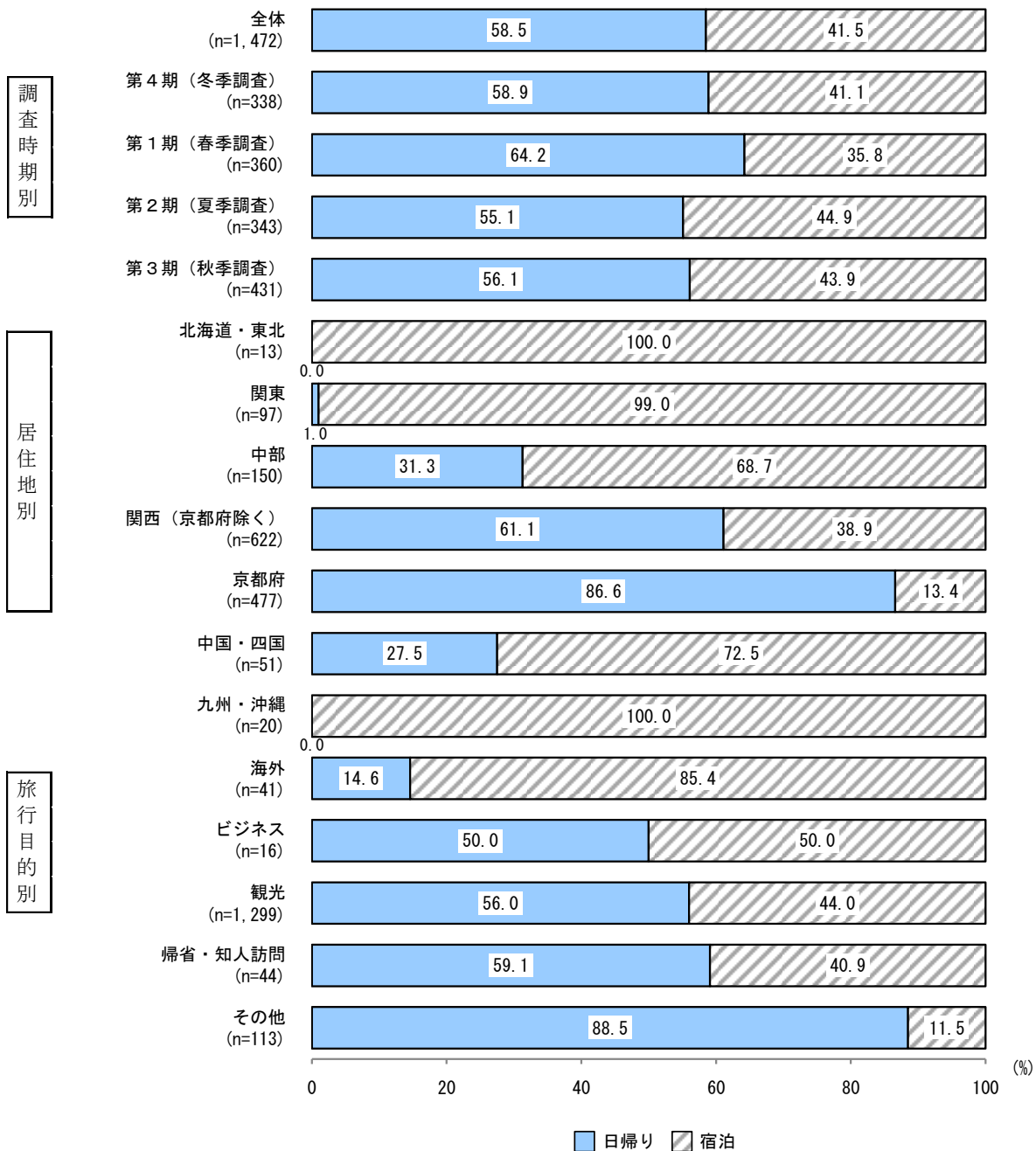
- ・性別については、「男性」が56.3%、「女性」が43.7%となっており、調査時期により多少の変動はあるが、回答者の性別では大きな変動は見られない。
- ・居住地別では、中部と中国・四国は「男性」の回答割合が全体と比較して高くなっている。
- ・旅行目的別では、その他は「男性」の回答割合が46.9%と低くなっている。



- ・年代別では、「50歳代」が24.3%で最も高く、次いで「40歳代」が18.2%、「60歳代」が16.6%となっており、「40歳以上」が70.6%（「70歳以上」は11.5%）を占めており、「40歳代～60歳代」が高くなっている。
- ・調査時期や居住地別で多少の変動はあるが、大きな変動は見られない。
- ・旅行目的別でも観光、帰省・知人訪問、その他は全体の傾向と大きく変わりはない。

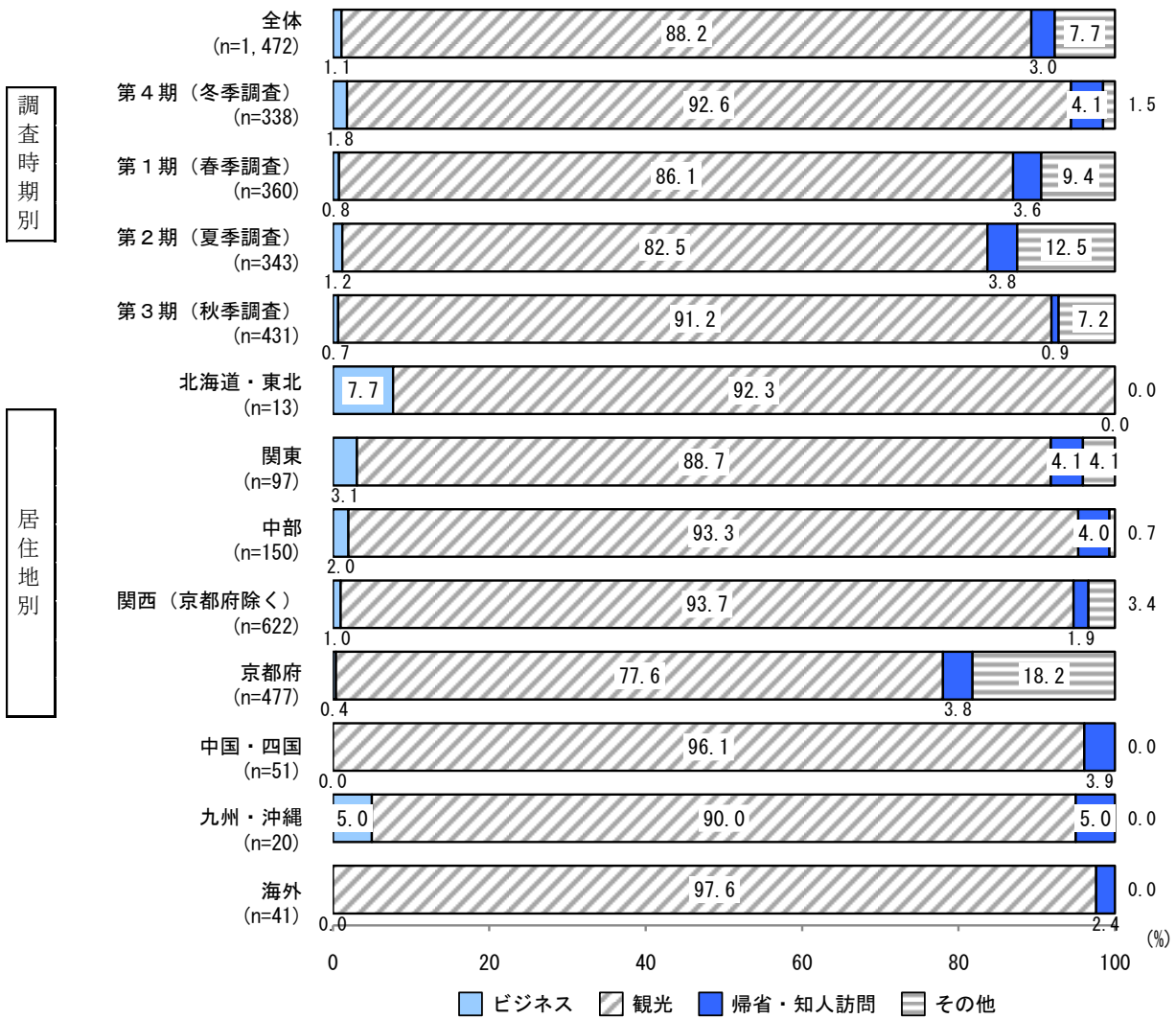
2 旅行の状況

(1) 宿泊の有無



- ・調査時期別では、春季調査以外は「宿泊」が4割を超えている。
- ・居住地別では、関西（京都府除く）と京都府では日帰りが高くなっているが、それ以外の地域では「宿泊」が過半数を超えている。
- ・旅行目的別では、観光と帰省・知人訪問において「宿泊」が4割を超えている。

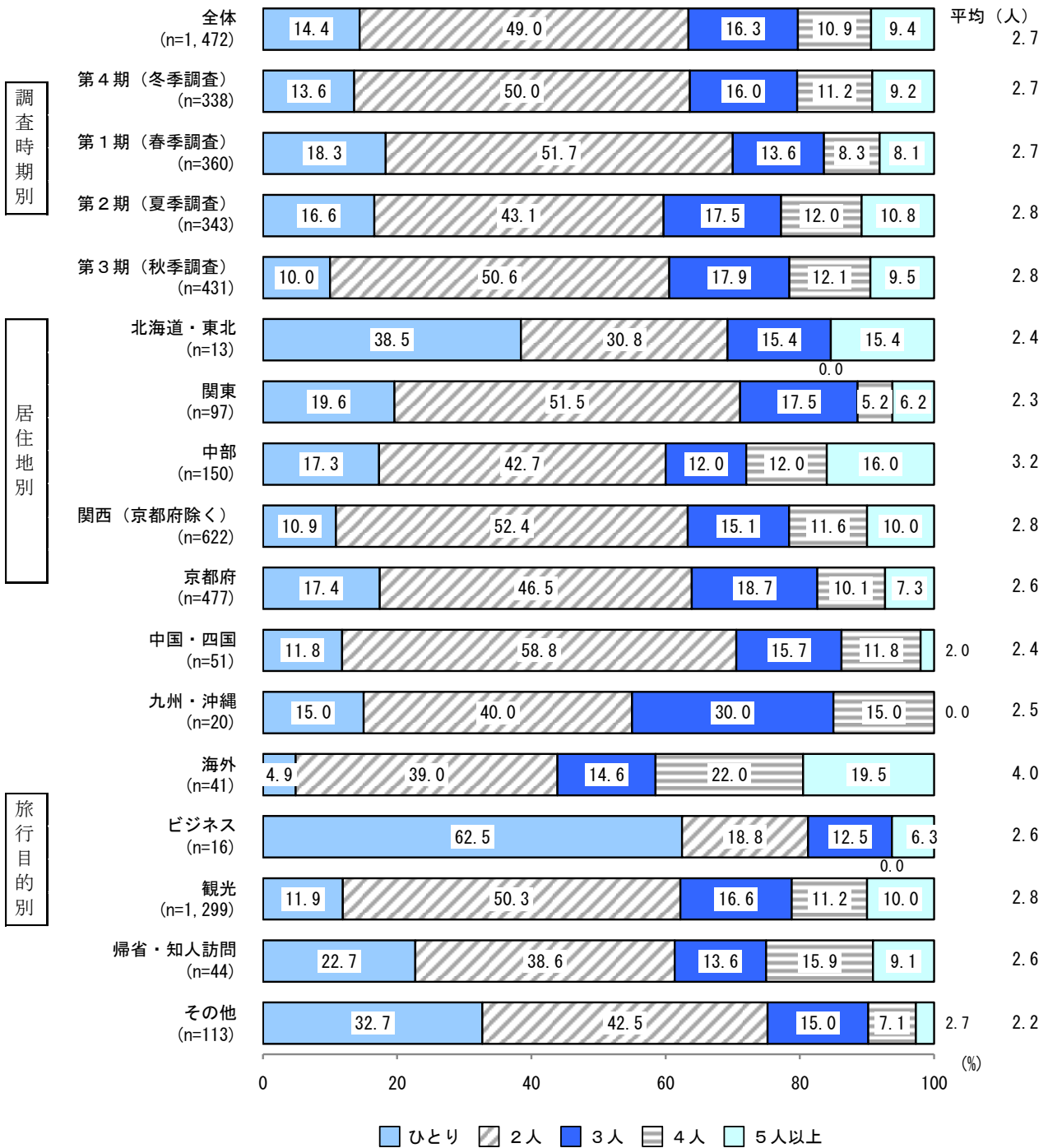
(1-2) 旅行の主目的



- ・旅行目的は、「観光」が88.2%で最も高く、次いで「その他」が7.7%、「帰省・知人訪問」が3.0%、「ビジネス」が1.1%となっている。
- ・調査時期別では、春季調査から秋季調査については、主目的が食事や買い物、参拝、お参りなど回答者に意向を厳密に区分しているため、「観光」の割合が減少し「その他」が増えている結果となった。
- ・居住地別では、京都府を除く全てにおいて「観光」の割合が8割を超えている。京都府では「その他」が18.2%となっており、他の地域よりも高くなっている。

(1-3) 同行者数

【旅行の同行者数】



- ・ 同行者数は、「2人」が49.0%で最も高く、「2名以下」が全体の約2/3を占めている。
- ・ 同行者数の平均は2.7人、調査時期による同行者数の大きな変動は見られなかった。
- ・ 居住地別では、中部は3.2人となっており、他の地域よりもやや高くなっている。
- ・ 旅行目的別では、その他が2.2人となっており、全体よりやや低くなっている。

(2) 宿泊数

[宿泊数]

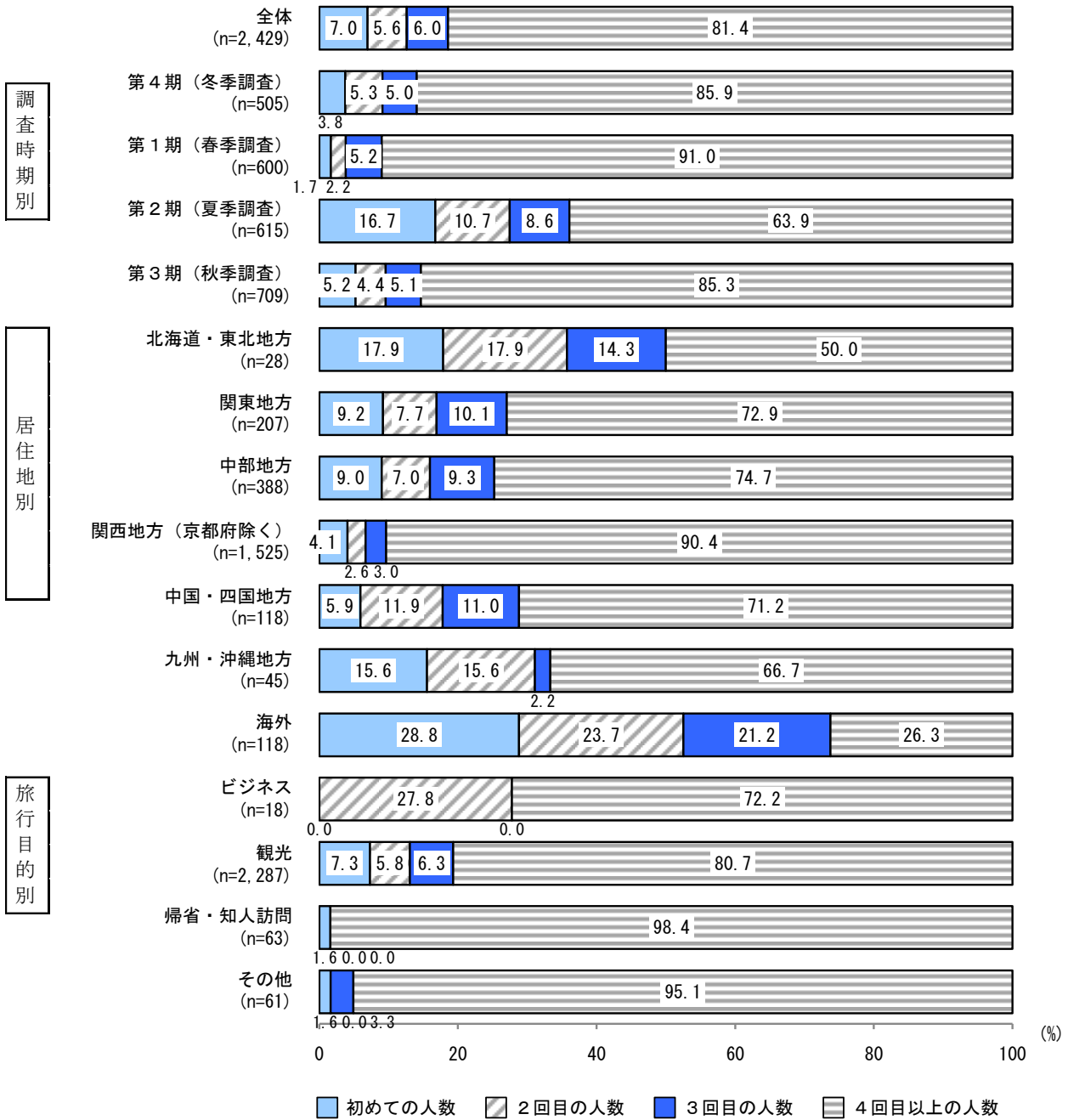
旅行全体			府内		エリア内		
			全泊数	宿泊数	(泊)		
					エリア内	宿泊数	
全体 (n=610)			2.0	(n=502)	1.5	(n=436)	1.2
調査時期別	第4期 (冬季調査) (n=138)	1.5	(n=112)	1.4	(n=96)	1.2	
	第1期 (春季調査) (n=129)	1.4	(n=99)	1.3	(n=94)	1.2	
	第2期 (夏季調査) (n=154)	2.6	(n=134)	1.8	(n=111)	1.4	
	第3期 (秋季調査) (n=189)	2.3	(n=157)	1.5	(n=135)	1.2	
居住地別	北海道・東北 (n=13)	3.2	(n=10)	2.5	(n=7)	2.1	
	関東 (n=96)	2.4	(n=79)	2.0	(n=61)	1.9	
	中部 (n=103)	1.4	(n=77)	1.2	(n=69)	1.1	
	関西 (京都府除く) (n=242)	1.1	(n=211)	1.1	(n=205)	1.1	
	京都府 (n=64)	1.3	(n=54)	1.3	(n=53)	1.1	
	中国・四国 (n=37)	1.5	(n=30)	1.2	(n=26)	1.0	
	九州・沖縄 (n=19)	2.3	(n=15)	2.0	(n=9)	1.9	
	海外 (n=35)	10.2	(n=26)	4.3	(n=6)	1.3	
旅行目的別	ビジネス (n=8)	2.1	(n=6)	2.3	(n=5)	2.6	
	観光 (n=571)	2.0	(n=470)	1.4	(n=407)	1.1	
	帰省・知人訪問 (n=18)	1.4	(n=16)	1.3	(n=15)	1.2	
	その他 (n=13)	4.3	(n=10)	5.3	(n=9)	5.6	

※ 全体より5%以上高い値

- ・ 宿泊数について、旅行全体の全宿泊数平均は2.0泊、府内宿泊数平均は1.5泊、エリア内宿泊数平均は1.2泊。
- ・ 調査時期別では、全宿泊数や府内宿泊数は多少の増減はあるが、エリア内宿泊数は夏季調査において1.4泊とやや高くなっている。
- ・ 居住地別では、中部や関西圏、中国・四国は全宿泊数や府内宿泊数、エリア内宿泊数がやや低くなっている。
- ・ 旅行目的別では、観光は全宿泊数が2.0泊、府内宿泊数が1.4泊、エリア内宿泊数が1.1泊となっており、全体と比較をして特に大きな変動はみられない。

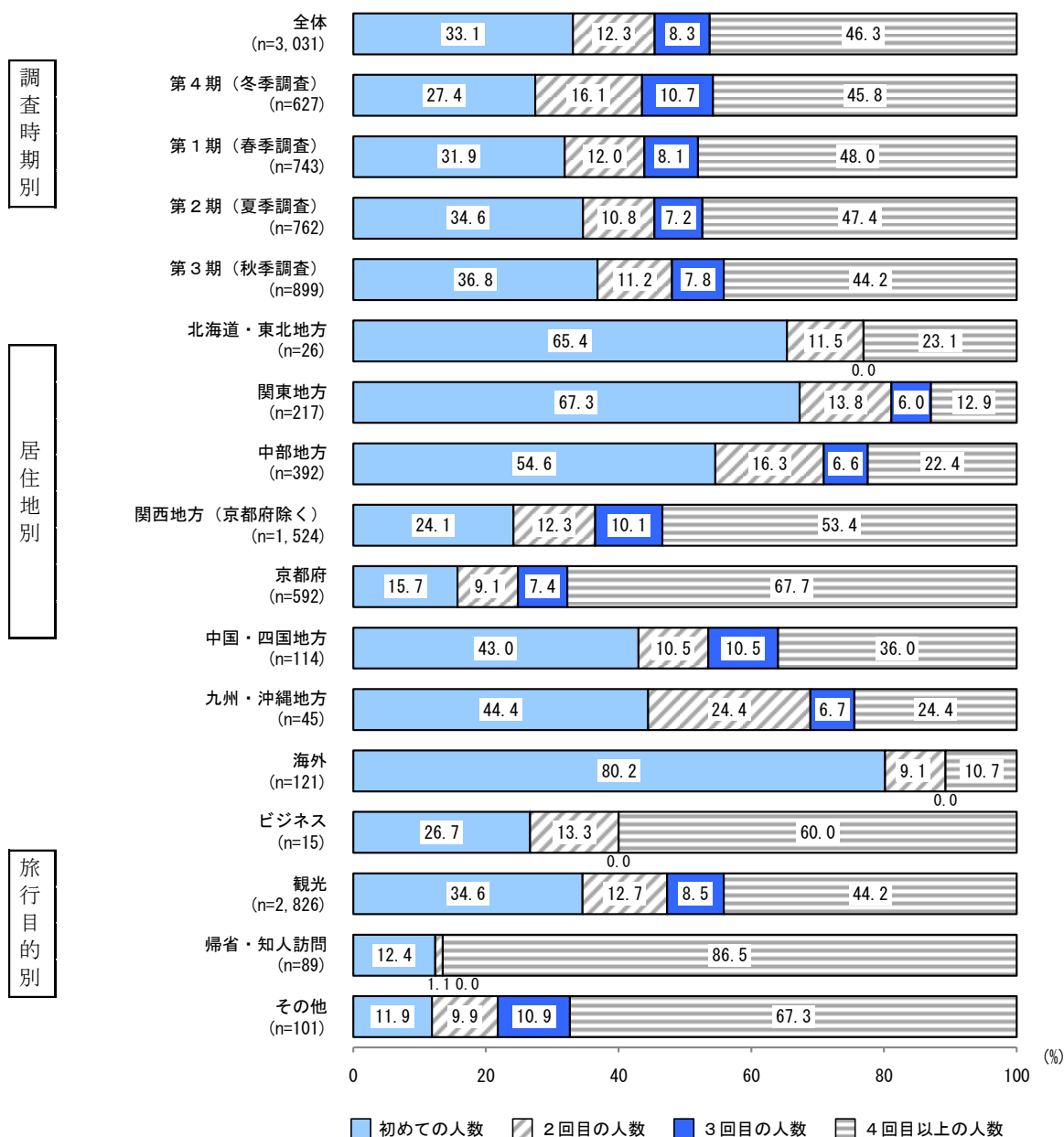
(3) 京都府及びエリアへの訪問回数

[京都府への来訪回数]



- ・京都府への訪問回数については、「4回目以上」が81.4%、「初めて」の方は1割未満となっている。
- ・調査時期別では、夏季調査において「初めて」の方が16.7%と高い傾向が見られた。
- ・居住地別では、全ての地域において「4回目以上」が過半数を超えている。京都旅行はリピーターが多いことが伺える。当然のことながら京都府に近い居住地の方が、京都府を訪問する回数が増えており、距離が離れるほど、訪問回数が少ない方が増えている。
- 海外からのインバウンド観光客は「初めて」の方が約3割となっている。

【エリアへの来訪回数】



- ・エリアへの訪問回数は、「4回目以上」が46.3%と最も高く、「初めて」が33.1%と約1/3となっている。
- ・調査時期別では、多少の増減はあるが、全てにおいて「4回目以上」は4割程度、冬季調査は「初めて」が27.4%となっており、全体と比較をして低い。
- ・居住地別では、中部以東は「初めて」が過半数、関西以西は4割を超えている。海外のインバウンド観光客は「初めて」が8割を超えている。
- ・京都府を「初めて」訪れた割合に比べて、エリアを「初めて」訪れた割合が非常に高く、京都観光のリピーター率が高い。(京都府7.0%→エリア33.1% この差は京都観光のリピーター)

(4) エリア別の宿泊都道府県・府内市町村

[府外宿泊都道府県]

(MA%)

		北海道	埼玉県	東京都	神奈川県	富山県	石川県	福井県
全体 (n=168)		1.2	0.6	1.8	0.6	2.4	2.4	8.3
調査時期別	第4期 (冬季調査) (n=32)	6.3	-	-	-	-	-	3.1
	第1期 (春季調査) (n=36)	-	2.8	-	2.8	5.6	2.8	13.9
	第2期 (夏季調査) (n=45)	-	-	4.4	-	2.2	2.2	8.9
	第3期 (秋季調査) (n=55)	-	-	1.8	-	1.8	3.6	7.3

		長野県	岐阜県	愛知県	滋賀県	大阪府	兵庫県	奈良県
全体 (n=168)		1.2	0.6	1.8	7.1	21.4	55.4	1.8
調査時期別	第4期 (冬季調査) (n=32)	-	-	-	-	21.9	65.6	-
	第1期 (春季調査) (n=36)	2.8	-	2.8	11.1	8.3	63.9	2.8
	第2期 (夏季調査) (n=45)	2.2	2.2	-	11.1	37.8	40.0	2.2
	第3期 (秋季調査) (n=55)	-	-	3.6	5.5	16.4	56.4	1.8

		鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	愛媛県
全体 (n=168)		1.8	3.6	1.8	0.6	0.6	0.6
調査時期別	第4期 (冬季調査) (n=32)	3.1	-	-	-	-	-
	第1期 (春季調査) (n=36)	-	-	2.8	-	-	-
	第2期 (夏季調査) (n=45)	2.2	8.9	2.2	-	2.2	-
	第3期 (秋季調査) (n=55)	1.8	3.6	1.8	1.8	-	1.8

※ 全体より5%以上高い値

- ・ 府外の宿泊先都道府県については隣接府県が多く、「兵庫県」が 55.4%、「大阪府」が 21.4%となっている。近隣府県の大阪府と兵庫県で全体の7割以上を占めている。

[府外宿泊都道府県]

(MA%)

		北海道	埼玉県	東京都	神奈川県	富山県	石川県	福井県
全体 (n=168)		1.2	0.6	1.8	0.6	2.4	2.4	8.3
居住地別	北海道・東北 (n=6)	-	16.7	-	16.7	33.3	16.7	16.7
	関東 (n=35)	5.7	-	-	-	2.9	-	11.4
	中部 (n=32)	-	-	-	-	-	-	12.5
	関西 (京都府除く) (n=36)	-	-	-	-	-	-	-
	京都府 (n=10)	-	-	-	-	-	-	10.0
	中国・四国 (n=14)	-	-	-	-	7.1	21.4	21.4
	九州・沖縄 (n=7)	-	-	-	-	-	-	14.3
	海外 (n=27)	-	-	11.1	-	-	-	-

		長野県	岐阜県	愛知県	滋賀県	大阪府	兵庫県	奈良県
全体 (n=168)		1.2	0.6	1.8	7.1	21.4	55.4	1.8
居住地別	北海道・東北 (n=6)	16.7	-	16.7	-	-	33.3	-
	関東 (n=35)	2.9	-	5.7	2.9	22.9	48.6	2.9
	中部 (n=32)	-	-	-	12.5	3.1	75.0	3.1
	関西 (京都府除く) (n=36)	-	2.8	-	-	2.8	88.9	-
	京都府 (n=10)	-	-	-	-	10.0	80.0	-
	中国・四国 (n=14)	-	-	-	21.4	7.1	35.7	-
	九州・沖縄 (n=7)	-	-	-	14.3	14.3	57.1	-
	海外 (n=27)	-	-	-	11.1	85.2	-	3.7

		鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	愛媛県
全体 (n=168)		1.8	3.6	1.8	0.6	0.6	0.6
居住地別	北海道・東北 (n=6)	16.7	16.7	-	-	-	-
	関東 (n=35)	2.9	2.9	5.7	-	-	-
	中部 (n=32)	-	9.4	-	-	-	3.1
	関西 (京都府除く) (n=36)	2.8	2.8	-	-	-	-
	京都府 (n=10)	-	-	-	-	-	-
	中国・四国 (n=14)	-	-	-	-	-	-
	九州・沖縄 (n=7)	-	-	14.3	-	14.3	-
	海外 (n=27)	-	-	-	3.7	-	-

※ 全体より5%以上高い値

・居住地別では、中部、関西（京都府除く）、京都府の方は「兵庫県」へ宿泊する割合が7割以上と高くなっている。インバウンド観光客は「大阪府」が8割以上と高くなっている。

【府内宿泊市町村】

(MA%)

		京都市	福知山市	舞鶴市	綾部市	宮津市	亀岡市	京丹後市	南丹市
全体 (n=502)		15.3	7.0	12.0	3.2	26.5	1.0	28.3	0.2
調査時期別	第4期 (冬季調査) (n=112)	9.8	8.0	14.3	9.8	16.1	0.9	24.1	-
	第1期 (春季調査) (n=99)	8.1	4.0	15.2	-	38.4	1.0	24.2	1.0
	第2期 (夏季調査) (n=134)	19.4	8.2	11.9	2.2	25.4	1.5	26.9	-
	第3期 (秋季調査) (n=157)	20.4	7.0	8.3	1.3	27.4	0.6	35.0	-

		伊根町	与謝野町	無回答
全体 (n=502)		8.0	1.4	3.6
調査時期別	第4期 (冬季調査) (n=112)	6.3	1.8	14.3
	第1期 (春季調査) (n=99)	12.1	2.0	1.0
	第2期 (夏季調査) (n=134)	9.0	0.7	-
	第3期 (秋季調査) (n=157)	5.7	1.3	0.6

※ 全体より5%以上高い値

- ・府内の宿泊場所については、「京丹後市」が28.3%で最も高く、次いで「宮津市」が26.5%、「京都市」が15.3%となっている。
- ・調査時期別では、夏季調査と秋季調査において、「京都市」の割合が約2割となっており、やや高くなっている。春季調査では「宮津市」(38.4%)、秋季調査では「京丹後市」(35.0%)が全体より高くなっている。

(5) 旅行行動 (居住地からの交通手段)

[居住地からの交通機関]

			J R 新 幹 線	J R 在 来 線	私 鉄 ・ 地 下 鉄	京 都 丹 後 鉄 道	観 光 切 バ ス ・ 貸 切 バ ス	高 速 バ ス	市 内 バ ス	(%) レ ン タ カ ー
全体 (n=1,472)			5.0	4.3	0.3	0.1	1.7	1.4	0.1	1.3
調 査 時 期 別	第1期 (春季調査) (n=360)		3.1	3.3	0.6	0.3	3.6	1.1	-	0.3
	第2期 (夏季調査) (n=343)		5.8	6.4	0.3	0.3	2.3	0.9	0.6	0.9
	第3期 (秋季調査) (n=431)		6.0	2.6	0.5	-	0.7	0.9	-	1.4
	第4期 (冬季調査) (n=338)		5.0	5.3	-	-	0.3	2.7	-	2.7

居 住 地 別	北海道・東北 (n=13)	30.8	-	-	-	-	-	-	-	7.7
	関東 (n=97)	55.7	1.0	-	-	7.2	4.1	-	-	1.0
	中部 (n=150)	3.3	4.7	2.0	-	2.0	2.0	-	-	-
	関西 (京都府除く) (n=622)	0.2	6.1	0.2	-	1.9	1.3	-	-	1.9
	京都府 (n=477)	-	2.9	0.2	0.2	0.4	0.8	0.4	-	0.4
	中国・四国 (n=51)	3.9	2.0	-	-	-	2.0	-	-	-
	九州・沖縄 (n=20)	35.0	-	-	-	-	-	-	-	5.0
	海外 (n=41)	2.4	4.9	-	2.4	2.4	-	-	-	4.9

		社 自 用 車 ・ 公 用 車	航 空 機	自 バ イ 転 車 ・ 徒 歩	船 ・ フ エ リ ー	無 回 答
全体 (n=1,472)		77.4	3.5	4.5	0.3	0.1
調 査 時 期 別	第1期 (春季調査) (n=360)	79.7	1.7	5.8	0.6	-
	第2期 (夏季調査) (n=343)	72.9	6.7	2.6	0.3	-
	第3期 (秋季調査) (n=431)	78.0	3.9	6.0	-	-
	第4期 (冬季調査) (n=338)	78.7	1.8	3.0	0.3	0.3

居 住 地 別	北海道・東北 (n=13)	15.4	38.5	-	7.7	-
	関東 (n=97)	19.6	10.3	-	1.0	-
	中部 (n=150)	84.0	0.7	1.3	-	-
	関西 (京都府除く) (n=622)	81.8	-	6.6	-	-
	京都府 (n=477)	89.7	-	4.6	-	0.2
	中国・四国 (n=51)	90.2	-	2.0	-	-
	九州・沖縄 (n=20)	30.0	25.0	-	5.0	-
	海外 (n=41)	4.9	75.6	-	2.4	-

※ 全体より5%以上高い値

- ・居住地からの交通機関については、「自家用車」が77.4%と約8割を占めている。
- ・調査時期別では、交通機関の差は見られなかった。
- ・居住地別では、関東や九州・沖縄は「新幹線」が最も高く、当然ながら、北海道・東北、九州・沖縄、海外は「航空機」の割合が高くなっている。居住地により交通機関は様々である。

(5) 旅行行動 (調査地点への交通手段)

[調査地点への交通機関]

		(%)							
		J R 新 幹 線	J R 在 来 線	京 都 丹 後 鉄 道	観 光 切 バ ス ・	高 速 バ ス	市 内 バ ス	ハ イ ク シ ー ・	レ ン タ カ ー
全体 (n=1,472)		0.2	3.5	1.4	2.6	1.0	2.5	0.3	5.2
調 査 時 期 別	第1期 (春季調査) (n=360)	-	4.2	0.6	3.9	0.8	1.1	0.3	2.5
	第2期 (夏季調査) (n=343)	-	4.4	1.5	3.8	0.6	5.2	0.6	6.7
	第3期 (秋季調査) (n=431)	0.2	1.6	1.6	2.6	0.5	1.9	0.2	6.0
	第4期 (冬季調査) (n=338)	0.6	4.4	2.1	0.3	2.4	2.1	-	5.3

居 住 地 別	北海道・東北 (n=13)	-	15.4	-	15.4	15.4	-	-	30.8
	関東 (n=97)	2.1	10.3	11.3	8.2	3.1	9.3	2.1	29.9
	中部 (n=150)	-	2.7	0.7	3.3	1.3	1.3	-	4.7
	関西 (京都府除く) (n=622)	-	3.5	0.6	1.9	0.8	1.8	0.2	2.3
	京都府 (n=477)	-	1.7	0.4	0.4	0.4	1.5	-	0.6
	中国・四国 (n=51)	-	2.0	2.0	-	2.0	-	-	-
	九州・沖縄 (n=20)	-	5.0	5.0	10.0	-	5.0	-	30.0
	海外 (n=41)	2.4	9.8	2.4	19.5	-	17.1	2.4	31.7

		社 自 用 車 ・ 公 車 ・ 用 車	自 バ 転 イ 車 ・ ・ 徒 歩	そ の 他	無 回 答
全体 (n=1,472)		78.1	4.9	0.1	0.1
調 査 時 期 別	第1期 (春季調査) (n=360)	80.8	5.8	-	-
	第2期 (夏季調査) (n=343)	73.5	3.2	0.6	-
	第3期 (秋季調査) (n=431)	78.4	7.0	-	-
	第4期 (冬季調査) (n=338)	79.6	3.0	-	0.3

居 住 地 別	北海道・東北 (n=13)	23.1	-	-	-
	関東 (n=97)	22.7	1.0	-	-
	中部 (n=150)	84.0	2.0	-	-
	関西 (京都府除く) (n=622)	81.7	7.1	0.2	-
	京都府 (n=477)	89.7	4.8	0.2	0.2
	中国・四国 (n=51)	92.2	2.0	-	-
	九州・沖縄 (n=20)	45.0	-	-	-
	海外 (n=41)	14.6	-	-	-

※ 全体より5%以上高い値

- ・調査地点（エリア内）への交通機関については、居住地からの交通機関同様に「自家用車」が78.1%となっており、それ以外は1割を下回っている。
- ・調査時期別では、交通機関の差は見られなかった。
- ・居住地別では、中部と関西圏、中国・四国は「自家用車」の割合が8割以上を占めており、それ以外の地域は「レンタカー」が約3割となっており、全体に比べて高くなっている。

(5) 旅行行動 (調査地点からの交通手段)

〔調査地点からの交通機関〕

		(%)							
		J R 新 幹 線	J R 在 来 線	私 鉄 ・ 地 下 鉄	京 都 丹 後 鉄 道	観 光 切 バ ス ・	高 速 バ ス	市 内 バ ス	ハ タ イ ク シ ー ・
全体 (n=1,472)		0.1	3.7	0.1	1.4	2.6	0.9	2.1	0.3
調 査 時 期 別	第1期 (春季調査) (n=360)	-	3.9	-	0.6	3.9	0.6	1.4	0.3
	第2期 (夏季調査) (n=343)	0.3	4.1	0.3	1.7	3.8	0.6	3.8	0.6
	第3期 (秋季調査) (n=431)	-	2.3	-	1.4	2.6	0.5	1.6	0.2
	第4期 (冬季調査) (n=338)	0.3	4.7	0.3	2.1	0.3	2.1	1.8	-

居 住 地 別	北海道・東北 (n=13)	-	15.4	-	7.7	15.4	7.7	-	-
	関東 (n=97)	1.0	15.5	-	10.3	8.2	3.1	7.2	2.1
	中部 (n=150)	-	2.0	-	0.7	3.3	1.3	1.3	-
	関西 (京都府除く) (n=622)	0.2	2.6	0.3	0.6	1.9	0.8	1.8	0.2
	京都府 (n=477)	-	2.1	-	0.4	0.4	0.4	0.8	-
	中国・四国 (n=51)	-	2.0	-	2.0	-	-	-	-
	九州・沖縄 (n=20)	-	5.0	-	5.0	10.0	-	5.0	-
	海外 (n=41)	-	14.6	-	2.4	19.5	-	14.6	2.4

		レ ン タ カ ー	社 自 用 車 ・ 公 用 車	自 バ 転 イ 車 ク ・ 徒 歩	そ の 他	無 回 答
全体 (n=1,472)		5.2	77.8	5.6	0.1	0.1
調 査 時 期 別	第1期 (春季調査) (n=360)	2.5	80.8	6.1	-	-
	第2期 (夏季調査) (n=343)	6.7	72.0	5.5	0.6	-
	第3期 (秋季調査) (n=431)	6.0	78.4	7.0	-	-
	第4期 (冬季調査) (n=338)	5.3	79.6	3.3	-	0.3

居 住 地 別	北海道・東北 (n=13)	30.8	23.1	-	-	-
	関東 (n=97)	29.9	22.7	-	-	-
	中部 (n=150)	4.7	84.0	2.7	-	-
	関西 (京都府除く) (n=622)	2.3	81.4	7.9	0.2	-
	京都府 (n=477)	0.6	89.1	5.7	0.2	0.2
	中国・四国 (n=51)	-	92.2	3.9	-	-
	九州・沖縄 (n=20)	30.0	45.0	-	-	-
	海外 (n=41)	31.7	14.6	-	-	-

※ 全体より5%以上高い値

- ・調査地点（エリア内）からの交通機関については、前述の交通機関同様に「自家用車」の割合が77.8%と最も高くなっている。
- ・調査時期別では、交通機関の差は見られなかった。
- ・居住地別では、中部と関西圏、中国・四国は「自家用車」の割合が8割以上を占めており、それ以外の地域は「レンタカー」が約3割となっており、全体に比べて高くなっている。

(5) 旅行行動 (居住地への交通手段)

[居住地への交通機関]

			J R 新 幹 線	J R 在 来 線	私 鉄 ・ 地 下 鉄	京 都 丹 後 鉄 道	観 光 切 バ ス ・ 貸 切 バ ス	高 速 バ ス	市 内 バ ス	(%) レ ン タ カ ー
全体 (n=1,472)			4.8	4.5	0.3	0.1	1.7	1.3	0.1	1.4
調 査 時 期 別	第1期 (春季調査) (n=360)		2.8	3.6	0.6	0.3	3.6	1.1	-	0.3
	第2期 (夏季調査) (n=343)		5.8	7.0	0.3	0.3	2.3	0.9	0.6	0.9
	第3期 (秋季調査) (n=431)		5.6	2.6	0.5	-	0.7	0.7	-	1.6
	第4期 (冬季調査) (n=338)		4.7	5.3	-	-	0.3	2.7	-	2.7

居 住 地 別	北海道・東北 (n=13)	23.1	7.7	-	-	-	-	-	-	7.7
	関東 (n=97)	54.6	1.0	-	-	7.2	4.1	-	-	2.1
	中部 (n=150)	2.7	5.3	2.0	-	2.0	2.0	-	-	-
	関西 (京都府除く) (n=622)	-	6.1	0.2	-	1.9	1.3	-	-	1.9
	京都府 (n=477)	0.4	3.1	0.2	0.2	0.4	0.6	0.4	-	0.4
	中国・四国 (n=51)	2.0	2.0	-	-	-	2.0	-	-	-
	九州・沖縄 (n=20)	35.0	-	-	-	-	-	-	-	5.0
	海外 (n=41)	-	4.9	-	2.4	2.4	-	-	-	4.9

		社 自 用 車 ・ 公 用 車 ・ 私 車	航 空 機	自 バ イ ク ・ 徒 歩	船 ・ フ エ リ ー	無 回 答
全体 (n=1,472)		77.6	3.5	4.4	0.2	0.1
調 査 時 期 別	第1期 (春季調査) (n=360)	80.3	1.4	5.8	0.3	-
	第2期 (夏季調査) (n=343)	72.6	6.4	2.3	0.6	-
	第3期 (秋季調査) (n=431)	78.0	4.4	6.0	-	-
	第4期 (冬季調査) (n=338)	79.6	1.5	3.0	-	0.3

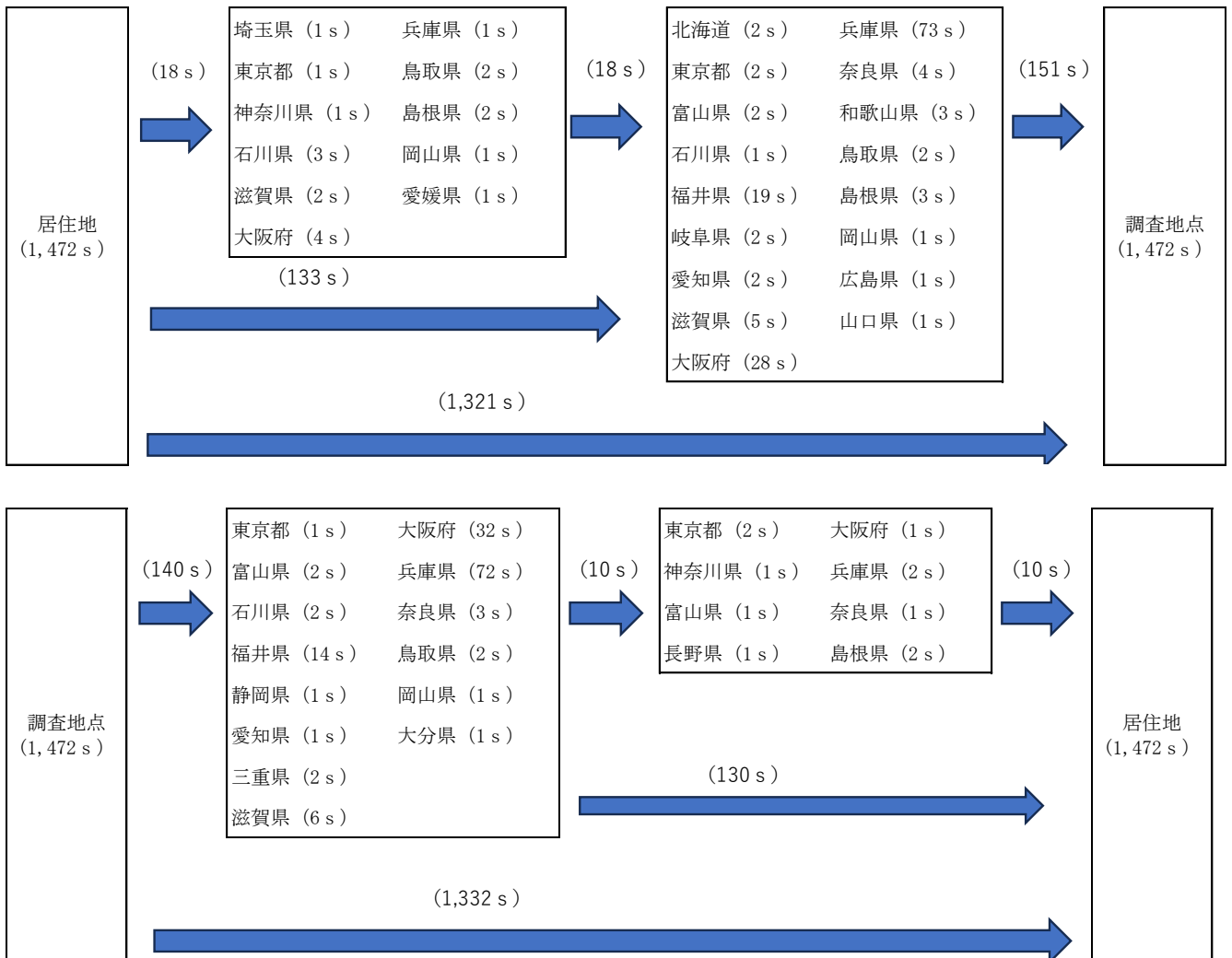
居 住 地 別	北海道・東北 (n=13)	23.1	30.8	-	7.7	-
	関東 (n=97)	20.6	10.3	-	-	-
	中部 (n=150)	84.0	0.7	1.3	-	-
	関西 (京都府除く) (n=622)	82.0	-	6.6	-	-
	京都府 (n=477)	89.5	-	4.4	-	0.2
	中国・四国 (n=51)	92.2	-	2.0	-	-
	九州・沖縄 (n=20)	30.0	25.0	-	5.0	-
	海外 (n=41)	7.3	75.6	-	2.4	-

※ 全体より5%以上高い値

- ・居住地への交通機関については、京都府に来た時同様に「自家用車」の割合が77.6%で最も高く、それ以外の選択肢は1割を下回っている。
- ・居住地別では、中部と関西圏、中国・四国は「自家用車」、北海道・東北と海外は「航空機」、関東と九州・沖縄は「JR新幹線」の割合が最も高くなっている。

(6) 旅行行動 (海の京都の立ち寄り都道府県)

[海の京都 調査地点前後の立ち寄り都道府県]



※図表の「s」はサンプル数を示している。

- ・居住地から海の京都の調査地点へ来るまでに訪れた都道府県と調査地点から居住地へ帰るまでに訪れる予定の都道府県は上記のような結果となった。前後共に、近隣府県を経由する周遊が多く見られた。

【海の京都 調査地点前後の立ち寄り観光地点】

海の京都（調査地点訪問前）	（件）
京都市	32
福知山市	5
福知山市郷土資料館	2
福知山市佐藤太清記念美術館	1
福知山市動物園	1
御霊神社	1
福知山ドッコイセまつり	1
元伊勢	2
三段池公園テニスコート	1
舞鶴市	16
五老スカイタワー	2
赤れんが博物館	12
舞鶴引揚記念館	2
舞鶴港とれとれセンター	1
金剛院	1
舞鶴ふるるファーム	1
京都舞鶴港第2ふ頭	1
綾部市	14
安国寺	2
私市円山古墳公園	2
宮津市	10
丹後海陸交通株式会社（傘松公園）	2
天橋立ビューランド	71
天橋立ワイナリー	1
智恩寺駐車場	3
長岡天満宮	1
京丹後市	18
夕日ヶ浦浜詰海水浴場	2
若狭湾国定公園琴引浜海岸周辺	3
宇川温泉よし野の里	1
丹後王国食のみやこ	1
くみはまSANKAIKAN	1
スプリングスひよし	1
かやぶきの里	2
京丹波町	1
道の駅「和」	2
京都府立丹波自然運動公園	1
道の駅「さらびき」	1
道の駅「京丹波味夢の里」	7
伊根町	14
伊根湾めぐり遊覧船	1
伊根町観光協会	5
与謝野町	3
丹後ちりめん歴史館	1

海の京都（調査地点訪問後）	（件）
京都市	44
福知山市	28
福知山市郷土資料館	3
福知山市佐藤太清記念美術館	2
福知山市動物園	1
観音寺	6
御霊神社	2
大江山	1
元伊勢	3
大原神社	1
舞鶴市	37
五老スカイタワー	1
赤れんが博物館	31
舞鶴引揚記念館	4
舞鶴港とれとれセンター	8
松尾寺	1
海水浴（神崎）	1
舞鶴港遊覧船	1
舞鶴自然文化園	1
綾部市	21
綾部市天文館「バオ」	1
綾部ふれあい牧場	1
あやべ温泉	5
あやバグンゼスクエア	2
宇治市	1
宮津市	16
丹後海陸交通株式会社（傘松公園）	7
天橋立ビューランド	97
天橋立ワイナリー	1
智恩寺駐車場	4
亀岡市	3
トロッコ列車	1
サンガスタジアムbykyocera	1
京丹後市	28
夕日ヶ浦浜詰海水浴場	3
八丁浜海岸周辺	1
若狭湾国定公園琴引浜海岸周辺	4
浅茂川温泉静の里	1
経ヶ岬灯台	1
道の駅てんきてんき丹後	5
あしぎぬ温泉	4
丹後王国食のみやこ	1
くみはまSANKAIKAN	1
南丹市	2
スプリングスひよし	1
京丹波町	2
道の駅「京丹波味夢の里」	3
伊根町	32
舟屋の里公園	2
伊根町観光協会	5
与謝野町	1
道の駅シルクのまちかや	1

(7) 旅行費用

[旅行費用 京都府内全体]

(円)

全体 (日帰り・宿泊含む)		京都府内							平均
		交通費	宿泊費	土産・代物	飲食費	拝入観料	その他費用	(パック料金 - 該当者のみ)	
全体 (n=1,472)		2835.6	5392.8	2680.4	2755.3	488.3	267.5	29103.2	15397.8
調査時期別	第4期 (冬季調査) (n=338)	3043.8	4605.7	1973.6	2224.8	502.3	325.7	13973.0	12841.3
	第1期 (春季調査) (n=360)	2591.8	4132.5	2966.0	2600.7	385.7	183.3	13160.8	13533.9
	第2期 (夏季調査) (n=343)	2773.1	4549.0	2536.8	2849.3	562.0	370.6	30797.8	14987.6
	第3期 (秋季調査) (n=431)	2925.8	7734.2	3110.5	3225.6	504.6	210.0	45260.0	19285.8
居住地別	北海道・東北 (n=13)	6276.9	10769.2	4978.0	3901.1	2830.0	769.2	64333.3	44370.7
	関東 (n=97)	8931.6	13294.7	4709.6	4576.1	1157.3	690.4	37006.7	37174.9
	中部 (n=150)	4162.4	7547.6	3451.8	3196.4	609.6	209.3	20416.7	20470.4
	関西 (京都府除く) (n=622)	2321.2	5028.8	2230.2	2563.1	360.9	264.6	13999.5	13128.8
	京都府 (n=477)	1021.2	1850.3	1611.0	1423.1	196.2	210.7	11822.5	6411.5
	中国・四国 (n=51)	3425.8	7403.6	3980.4	5375.2	517.5	182.4	30000.0	21473.0
	九州・沖縄 (n=20)	6694.2	11595.8	4466.7	3243.4	2172.2	550.0	57500.0	34472.2
	海外 (n=41)	8830.6	18328.1	11148.0	11443.9	2201.9	0.0	53200.0	58440.2
旅行目的別	ビジネス (n=16)	11256.9	3243.1	1052.1	2112.5	248.8	562.5	25000.0	21600.8
	観光 (n=1,299)	2853.6	5968.3	2722.3	2879.1	524.8	228.4	29285.5	16190.9
	帰省・知人訪問 (n=44)	3136.4	704.5	2781.3	2739.0	219.3	140.9	-	11346.3
	その他 (n=113)	1319.8	907.1	2390.0	1429.8	208.3	724.2	-	6979.1


- ・京都府内での利用金額については、上記の結果となった。
- ・調査時期別の旅行費用の総額については、秋季調査において 19,285.8 円/人と高くなっているが、それ以外の期間では 12,000 円/人～15,000 円/人となっている。
- ・居住地別の総額については、関西圏以外では 20,000 円/人を超えている。
- ・旅行目的別の総額については、観光では 16,190.9 円/人となった。

[調査期別 前年（令和4年）対比旅行費用 京都府内全体]

(%)

		交通費	宿泊費	買物 土産代	飲食費	入場料 拝観料	その他	総額
R5年	全体	103.7	136.4	169.2	136.8	131.1	136.2	159.4
	冬季	126.6	122.9	150.5	138.7	140.3	74.0	155.5
	春季	84.3	122.5	178.2	126.7	126.1	203.1	169.3
	夏季	93.0	133.0	160.9	124.7	122.9	174.3	141.8
	秋季	105.6	174.0	198.1	160.0	137.6	231.2	176.6

		交通費	宿泊費	買物 土産代	飲食費	入場料 拝観料	その他	総額
日帰り	全体	90.1	-	152.5	117.3	104.4	156.7	123.4
	冬季	94.3	-	81.6	104.0	91.8	77.8	100.1
	春季	83.8	-	173.8	128.0	103.9	176.6	128.2
	夏季	95.7	-	173.4	114.5	130.9	296.3	133.8
	秋季	88.9	-	208.6	122.3	95.1	200.8	136.3
宿泊	全体	103.9	126.5	170.3	138.5	143.7	117.2	161.1
	冬季	130.9	115.3	187.7	146.6	158.1	68.1	162.3
	春季	84.6	122.5	180.0	125.4	156.8	227.6	186.5
	夏季	80.8	113.1	136.7	113.8	105.1	99.7	125.7
	秋季	109.0	159.8	179.8	176.7	168.9	244.4	179.9

 全体より比率の高い項目

- ・令和4年と比較すると、全体を通して旅行費用の消費額はアップしている。
- ・調査時期別では、秋季調査において、全項目が全体より高い比率でアップしている。
- ・宿泊の有無では、春季調査と秋季調査の宿泊ありにおいて高い比率となっている。

【旅行費用 エリア内】

(円)

		エリア内						
全体 (日帰り・宿泊含む)		交通費	宿泊費	土産・代物	飲食費	拝入観料	その他費用	平均
全体 (n=1,472)		1896.6	4443.3	2097.1	2195.4	332.2	244.8	11209.4
調査時期別	第4期 (冬季調査) (n=338)	1579.5	3757.6	1514.2	1654.0	375.3	325.7	9206.4
	第1期 (春季調査) (n=360)	2008.3	3879.0	2880.1	2396.9	351.8	158.7	11674.9
	第2期 (夏季調査) (n=343)	1632.2	3765.4	1714.5	2202.3	301.8	341.9	9958.2
	第3期 (秋季調査) (n=431)	2262.5	5991.9	2204.6	2446.2	306.2	175.9	13387.3
居住地別	北海道・東北 (n=13)	4776.9	5769.2	2785.7	2593.4	460.8	46.2	16432.2
	関東 (n=97)	4738.0	9874.6	2852.5	2716.5	689.5	649.1	21520.2
	中部 (n=150)	2745.8	7451.5	3127.9	2572.5	518.6	197.1	16613.3
	関西 (京都府除く) (n=622)	1852.4	4811.9	2142.2	2544.1	324.0	264.1	11938.7
	京都府 (n=477)	713.3	1703.5	1563.7	1360.1	157.2	200.2	5697.9
	中国・四国 (n=51)	2633.7	5825.2	2946.1	3125.2	429.7	146.1	15105.9
	九州・沖縄 (n=20)	6006.7	7166.7	1858.4	2351.7	682.2	0.0	18065.5
	海外 (n=41)	2716.2	3512.2	953.0	2707.1	641.3	0.0	10529.8
旅行目的別	ビジネス (n=16)	1375.0	1687.5	656.3	1862.5	186.3	0.0	5767.5
	観光 (n=1,299)	1974.4	4939.2	2078.1	2290.8	348.6	209.6	11840.8
	帰省・知人訪問 (n=44)	2254.0	704.5	2463.1	1568.5	219.3	140.9	7350.3
	その他 (n=113)	936.6	588.5	2376.7	1390.8	208.3	724.2	6225.1

- ・エリア内での利用金額については、上記の結果となった。
- ・調査時期別の旅行費用の総額については、秋季調査において 13,387 円/人と高くなっているが、それ以外の期間では 9,000 円/人～12,000 円/人となっている。
- ・居住地別の総額については、京都府のみが 10,000 円/人を下回っており、関西（京都府除く）と海外以外の地域では 15,000 円/人を超えている。
- ・旅行目的別の総額については、観光のみ 10,000 円/人を上回っている。

【旅行費用 京都府内全体（日帰りのみ）】

(円)

		京都府内							
(日帰りのみ)		交通費	宿泊費	土産・代物	飲食費	拝入観料	その他費用	(パック料金 のみのみ)	平均
全体 (n=861)		1452.5	0.0	1731.9	1696.9	253.5	154.9	11936.9	5511.4
調査時期別	第4期(冬季調査) (n=199)	1821.7	0.0	1318.2	1614.6	267.1	40.7	-	5062.3
	第1期(春季調査) (n=231)	1245.8	0.0	2310.1	1800.8	253.9	119.1	9826.4	6197.7
	第2期(夏季調査) (n=189)	1396.9	0.0	1505.4	1520.4	265.4	476.7	13000.0	5233.6
	第3期(秋季調査) (n=242)	1389.4	0.0	1697.0	1803.1	232.8	31.5	17475.0	5442.7
居住地別	北海道・東北 (n=-)	-	-	-	-	-	-	-	-
	関東 (n=1)	16667.0	0.0	0.0	6667.0	667.0	0.0	-	24000.0
	中部 (n=47)	2726.8	0.0	1912.4	1996.9	339.4	117.0	9750.0	7507.4
	関西(京都府除く) (n=380)	1863.1	0.0	2034.5	2084.4	294.3	67.3	13109.1	6723.0
	京都府 (n=413)	857.4	0.0	1414.7	1271.2	181.4	243.3	9096.7	4034.0
	中国・四国 (n=14)	1965.5	0.0	2690.5	2216.6	374.1	128.6	-	7375.2
	九州・沖縄 (n=-)	-	-	-	-	-	-	-	-
	海外 (n=6)	2691.7	0.0	1041.7	2058.3	1616.7	0.0	-	7408.3
旅行目的別	ビジネス (n=8)	1437.5	0.0	687.5	1225.0	82.5	0.0	10000.0	4682.5
	観光 (n=727)	1593.5	0.0	1683.1	1803.7	278.7	69.2	12066.0	5677.3
	帰省・知人訪問 (n=26)	1182.7	0.0	1241.3	1089.0	175.0	46.2	-	3734.2
	その他 (n=100)	498.1	0.0	2297.7	1115.6	104.5	818.3	-	4834.3

- ・日帰り観光客の京都府内の利用金額については、上記の結果となった。
- ・調査時期別の旅行費用の総額については、5,000円/人～6,000円/人となっており、大きな差は見られない。
- ・居住地別では、京都府で4,000円代/人、関西(京都府除く)で6,000円代/人、中部で7,000円代/人となっている。
- ・旅行目的では、観光が5,677.3円/人で最も高くなっている。

【旅行費用 エリア内（日帰りのみ）】

(円)

(日帰りのみ)		エリア内						平均
		交通費	宿泊費	土産・代物	飲食費	拝入観料	その他費用	
全体 (n=861)		1122.2	0.0	1669.7	1618.3	210.3	148.7	4769.2
調査時期別	第4期（冬季調査） (n=199)	1235.7	0.0	1165.5	1298.9	178.3	40.7	3919.1
	第1期（春季調査） (n=231)	1097.4	0.0	2243.7	1728.8	253.9	119.1	5442.9
	第2期（夏季調査） (n=189)	1080.4	0.0	1501.0	1513.3	239.6	476.7	4811.0
	第3期（秋季調査） (n=242)	1085.0	0.0	1668.2	1857.7	172.2	9.5	4792.6
居住地別	北海道・東北 (n=-)	-	-	-	-	-	-	-
	関東 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中部 (n=47)	2298.2	0.0	1816.7	1571.4	259.1	117.0	6062.5
	関西（京都府除く） (n=380)	1513.3	0.0	1920.8	2012.6	250.4	66.4	5763.5
	京都府 (n=413)	582.2	0.0	1400.5	1238.2	142.4	231.2	3594.5
	中国・四国 (n=14)	1894.1	0.0	2690.5	2216.6	374.1	128.6	7303.8
	九州・沖縄 (n=-)	-	-	-	-	-	-	-
	海外 (n=6)	2691.7	0.0	1041.7	2058.3	1616.7	0.0	7408.3
旅行目的別	ビジネス (n=8)	1437.5	0.0	687.5	1225.0	82.5	0.0	3432.5
	観光 (n=727)	1222.8	0.0	1610.2	1714.7	227.5	61.9	4837.1
	帰省・知人訪問 (n=26)	851.0	0.0	1241.3	1089.0	175.0	46.2	3402.5
	その他 (n=100)	436.1	0.0	2292.7	1086.6	104.5	818.3	4738.3

- ・日帰り観光客のエリア内の利用金額については、上記の結果となった。
- ・調査時期別の旅行費用の総額については、春季調査において5,000円/人を超えている。
- ・居住地別では、京都府で3,000円代/人、関西（京都府除く）で5,000円代/人、中部で6,000円代/人となっている。
- ・旅行目的別では、観光とその他で4,000円代/人となっている。

【旅行費用 京都府内全体（宿泊のみ）】

(円)

京都府内									
(宿泊のみ)		交通費	宿泊費	土産代物・	飲食費	拝入観料	その他費用	（パツク料金のみ）	平均
全体 (n=611)		4784.7	12992.1	4017.1	4246.8	819.2	426.2	37963.2	29329.2
調査時期別	第4期（冬季調査） (n=139)	4793.4	11199.5	2911.8	3098.5	839.0	733.8	13973.0	23978.2
	第1期（春季調査） (n=129)	5002.1	11532.6	4140.5	4033.0	621.7	298.2	31500.0	26670.7
	第2期（夏季調査） (n=154)	4462.0	10131.9	3802.6	4480.3	926.0	240.4	32069.1	26958.5
	第3期（秋季調査） (n=189)	4892.9	17637.3	4920.4	5047.0	852.5	438.6	55363.6	37010.9
居住地別	北海道・東北 (n=13)	6276.9	10769.2	4978.0	3901.1	2830.0	769.2	64333.3	44370.7
	関東 (n=96)	8851.0	13433.2	4758.7	4554.4	1162.4	697.6	37006.7	37312.2
	中部 (n=103)	4817.5	10991.7	4154.2	3743.7	732.9	251.5	25750.0	26385.5
	関西（京都府除く） (n=242)	3040.4	12925.3	2537.5	3314.7	465.3	574.4	15958.4	23187.4
	京都府 (n=64)	2078.3	13790.4	2877.9	2403.1	291.8	0.0	20000.0	21753.9
	中国・四国 (n=37)	3978.4	10204.9	4468.5	6570.3	571.8	202.7	30000.0	26807.4
	九州・沖縄 (n=20)	6694.2	11595.8	4466.7	3243.4	2172.2	550.0	57500.0	34472.2
	海外 (n=35)	9883.0	21470.1	12880.5	13052.8	2302.2	0.0	53200.0	67188.5
旅行目的別	ビジネス (n=8)	21076.4	6486.1	1416.6	3000.0	415.0	1125.0	40000.0	38519.1
	観光 (n=572)	4455.1	13553.8	4043.2	4245.8	837.5	430.7	37895.3	29553.6
	帰省・知人訪問 (n=18)	5958.3	1722.2	5005.6	5122.2	283.3	277.8	-	22341.7
	その他 (n=13)	7640.0	7884.6	3100.0	3846.2	1006.9	0.0	-	23477.7

- ・宿泊観光客の京都府内の利用金額については、上記の結果となった。
- ・調査時期別の旅行費用の総額については、25,000円前後/人が多くなっているが、秋季調査においては約40,000円/人と高くなっている。
- ・居住地別では、全ての地域において20,000円/人を超えており、関東以東、九州・沖縄では30,000円/人を超えている。インバウンド観光客については、60,000円/人以上と非常に高くなっている。
- ・旅行目的別の総額については、20,000円代/人が中心となっている。

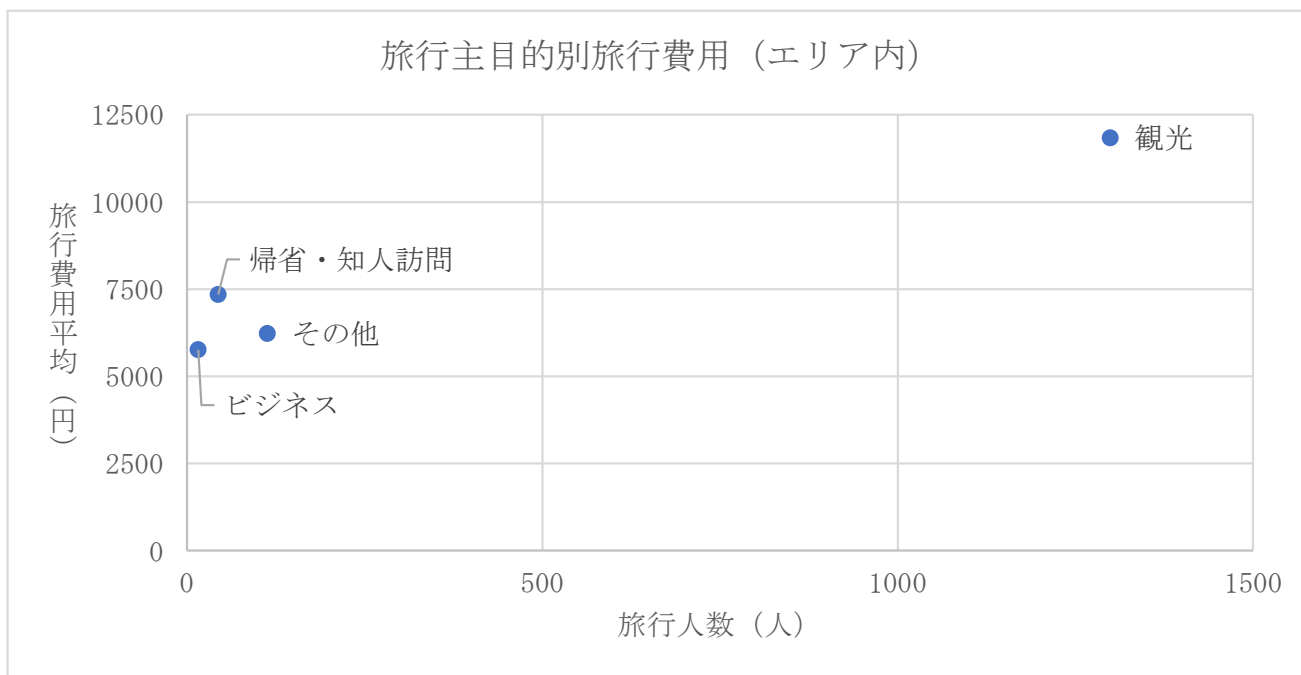
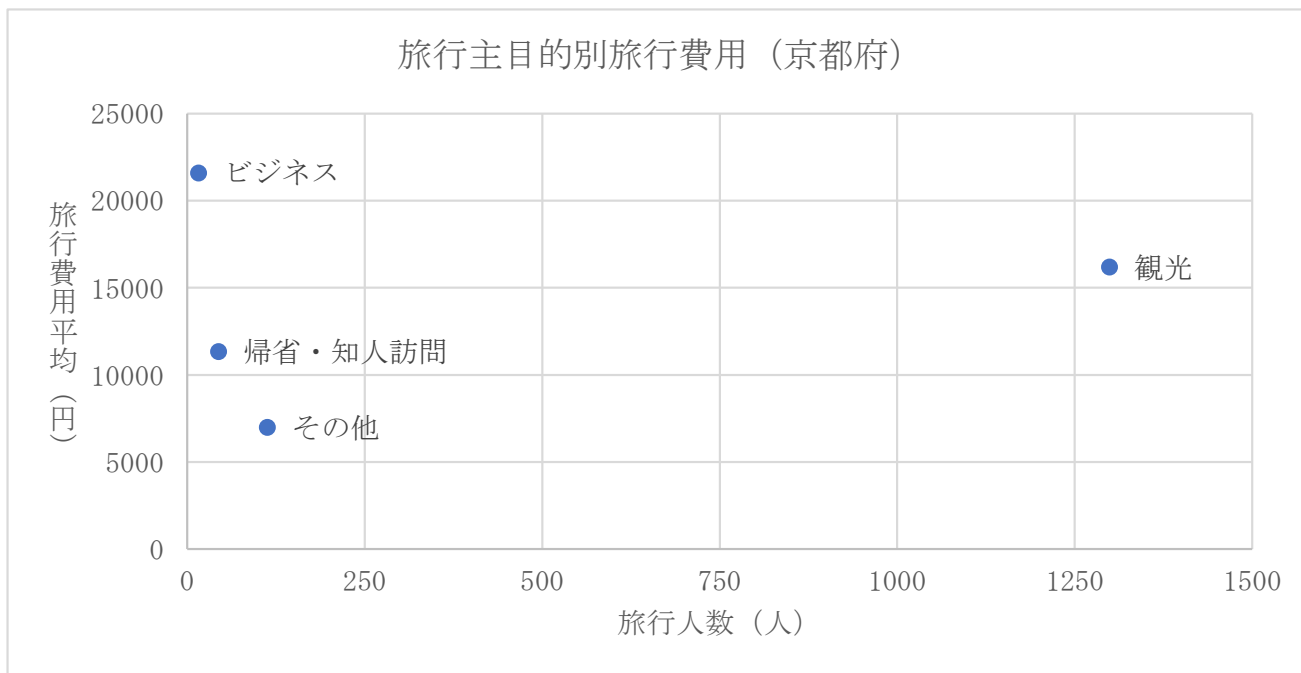
【旅行費用 エリア内（宿泊のみ）】

(円)

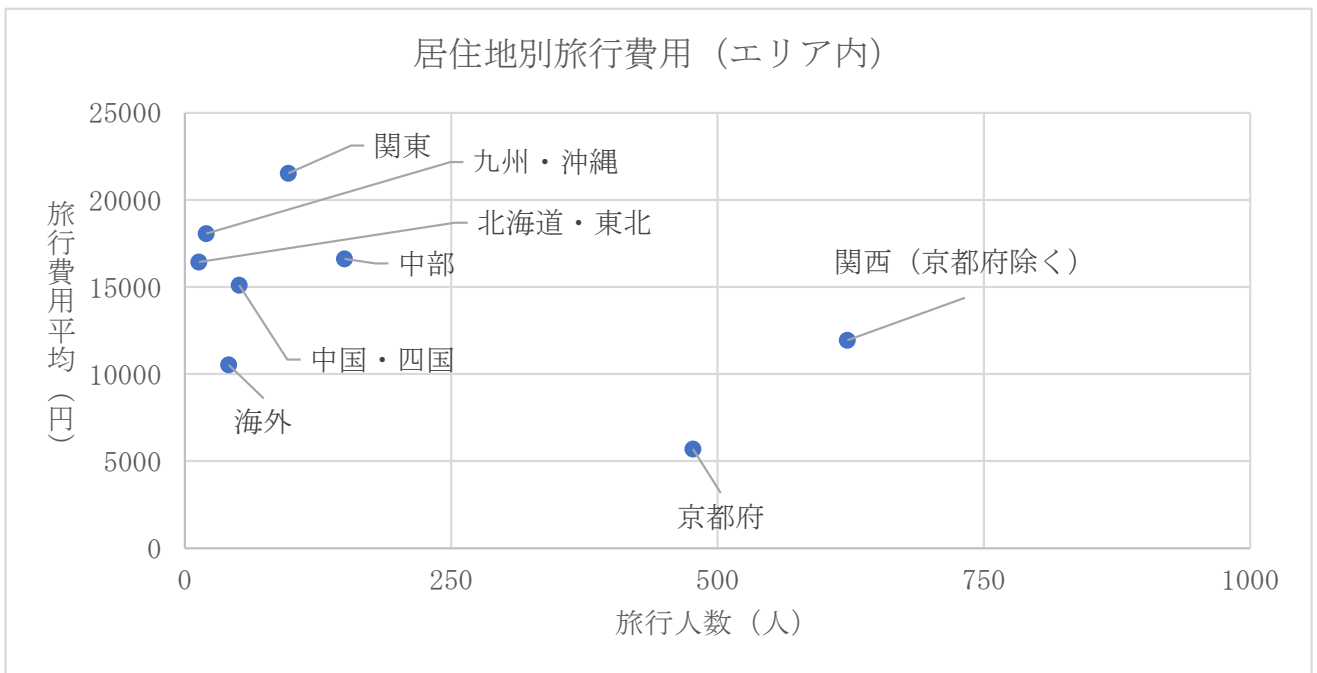
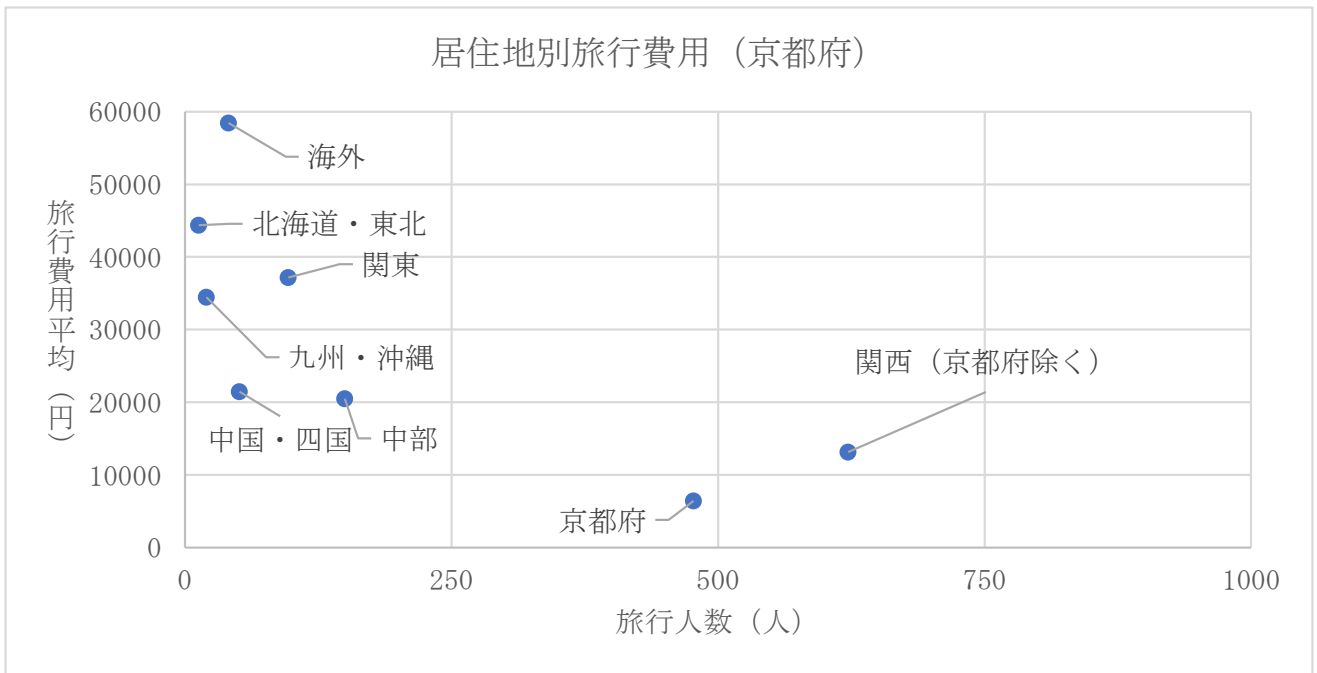
		エリア内						
(宿泊のみ)		交通費	宿泊費	土産 代物・	飲食費	拝入 観料・	その他 費用	平均
全体 (n=611)		2987.9	10704.7	2699.4	3008.7	504.0	380.2	20284.8
調査 時期 別	第4期 (冬季調査) (n=139)	2071.6	9137.3	2013.5	2162.5	657.5	733.8	16776.2
	第1期 (春季調査) (n=129)	3639.2	10825.2	4019.7	3593.5	527.1	229.7	22834.4
	第2期 (夏季調査) (n=154)	2309.4	8386.5	1976.6	3048.0	378.2	176.4	16275.1
	第3期 (秋季調査) (n=189)	3770.0	13664.0	2891.4	3199.8	477.9	388.9	24392.1
居住 地別	北海道・東北 (n=13)	4776.9	5769.2	2785.7	2593.4	460.8	46.2	16432.2
	関東 (n=96)	4787.3	9977.5	2882.2	2744.8	696.6	655.9	21744.4
	中部 (n=103)	2950.0	10851.7	3726.3	3029.3	636.9	233.7	21427.8
	関西 (京都府除く) (n=242)	2384.9	12367.7	2489.9	3378.6	439.6	574.4	21635.3
	京都府 (n=64)	1558.7	12696.6	2616.7	2147.0	252.7	0.0	19271.8
	中国・四国 (n=37)	2913.5	8029.3	3042.8	3468.9	450.8	152.7	18058.0
	九州・沖縄 (n=20)	6006.7	7166.7	1858.4	2351.7	682.2	0.0	18065.5
	海外 (n=35)	2720.4	4114.3	937.9	2818.3	474.1	0.0	11064.9
旅行 目的 別	ビジネス (n=8)	1312.5	3375.0	625.0	2500.0	290.0	0.0	8102.5
	観光 (n=572)	2929.8	11216.9	2672.9	3022.9	502.5	397.4	20742.3
	帰省・知人訪問 (n=18)	4280.6	1722.2	4227.8	2261.1	283.3	277.8	13052.8
	その他 (n=13)	4786.2	5115.4	3023.1	3730.8	1006.9	0.0	17662.3

- ・宿泊観光客のエリア内の利用金額については、上記の結果となった。
- ・調査時期別の旅行費用の総額については、各期により差があり、夏季調査と冬季調査で 16,000 円代/人、春季調査と秋季調査では 22,000 円/人～24,000 円/人と高くなっている。
- ・居住地別では、関東、中部、関西（京都府除く）で 20,000 円/人を超えている。その他の地域も 18,000 円前後/人となっている。
- ・旅行目的別では、観光が 20,000 円/人を超えている。

[旅行費用 旅行主目的別人数×旅行費用]



[旅行費用 居住地別人数×旅行費用]



令和5年度観光客動向調査

満足度調査結果

I 調査概要

1 調査目的

京都府を訪れた観光客に対し、京都府独自に日本人及び外国人観光客の旅行動向や観光満足度等の調査を実施することで、京都府の観光の実態を的確に把握することを目的に実施。

2 実施概要

調査対象者	観光施設等を訪れた観光客（男女個人） 家族やグループから回答		
調査手法	現地にて調査員の直接聞き取りによるヒアリング調査		
調査地点	海の京都のエリア 日本人観光客を対象とした調査地点は3市町3地点を選定 インバウンド観光客を対象とした調査地点は2市町2地点を選定		
サンプル サイズ	夏季調査：日本人観光客 275 サンプル、外国人観光客 21 サンプル	合計 296	
	秋季調査：日本人観光客 277 サンプル、外国人観光客 29 サンプル	合計 306	
	年間計：日本人観光客 552 サンプル、外国人観光客 50 サンプル	合計 602	
調査時期	夏季調査：2023年7月～9月 秋季調査：2023年10月～12月		

No	調査地点	観光客動向調査	
		日本人	外国人
1	伊根町観光案内所	184	30
2	丹後王国食のみやこ	—	—
3	天橋立ビューランド	195	20
4	ちりめん街道	—	—
5	舞鶴港とれとれセンター	—	—
6	あやべグンゼスクエア	—	—
7	福知山城	173	—
海の京都 合計		552	50

3 報告書の見方

- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しており、今回の集計における母数※1は、有効回収数※2 ベースで算出している。
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数※3に対して、それぞれの回答数※4の割合を小数点以下第2位四捨五入したものである。そのため、単数回答※5であっても合計値が100.0%にならない場合がある。
- 複数回答※6の設問の場合、回答は選択肢ごとの回答数に対して、それぞれの割合を示している。そのため、合計値が100.0%を超える場合がある。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものである。
- 平均人数や平均金額を算出する設問については、無回答を除いた回答者で除して算出をしている。

※注釈

※1 母数：調査で回答を得られた標本（サンプル）の内、有効サンプルを指す

※2 有効回収数：調査で得られた標本の内、白票や無効票を除いた数

※3 有効サンプル数：集計対象者数

※4 回答数：調査対象者が回答をした選択肢の数

※5 単数回答：複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式

※6 複数回答：複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式

Ⅱ 調査結果（日本人調査）

1 基本属性

（1）居住地

		北海道	東北	関東	中部	関西	中国	四国	九州・沖縄
調査数 (n=552)		0.2	0.7	10.9	11.1	69.6	4.0	1.3	2.4
時 調 期 査	夏季調査 (7-9 月期) (n=275)	0.4	-	11.3	10.9	71.3	4.7	1.1	0.4
	秋季調査 (10-12 月期) (n=277)	-	1.4	10.5	11.2	67.9	3.2	1.4	4.3

		北海道・東北	関東	中部	関西（京都府除く）	京都府	中国・四国	九州・沖縄
調査数 (n=552)		0.9	10.9	11.1	52.7	16.8	5.3	2.4
時 調 期 査	夏季調査 (7-9 月期) (n=275)	0.4	11.3	10.9	53.5	17.8	5.8	0.4
	秋季調査 (10-12 月期) (n=277)	1.4	10.5	11.2	52.0	15.9	4.7	4.3

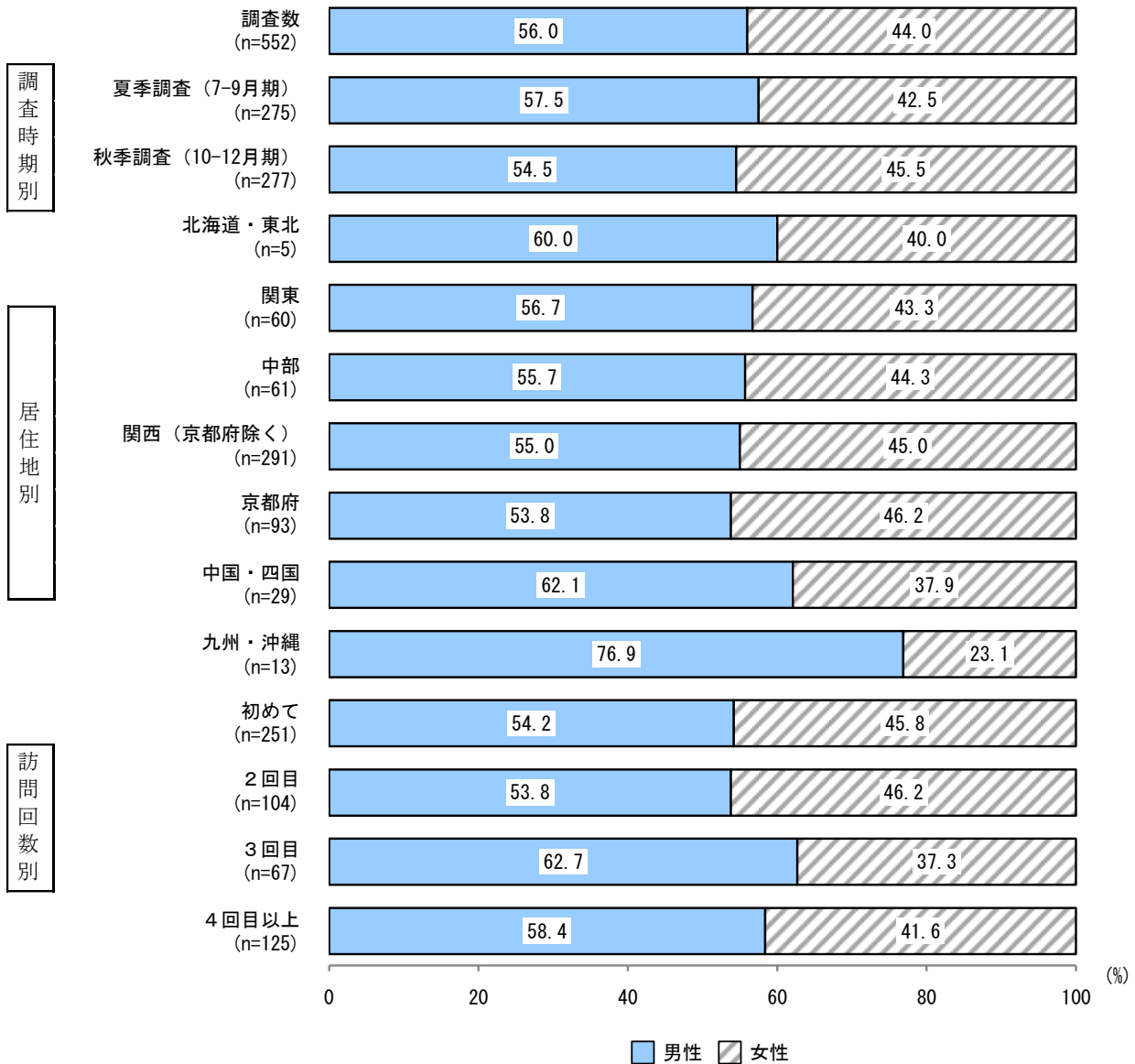
※ 全体より5%以上高い値

※ 北海道と東北、中国と四国については、サンプル数が少ないため統合した
 関西については、京都府とそれ以外で特徴を把握するために分割した

- ・対象者の居住地については、関西が 69.6%、中部が 11.1%、関東が 10.9%となっている。
- ・居住地を京都府とそれ以外の関西で区分すると、関西（京都府除く）が 52.7%、京都府が 16.8%となっており、京都府を除く関西が過半数を占めている。

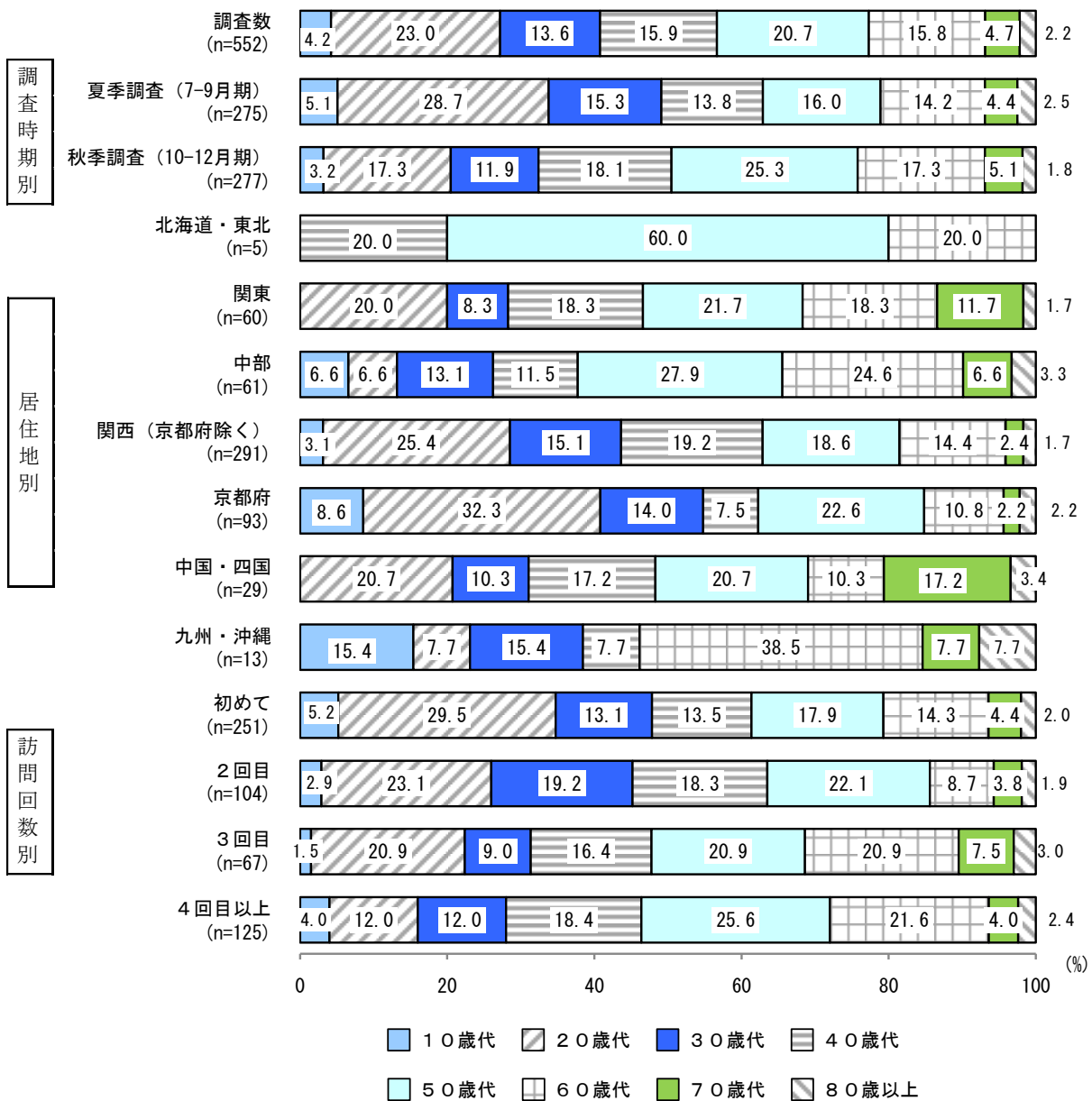
(2) 性別・年齢

[性別]



- ・性別については、「男性」が56.0%、「女性」が44.0%となっている。
- ・居住地別では、全ての地域において「男性」が半数を超えている。
- ・訪問回数別では、全ての回数において「男性」が半数を超えている。

[年齢]

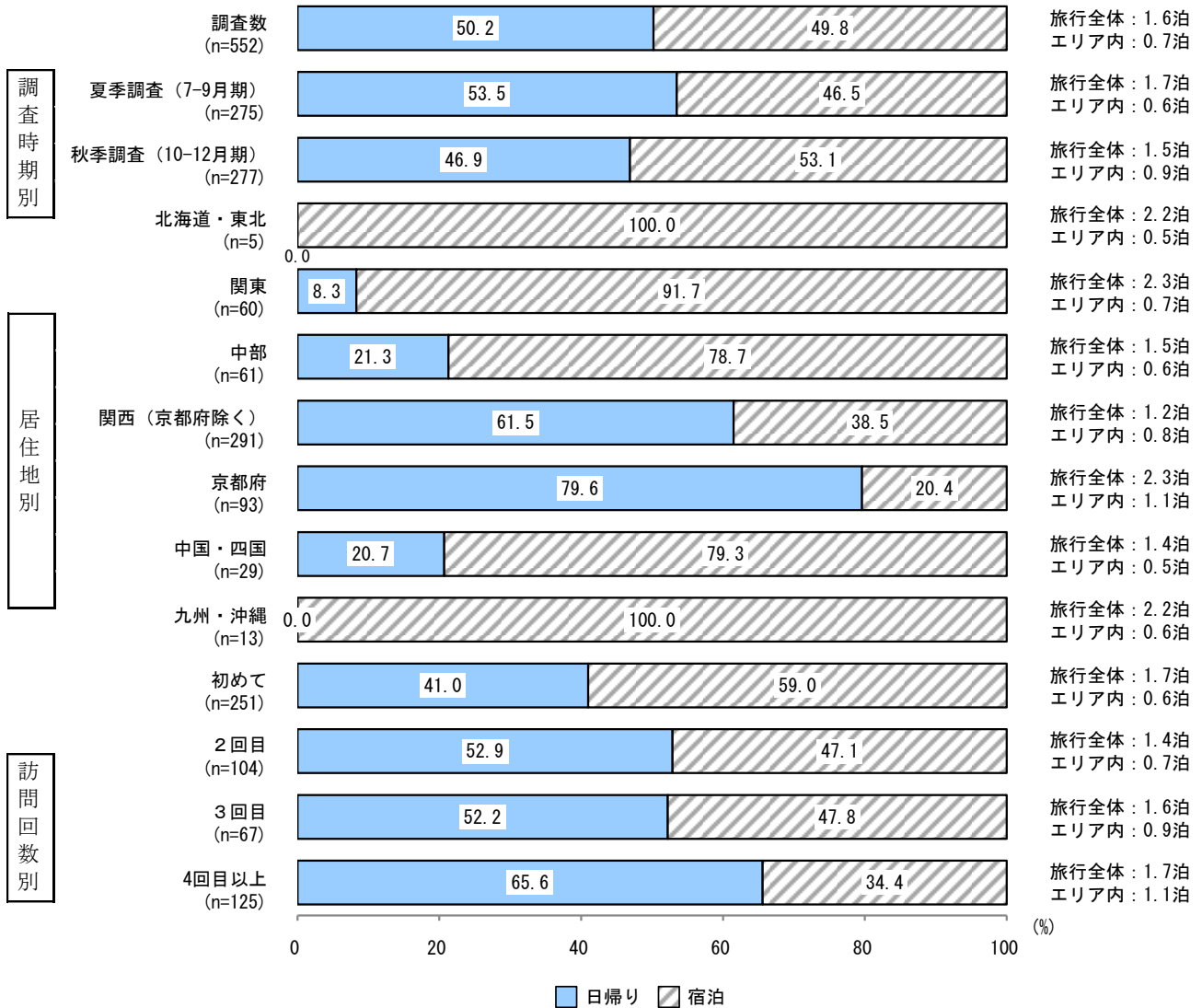


- ・年齢については、「20歳代」が23.0%で最も高く、次いで「50歳代」が20.7%、「40歳代」が15.9%となっている。
- ・居住地別では、関東と中国・四国は「70歳代」、中部は「50歳代～60歳代」、京都府は「20歳代」の割合が全体と比較して高くなっている。
- ・訪問回数別では、初めては「20歳代」、2回目は「30歳代」、3回目以上は「60歳代」の割合が全体と比較して高くなっている。

2 今回の旅行について

(1) 宿泊の有無／宿泊数

[宿泊日帰り・平均宿泊数]



- ・ 宿泊の有無については、日帰りが50.2%、宿泊が49.8%となっており、それぞれ半数となっている。
- ・ 調査時期では、夏季調査は旅行全体が1.7泊、エリア内が0.6泊で秋季調査は旅行全体が1.5泊、エリア内が0.9泊となっており、若干差がある。
- ・ 居住地別では、関西圏以外で宿泊を伴う旅行が過半数以上を占めている。
- ・ 平均宿泊数は、旅行全体では1.6泊、エリア内では0.7泊。
- ・ 訪問回数別では、訪問回数が増えるほど、「日帰り」の割合が増える傾向が見られる。

(2) エリア以外の旅行先

【エリア以外の旅行先】

		(%)		
		ない	あり	無回答
調査数 (n=552)		71.6	26.2	2.2
時 調 期 査	夏季調査 (7-9 月期) (n=275)	74.5	23.7	1.8
	秋季調査 (10-12 月期) (n=277)	68.6	28.9	2.5

居 住 地 別			(%)		
			ない	あり	無回答
	北海道・東北	(n=5)	20.0	80.0	-
	関東	(n=60)	31.7	65.0	3.3
	中部	(n=61)	57.4	41.0	1.6
	関西 (京都府除く)	(n=291)	81.8	16.5	1.7
	京都府	(n=93)	86.0	10.8	3.2
	中国・四国	(n=29)	65.5	34.5	-
	九州・沖縄	(n=13)	23.1	69.2	7.7

訪 問 回 数 別			(%)		
			ない	あり	無回答
	初めて	(n=251)	65.7	32.7	1.6
	2回目	(n=104)	73.1	25.9	1.0
	3回目	(n=67)	74.6	22.4	3.0
	4回目以上	(n=125)	80.0	16.0	4.0

		(MA%)					
		海 の 京 都	森 の 京 都	お 茶 の 京 都	京 都 市	竹 の 里 ・ 乙 訓	府 外
(n=145)		-	10.3	7.6	39.3	1.4	51.0
(n=65)		-	12.3	7.7	40.0	-	50.8
(n=80)		-	8.8	7.5	38.8	2.5	51.3

(n=4)		-	-	-	25.0	-	75.0
(n=39)		-	7.7	2.6	51.3	-	59.0
(n=25)		-	8.0	4.0	44.0	-	48.0
(n=48)		-	16.7	14.6	33.3	2.1	43.8
(n=10)		-	10.0	20.0	20.0	10.0	40.0
(n=29)		-	3.4	-	13.8	-	17.2
(n=9)		-	-	-	33.3	-	66.7

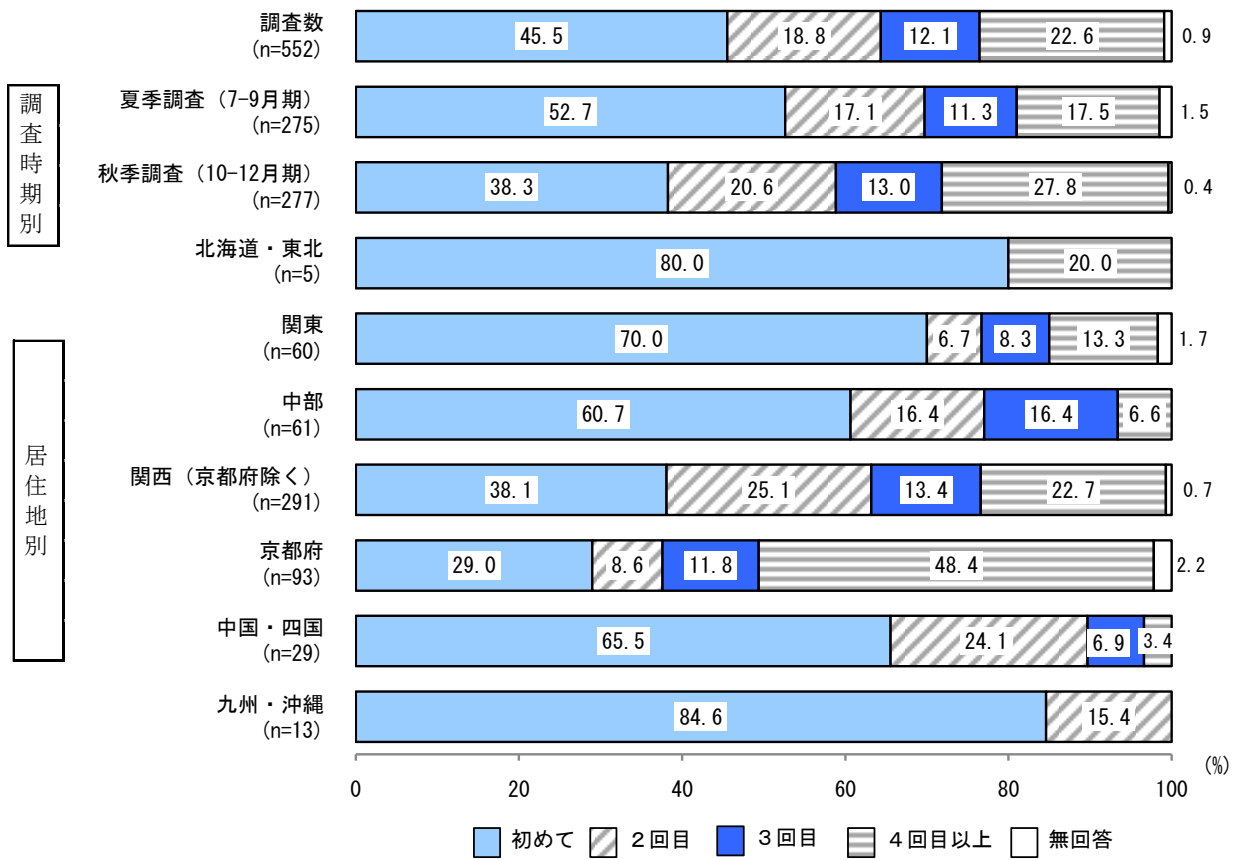
(n=82)		-	9.8	8.5	42.7	-	47.6
(n=27)		-	11.1	7.4	25.9	-	55.6
(n=15)		-	20.0	-	33.3	-	53.3
(n=20)		-	5.0	10.0	50.0	10.0	55.0

※ 全体より5%以上高い値

- ・全体の約7割の方は、各エリアのみの観光となっており、他のエリアや府外も含めて周遊観光される方は3割程度となっている。
- ・居住地別では、「関西圏」の方は「ない」の割合が8割以上と高くなっている。また、中部、中国・四国でも半数程度は「ない」と回答している。
- ・訪問回数別では、訪問回数が増えるにつれて、訪れているエリアのみを周遊する割合が高くなっている。
- ・エリア以外も旅行する人に絞った集計では、「府外」が半数以上、「京都市」が約4割と高くなっている。
- ・居住地別では、関東は「京都市」と「府外」、関西（京都府除く）は、「森の京都」と「お茶の京都」が全体を比較して高くなっている。
- ・訪問回数別では、4回目以上は「京都市」と「竹の里・乙訓」の割合が全体と比較して高くなっている。

(3) エリアへの訪問回数

[エリアへの訪問回数]



- ・エリアへの訪問回数は、「初めて」が45.5%で最も高く、次いで「4回目以上」が22.6%となっている。
- ・調査時期別では、夏季調査は「初めて」が52.7%と過半数を占めており、秋季調査は「4回目以上」が27.8%となっており、全体と比較して高くなっている。
- ・居住地別では、京都府以外は「初めて」の割合が最も高くなっている。

(4) 旅行の際に重視した点 (複数回答)

【旅行で重視した点 (複数回答)】

(MA%)

		日程	季節	観光地・訪問スポット	現地での体験できること	宿泊施設	同行者	交通手段	旅行費用	施設の情報	訪問地や	現地での食事	その他	無回答
調査数 (n=552)		19.9	18.7	79.5	6.5	6.9	5.1	6.5	2.7	0.2	14.9	5.1	1.6	
時期別	夏季調査 (7-9 月期) (n=275)	24.4	8.4	83.3	9.5	8.0	4.7	9.5	4.7	-	12.7	6.2	0.7	
	秋季調査 (10-12 月期) (n=277)	15.5	28.9	75.8	3.6	5.8	5.4	3.6	0.7	0.4	17.0	4.0	2.5	
居住地別	北海道・東北 (n=5)	20.0	20.0	80.0	20.0	-	-	60.0	-	-	20.0	-	-	
	関東 (n=60)	30.0	23.3	80.0	10.0	1.7	1.7	1.7	-	-	15.0	8.3	1.7	
	中部 (n=61)	23.0	26.2	80.3	-	9.8	8.2	8.2	-	-	9.8	1.6	-	
	関西 (京都府除く) (n=291)	18.2	16.5	81.4	6.5	10.0	5.5	6.2	4.1	-	17.9	5.2	1.4	
	京都府 (n=93)	15.1	17.2	75.3	9.7	-	5.4	6.5	1.1	-	5.4	5.4	3.2	
	中国・四国 (n=29)	34.5	20.7	69.0	3.4	3.4	3.4	6.9	-	3.4	20.7	3.4	3.4	
	九州・沖縄 (n=13)	-	15.4	84.6	-	7.7	-	7.7	15.4	-	23.1	7.7	-	
訪問回数別	初めて (n=251)	21.5	15.5	84.5	8.4	7.2	5.2	7.6	3.6	-	12.7	4.8	0.8	
	2回目 (n=104)	18.3	26.0	79.8	6.7	8.7	6.7	5.8	2.9	1.0	21.2	3.8	1.0	
	3回目 (n=67)	19.4	22.4	79.1	-	4.5	7.5	6.0	3.0	-	13.4	4.5	1.5	
	4回目以上 (n=125)	16.8	16.8	68.8	6.4	6.4	2.4	5.6	0.8	-	15.2	7.2	4.0	

※ 全体より5%以上高い値

- ・旅行の際に重視した点については、「観光地・訪問スポット」が 79.5%で最も高く、次いで「日程」が 19.9%となっている。
- ・「観光地・訪問スポット」以外では、夏季調査は「日程」、秋季調査は「季節」がそれぞれ高い。
- ・居住地別では、すべてのエリアで「観光地・訪問スポット」の割合が最も高くなっている。
関東では「日程」、中部では「季節」、中国・四国では「日程」と「現地での食事」を重視する割合が全体より高くなっている。
- ・訪問回数別では、初めては「観光地・訪問スポット」を重視する割合が8割を超えており、訪問回数が増えるごとに減少傾向にある。2回目は「季節」や「現地での食事」を重視する割合が全体に比べて高くなっている。訪問回数により、「京都観光」で重視する点は異なっている。

(5) 旅行の際に重視した点 (単一回答)

【旅行で重視した点 (単数回答)】

(%)

		日程	季節	観光地・訪問スポット	現地で体験できること	宿泊施設	同行者	交通手段	旅行費用	施設の情報	現地での食事	その他	無回答
調査数 (n=552)		4.3	6.2	63.9	2.0	4.2	2.0	1.4	1.6	-	6.9	4.0	3.4
時期別	夏季調査 (7-9 月期) (n=275)	4.7	2.2	65.1	2.5	4.7	2.2	2.5	2.9	-	5.5	5.1	2.5
	秋季調査 (10-12 月期) (n=277)	4.0	10.1	62.8	1.4	3.6	1.8	0.4	0.4	-	8.3	2.9	4.3
居住地別	北海道・東北 (n=5)	-	20.0	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	関東 (n=60)	3.3	3.3	68.3	-	1.7	1.7	-	-	-	6.7	8.3	6.7
	中部 (n=61)	4.9	8.2	72.1	-	4.9	3.3	-	-	-	1.6	1.6	3.3
	関西 (京都府除く) (n=291)	4.8	5.2	61.5	1.4	5.8	1.7	2.4	2.7	-	8.9	3.4	2.1
	京都府 (n=93)	1.1	9.7	63.4	7.5	-	3.2	1.1	-	-	4.3	5.4	4.3
	中国・四国 (n=29)	13.8	6.9	62.1	-	3.4	-	-	-	-	6.9	-	6.9
九州・沖縄 (n=13)	-	-	61.5	-	7.7	-	-	7.7	-	7.7	7.7	7.7	
訪問回数別	初めて (n=251)	3.2	4.0	68.9	1.6	3.2	2.0	1.6	2.4	-	5.6	4.0	3.6
	2回目 (n=104)	4.8	6.7	63.5	1.0	6.7	1.9	2.9	1.9	-	5.8	1.9	2.9
	3回目 (n=67)	11.9	11.9	56.7	-	3.0	3.0	1.5	-	-	7.5	1.5	3.0
	4回目以上 (n=125)	2.4	7.2	56.8	4.8	4.8	1.6	-	0.8	-	10.4	7.2	4.0

※ 全体より5%以上高い値

- ・旅行の際に最も重視した点については、「観光地・訪問スポット」が63.9%で最も高く、次いで「現地での食事」が6.9%と続いているが、「観光地・訪問スポット」以外の選択肢は低い。
- ・調査時期別では、夏季調査と秋季調査で「観光地・訪問スポット」が最も高くなっている。
- ・居住地別では、京都府は「現地で体験できること」、中国・四国は「日程」が他に比べて高くなっている。
- ・訪問回数別では、「観光地・訪問スポット」を最重視しているが、3回目で「日程」や「季節」を重視している割合が1割を超えている。

(6) エリアへの主な交通手段（複数回答）

【エリアへの主な交通手段】

(%)

		新幹線	鉄道（新幹線以外）	高速バス	貸切・観光バス	路線バス	航空機	自家用車	レンタカー・シェア	バイク・自転車	その他	無回答
調査数 (n=552)		5.1	9.2	2.4	1.8	0.2	0.7	70.1	6.9	2.2	1.1	0.4
時 期 別	夏季調査（7-9 月期） (n=275)	5.5	12.0	2.5	1.1	0.4	0.4	67.3	8.0	2.2	0.7	-
	秋季調査（10-12 月期） (n=277)	4.7	6.5	2.2	2.5	-	1.1	72.9	5.8	2.2	1.4	0.7
居 住 地 別	北海道・東北 (n=5)	-	20.0	-	-	-	60.0	20.0	-	-	-	-
	関東 (n=60)	35.0	10.0	5.0	8.3	-	1.7	26.7	10.0	-	3.3	-
	中部 (n=61)	4.9	4.9	1.6	6.6	-	-	78.7	-	3.3	-	-
	関西（京都府除く） (n=291)	-	8.2	2.1	-	-	-	76.6	9.6	2.7	-	0.7
	京都府 (n=93)	-	15.1	2.2	-	1.1	-	74.2	1.1	2.2	4.3	-
	中国・四国 (n=29)	-	10.3	3.4	3.4	-	-	82.8	-	-	-	-
	九州・沖縄 (n=13)	30.8	-	-	-	-	-	46.2	23.1	-	-	-
訪 問 回 数 別	初めて (n=251)	8.4	10.4	3.6	2.8	-	1.2	60.2	10.4	2.4	0.4	0.4
	2回目 (n=104)	1.0	7.7	2.9	-	1.0	-	76.9	6.7	2.9	-	1.0
	3回目 (n=67)	4.5	4.5	-	3.0	-	-	85.1	3.0	-	-	-
	4回目以上 (n=125)	2.4	9.6	0.8	0.8	-	0.8	76.8	2.4	2.4	4.0	-

※ 全体より5%以上高い値

- ・エリアへの主な交通手段については、「自家用車」が70.1%と最も高く、次いで「鉄道（新幹線以外）」が9.2%となっている。
- ・調査時期別では、大きな差はみられなかった。
- ・居住地別では、中部と関西圏、中国・四国は「自家用車」が7割を超えている。関東と九州・沖縄は「新幹線」の割合が全体と比較して高くなっている。
- ・訪問回数別では、初めては「自家用車」の割合が全体と比較して低くなっているが、2回目以降は全体と比較して高くなっている。

(7) 訪問の際に活用した情報源（複数回答）

〔活用した情報源（複数回答）〕

(MA%)

		家族・友人	旅行会社	新聞・雑誌	テレビ	ラジオ	旅行ガイド・ロコミサイト	その他HP	Facebook
調査数 (n=552)		32.6	1.8	6.7	8.2	0.5	5.6	8.5	1.3
時 調 期 査	夏季調査 (7-9 月期) (n=275)	32.7	1.1	4.7	7.3	0.7	5.5	5.1	1.5
	秋季調査 (10-12 月期) (n=277)	32.5	2.5	8.7	9.0	0.4	5.8	11.9	1.1
訪 問 回 数 別	初めて (n=251)	34.7	2.4	7.2	8.4	0.8	6.0	7.6	1.6
	2回目 (n=104)	33.7	1.0	5.8	5.8	1.0	7.7	10.6	1.9
	3回目 (n=67)	34.3	3.0	7.5	11.9	-	7.5	9.0	-
	4回目以上 (n=125)	28.0	0.8	5.6	6.4	-	2.4	8.8	0.8
		Instagram	Twitter	YouTube	ポス パン フレ ット	京 都 の 観 光 ・ 物 産 展	そ の 他	以 前 か ら 知 っ て い た	無 回 答
調査数 (n=552)		12.3	2.2	2.5	1.1	0.5	5.3	26.3	2.4
時 調 期 査	夏季調査 (7-9 月期) (n=275)	12.0	2.2	3.3	0.4	0.4	8.7	28.7	0.7
	秋季調査 (10-12 月期) (n=277)	12.6	2.2	1.8	1.8	0.7	1.8	23.8	4.0
訪 問 回 数 別	初めて (n=251)	17.5	4.0	4.0	-	0.8	7.6	16.7	2.0
	2回目 (n=104)	12.5	-	1.0	-	1.0	5.8	22.1	2.9
	3回目 (n=67)	9.0	1.5	4.5	1.5	-	1.5	29.9	-
	4回目以上 (n=125)	4.0	0.8	-	4.0	-	2.4	46.4	4.0

※ 全体より5%以上高い値

- ・活用した情報手段は、「家族・友人」が32.6%と最も高く、次いで「よく来ている・以前から知っていた」が26.3%、「Instagram」が12.3%となっている。
- ・調査時期別では、季節により大きな差は見られない。
- ・訪問回数別では、初めては「Instagram」、4回目以上は「よく来ている・以前から知っていた」の割合が全体より高くなっている。

【活用した情報源（複数回答）】

(MA%)

		家族・友人	旅行会社	新聞・雑誌	テレビ	ラジオ	旅行ガイド・ロコミサイト	その他HP	Facebook
調査数 (n=552)		32.6	1.8	6.7	8.2	0.5	5.6	8.5	1.3
性別年代別	男性全体 (n=309)	29.8	1.9	8.4	9.1	0.3	6.5	7.4	1.6
	29歳以下 (n=88)	45.5	-	8.0	3.4	-	2.3	1.1	2.3
	30歳代 (n=47)	38.3	2.1	8.5	8.5	-	4.3	6.4	2.1
	40歳代 (n=44)	29.5	2.3	6.8	6.8	-	9.1	6.8	-
	50歳代 (n=51)	17.6	3.9	11.8	9.8	2.0	7.8	15.7	2.0
	60歳以上 (n=79)	15.2	2.5	7.6	16.5	-	10.1	10.1	1.3
	女性全体 (n=243)	36.2	1.6	4.5	7.0	0.8	4.5	9.9	0.8
	29歳以下 (n=62)	43.5	-	4.8	8.1	-	1.6	1.6	-
	30歳代 (n=28)	21.4	-	3.6	3.6	-	10.7	14.3	3.6
	40歳代 (n=44)	29.5	2.3	2.3	4.5	2.3	2.3	13.6	-
	50歳代 (n=63)	34.9	1.6	6.3	12.7	1.6	6.3	17.5	1.6
	60歳以上 (n=46)	43.5	4.3	4.3	2.2	-	4.3	4.3	-

		Instagram	Twitter	YouTube	ポスフレット	京都の観光・物産展	その他	よく来ている・以前から知っていた	無回答
調査数 (n=552)		12.3	2.2	2.5	1.1	0.5	5.3	26.3	2.4
性別年代別	男性全体 (n=309)	9.7	2.6	2.6	1.3	0.6	5.2	27.8	2.6
	29歳以下 (n=88)	26.1	5.7	1.1	-	1.1	1.1	19.3	-
	30歳代 (n=47)	6.4	6.4	4.3	-	2.1	2.1	17.0	8.5
	40歳代 (n=44)	2.3	-	4.5	4.5	-	6.8	29.5	2.3
	50歳代 (n=51)	2.0	-	2.0	2.0	-	11.8	33.3	-
	60歳以上 (n=79)	2.5	-	2.5	1.3	-	6.3	39.2	3.8
	女性全体 (n=243)	15.6	1.6	2.5	0.8	0.4	5.3	24.3	2.1
	29歳以下 (n=62)	37.1	3.2	1.6	-	-	4.8	17.7	-
	30歳代 (n=28)	10.7	7.1	7.1	-	-	10.7	21.4	3.6
	40歳代 (n=44)	13.6	-	2.3	2.3	-	6.8	20.5	2.3
	50歳代 (n=63)	7.9	-	3.2	-	1.6	1.6	28.6	1.6
	60歳以上 (n=46)	2.2	-	-	2.2	-	6.5	32.6	4.3

※ 全体より5%以上高い値

- ・性別による大きな差は見られない。
- ・年代別では、29歳以下は「家族・友人」や「Instagram」、男性50歳代は「新聞・雑誌」、「その他HP」、「よく来ている・以前から知っていた」、男性60歳代は「テレビ」や「よく来ている・以前から知っていた」、女性30歳代から50歳代は「その他HP」の割合が全体と比較して高い。

(8) 使用した支払い手段

【使用した支払い手段】

(MA%)

		クレジット カード	交通系 IC カード	電子 マネー	スマー トフ ォン 決 済	現金	その 他 の 手 段	無 回 答
調査数 (n=552)		22.8	5.1	3.8	13.9	75.0	0.5	6.5
時 調 期 査	夏季調査 (7-9 月期) (n=275)	18.5	5.5	5.1	10.2	84.0	1.1	3.3
	秋季調査 (10-12 月期) (n=277)	27.1	4.7	2.5	17.7	66.1	-	9.7
性 別 年 代 別	男性全体 (n=309)	23.3	5.5	3.6	12.6	75.4	-	7.4
	29歳以下 (n=88)	17.0	1.1	3.4	15.9	85.2	-	4.5
	30歳代 (n=47)	29.8	10.6	8.5	23.4	66.0	-	10.6
	40歳代 (n=44)	25.0	2.3	2.3	9.1	68.2	-	9.1
	50歳代 (n=51)	19.6	11.8	-	11.8	76.5	-	5.9
	60歳以上 (n=79)	27.8	5.1	3.8	5.1	73.4	-	8.9
	女性全体 (n=243)	22.2	4.5	4.1	15.6	74.5	1.2	5.3
	29歳以下 (n=62)	19.4	6.5	4.8	22.6	75.8	1.6	6.5
	30歳代 (n=28)	21.4	3.6	-	17.9	71.4	-	10.7
	40歳代 (n=44)	36.4	6.8	9.1	18.2	68.2	-	4.5
	50歳代 (n=63)	19.0	3.2	1.6	14.3	71.4	-	1.6
	60歳以上 (n=46)	17.4	2.2	4.3	4.3	84.8	4.3	6.5

※ 全体より5%以上高い値

- ・利用した支払い手段は、「現金」が75.0%で最も高く、次いで「クレジットカード」が22.8%、「スマートフォン決済」が13.9%と続いている。
- ・調査時期別では、夏季調査に比べて秋季調査では「クレジットカード」と「スマートフォン決済」の割合が増加した。
- ・性別による大きな差はない。
- ・年代別では、男性30歳代では「クレジットカード」、「交通系ICカード」、「スマートフォン決済」、男性50歳代では「交通系ICカード」、男性60歳代では「クレジットカード」、女性29歳以下では「スマートフォン決済」、女性40歳代では「クレジットカード」と「電子マネー」の利用割合が全体に比べて高い。全ての年齢層で、スマートフォン決済は一定数利用されており、今後も普及すると考えられる。

(9) 利用できなかった支払い手段

【使用できなかった支払い手段】

		(MA%)					
		クレジット カード	交通系 IC カード	電子 マネー	スマー トフ オン 決済	現金	その 他の 手段
調査数 (n=47)		38.3	31.9	17.0	0.3	-	0.1
時 期 調 査	夏季調査 (7-9 月期) (n=35)	34.3	31.4	20.0	0.4	-	0.1
	秋季調査 (10-12 月期) (n=12)	50.0	33.3	8.3	0.0	-	0.2
性 別 年 代 別	男性全体 (n=25)	48.0	36.0	28.0	0.2	-	0.0
	29歳以下 (n=14)	57.1	28.6	28.6	0.3	-	0.0
	30歳代 (n=5)	20.0	20.0	40.0	0.2	-	0.0
	40歳代 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	-	0.0
	50歳代 (n=2)	100.0	50.0	50.0	0.5	-	0.0
	60歳以上 (n=3)	33.3	66.7	0.0	0.0	-	0.0
	女性全体 (n=22)	27.3	27.3	4.5	0.4	-	0.2
	29歳以下 (n=13)	30.8	15.4	0.0	0.4	-	0.2
	30歳代 (n=2)	0.0	50.0	0.0	0.5	-	0.0
	40歳代 (n=3)	66.7	33.3	33.3	0.3	-	0.3
	50歳代 (n=4)	0.0	50.0	0.0	0.3	-	0.3
	60歳以上 (n=-)	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0

※ 全体より5%以上高い値

- ・利用できなかった支払い手段は、「クレジットカード」が38.3%で最も高く、次いで「交通系 IC カード」が31.9%となっている。
- ・夏季調査、秋季調査ともに「クレジットカード」が高い。
- ・性別では、男性は「クレジットカード」が48.0%、「電子マネー」が28.0%と全体と比較して高い。
- ・年代別では、上記の結果となった。(集計時のサンプルが少ないため参考程度となる)

(10) 利用できなかった場面（施設）

【利用できなかった施設等】

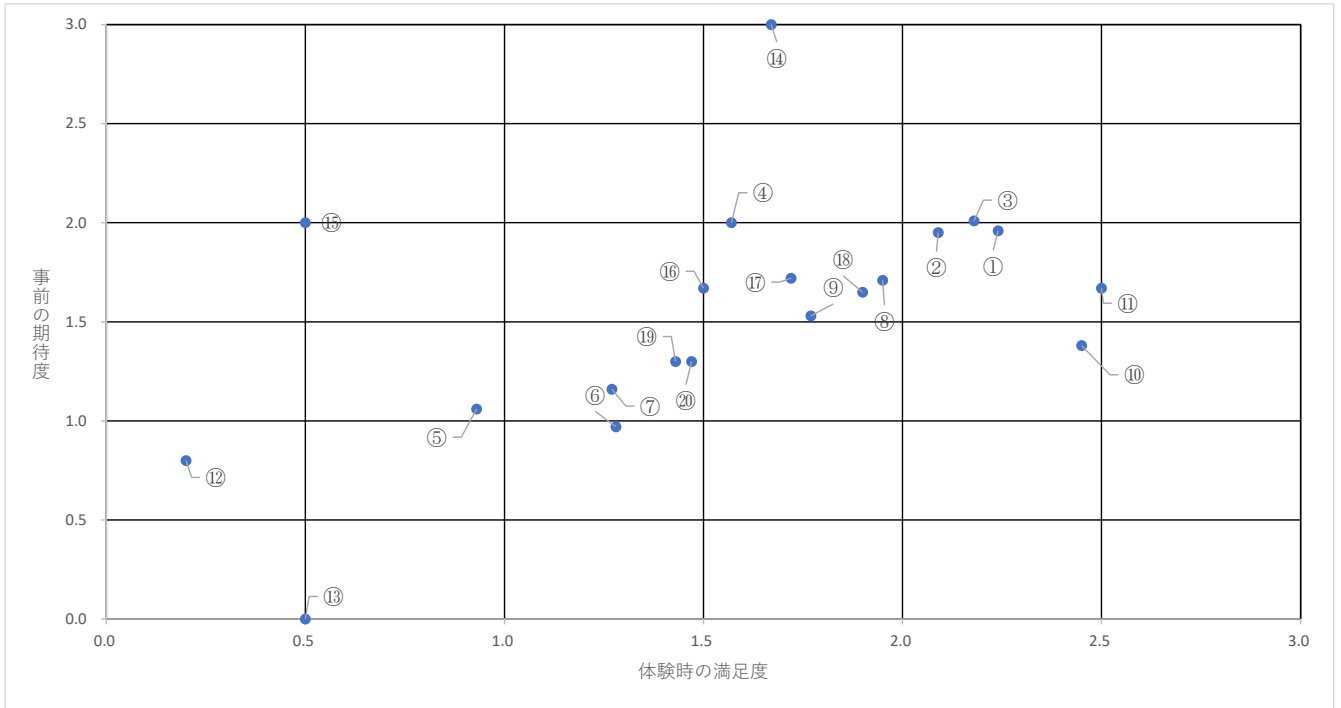
(MA%)

		観光施設	宿泊施設	飲食	お土産購入	交通手段	体験型プログラム・ツアー等参加	その他	無回答
調査数 (n=47)		10.6	2.1	48.9	8.5	19.1	-	4.3	12.8
時 調 期 査	夏季調査 (7-9 月期) (n=35)	11.4	2.9	48.6	5.7	17.1	-	2.9	14.3
	秋季調査 (10-12 月期) (n=12)	8.3	-	50.0	16.7	25.0	-	8.3	8.3
性 別 年 代 別	男性全体 (n=25)	4.0	4.0	60.0	8.0	16.0	-	4.0	8.0
	29歳以下 (n=14)	7.1	7.1	64.3	-	7.1	-	-	14.3
	30歳代 (n=5)	-	-	80.0	-	-	-	20.0	-
	40歳代 (n=1)	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	50歳代 (n=2)	-	-	100.0	50.0	-	-	-	-
	60歳以上 (n=3)	-	-	-	33.3	66.7	-	-	-
	女性全体 (n=22)	18.2	-	36.4	9.1	22.7	-	4.5	18.2
	29歳以下 (n=13)	15.4	-	46.2	15.4	15.4	-	-	15.4
	30歳代 (n=2)	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-
	40歳代 (n=3)	33.3	-	-	-	-	-	-	66.7
	50歳代 (n=4)	25.0	-	25.0	-	50.0	-	25.0	-
	60歳以上 (n=-)	-	-	-	-	-	-	-	-

※ 全体より5%以上高い値

- ・利用できなかった施設は、「飲食」が 48.9%で最も高く、次いで「交通手段」が 19.1%、「観光施設」が 10.6%と続いている。
- ・秋季調査では、「お土産購入」と「交通手段」が全体に比べて高い。
- ・性別では、男性は「飲食」が 60.0%、女性は「観光施設」が 18.2%と全体と比較して高い。
- ・年代別では、上記の結果となった。(集計時のサンプルが少ないため参考程度となる)

(11) コンテンツ／観光資源に対する事前期待度・体験時の満足度の平均点



- | | | |
|----------------|-------------------|---------------------|
| ① 自然景観 | ⑧ 日本食等の飲食 | ⑮ 夜観光（花火・イルミネーション等） |
| ② 寺院・神社、名所・旧跡 | ⑨ （上記8以外の）食事・飲食 | ⑯ 温泉、入浴施設 |
| ③ 町家・街並み等の郷土景観 | ⑩ アウトドア（山・海・川） | ⑰ 宿泊施設 |
| ④ 郷土芸能・伝統工芸 | ⑪ 体験型プログラムやガイドツアー | ⑱ 乗り物 |
| ⑤ 博物館・美術館・資料館 | ⑫ スポーツ | ⑲ 移動（観光地までのアクセス等） |
| ⑥ 買物 | ⑬ マンガ・アニメの聖地巡礼 | ⑳ 観光情報 |
| ⑦ 地域ならではのお土産 | ⑭ 祭り、イベント | |

・コンテンツ／観光資源に対する事前の期待度と体験時の満足度については、上記の結果となった。

事前の期待度の平均点より体験時の満足度の平均点が高いものが見られた。

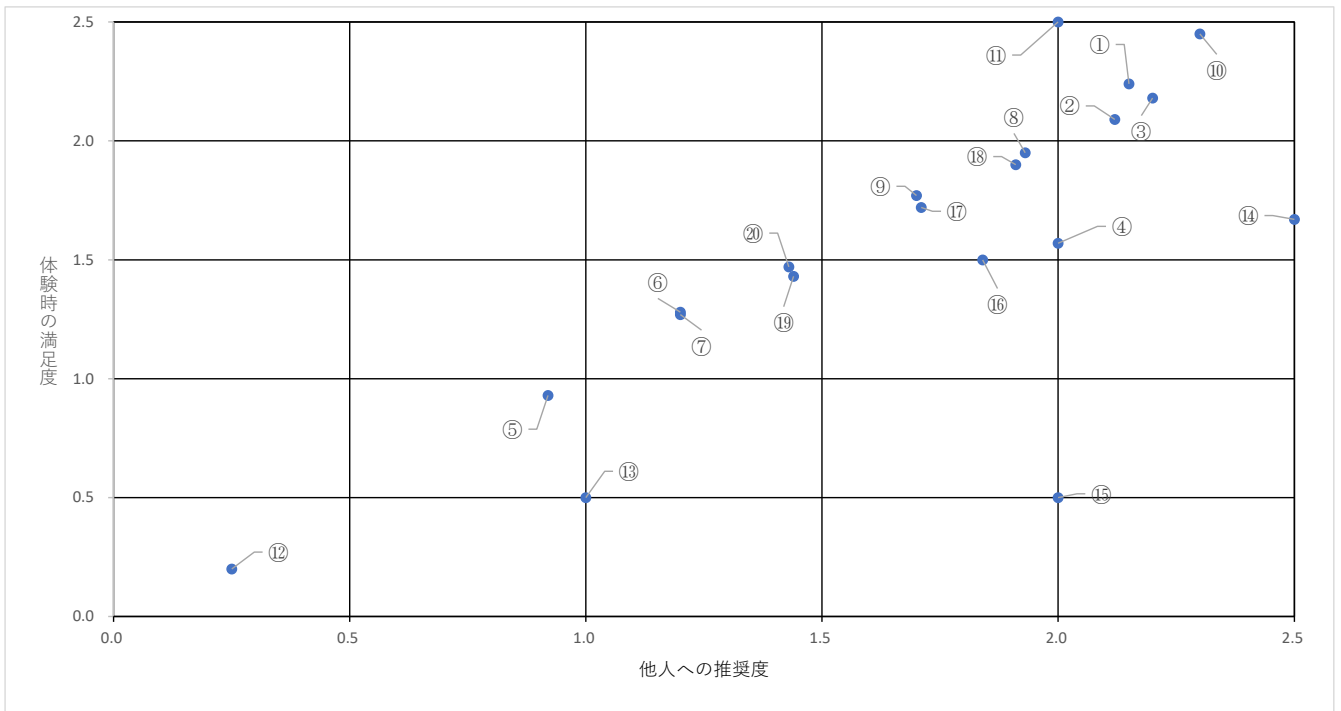
体験時の満足度が事前の期待度を上回る項目は下記の通り

①自然景観、②寺院・神社、名所・旧跡、③町家・街並み等の郷土景観、⑥買物、⑦地域ならではのお土産、⑧日本食等の飲食、⑨（8以外の）食事・飲食、⑩アウトドア（山・海・川）、⑪体験型プログラムやガイドツアー、⑬マンガ・アニメの聖地巡礼、⑰宿泊施設、⑱乗り物、⑲移動（観光地までのアクセス等）、⑳観光情報

体験時の満足度が事前の期待度を下回る項目は下記の通り

④郷土芸能・伝統工芸、⑤博物館・美術館・資料館、⑫スポーツ、⑭祭り、イベント、⑮夜観光（花火・イルミネーション等）、⑯温泉、入浴施設

(12) コンテンツ/観光資源に対する体験時の満足度・他人への推奨度の平均点



- | | | |
|----------------|-------------------|---------------------|
| ① 自然景観 | ⑧ 日本食等の飲食 | ⑮ 夜観光（花火・イルミネーション等） |
| ② 寺院・神社、名所・旧跡 | ⑨ （上記8以外の）食事・飲食 | ⑯ 温泉、入浴施設 |
| ③ 町家・街並み等の郷土景観 | ⑩ アウトドア（山・海・川） | ⑰ 宿泊施設 |
| ④ 郷土芸能・伝統工芸 | ⑪ 体験型プログラムやガイドツアー | ⑱ 乗り物 |
| ⑤ 博物館・美術館・資料館 | ⑫ スポーツ | ⑲ 移動（観光地までのアクセス等） |
| ⑥ 買物 | ⑬ マンガ・アニメの聖地巡礼 | ⑳ 観光情報 |
| ⑦ 地域ならではのお土産 | ⑭ 祭り、イベント | |

・コンテンツ/観光資源に対する体験時の満足度と他人への推奨度については、上記の結果となった。

体験時の満足度より他人への推奨度が高かった項目は下記の通り

②寺院・神社、名所・旧跡、③町家・街並み等の郷土景観、④郷土芸能・伝統工芸、⑫スポーツ、⑬マンガ・アニメの聖地巡礼、⑭祭り、イベント、⑮夜観光（花火・イルミネーション等）、⑯温泉、入浴施設
⑱乗り物、⑲移動（観光地までのアクセス等）、

体験時の満足度より他人への推奨度が低かった項目は下記の通り

①自然景観、⑤博物館・美術館・資料館、⑥買物、⑦地域ならではのお土産、⑧日本食等の飲食、⑨（8以外の）食事・飲食、⑩アウトドア（山・海・川）、⑪体験型プログラムやガイドツアー、⑰宿泊施設、
⑳観光情報

(13) 地元の方との交流について

【地元の方との交流】

(MA%)

		地元の方との交流した	飲食店の店員・スタッフと交流した	飲食店で地元の人と交流した	祭りや地元行事に参加した	観光案内所で交流した	道を尋ねた	交流はなかった	その他	無回答
調査数 (n=552)		1.4	15.2	3.6	0.4	4.0	1.3	63.8	2.7	12.1
時 調 期 査	夏季調査 (7-9 月期) (n=275)	2.2	17.1	4.4	0.4	5.1	1.5	63.3	3.6	8.0
	秋季調査 (10-12 月期) (n=277)	0.7	13.4	2.9	0.4	2.9	1.1	64.3	1.8	16.2
居 住 地 別	北海道・東北 (n=5)	-	40.0	20.0	-	-	20.0	20.0	-	20.0
	関東 (n=60)	5.0	16.7	5.0	-	6.7	3.3	53.3	8.3	11.7
	中部 (n=61)	1.6	19.7	3.3	-	3.3	-	63.9	1.6	11.5
	関西 (京都府除く) (n=291)	1.0	13.7	2.7	0.3	2.7	1.4	66.0	2.4	12.0
	京都府 (n=93)	1.1	14.0	3.2	1.1	7.5	-	65.6	2.2	11.8
	中国・四国 (n=29)	-	20.7	10.3	-	-	-	65.5	-	10.3
	九州・沖縄 (n=13)	-	7.7	-	-	-	7.7	-	61.5	-
訪 問 回 数 別	初めて (n=251)	2.0	18.3	5.6	0.4	4.4	1.6	61.8	3.2	10.4
	2回目 (n=104)	-	6.7	2.9	-	3.8	1.0	64.4	2.9	20.2
	3回目 (n=67)	1.5	10.4	-	-	9.0	-	68.7	-	10.4
	4回目以上 (n=125)	1.6	17.6	2.4	0.8	0.8	1.6	64.8	3.2	10.4

※ 全体より5%以上高い値

- ・ 地元の方との交流については、「交流はなかった」が6割以上を占めており、何らかの交流をした方は約1/4となっている。
交流した方は、「飲食店の店員・スタッフと交流した」が15.2%で最も高く、それ以外の交流については1割を下回っている。
- ・ 調査時期やエリアによる大きな差は見られなかった。
- ・ 居住地別では、関東において交流をした方が35.0%となっており、他の居住地に比べてやや高くなっている。各居住地とも「飲食店の店員・スタッフと交流した」の割合が高くなっている。中国・四国は、「飲食店で地元の人と交流した」の割合が1割を超えている。
- ・ 訪問回数別では、2回目において「交流した」の割合が15.4%となっており、他の訪問回数よりやや低くなっている。

(14) エリアへの再訪問意向

【エリアの再訪問意向】

(%)

		全く思わない	思わない	やや思わない	どちらでもない	やや思う	思う	大変思う	無回答
調査数 (n=552)		-	-	1.1	4.0	13.8	44.7	30.6	5.8
時 調 期 査	夏季調査 (7-9 月期) (n=275)	-	-	1.8	4.7	14.9	41.5	34.2	2.9
	秋季調査 (10-12 月期) (n=277)	-	-	0.4	3.2	12.6	48.0	27.1	8.7
居 住 地 別	北海道・東北 (n=5)	-	-	-	-	-	40.0	60.0	-
	関東 (n=60)	-	-	-	6.7	11.7	41.7	33.3	6.7
	中部 (n=61)	-	-	-	6.6	16.4	47.5	27.9	1.6
	関西 (京都府除く) (n=291)	-	-	1.0	2.4	13.4	45.4	33.0	4.8
	京都府 (n=93)	-	-	-	5.4	10.8	48.4	26.9	8.6
	中国・四国 (n=29)	-	-	6.9	3.4	24.1	41.4	13.8	10.3
	九州・沖縄 (n=13)	-	-	7.7	7.7	23.1	15.4	30.8	15.4
訪 問 回 数 別	初めて (n=251)	-	-	1.6	4.0	16.7	41.0	32.3	4.4
	2回目 (n=104)	-	-	-	4.8	11.5	47.1	26.9	9.6
	3回目 (n=67)	-	-	-	4.5	17.9	47.8	26.9	3.0
	4回目以上 (n=125)	-	-	0.8	3.2	7.2	50.4	31.2	7.2

※ 全体より5%以上高い値

- ・エリアへの再訪問意向は、「肯定的回答（「やや思う」と「思う」、「大変思う」を合わせた回答）」が約9割を占めており、再訪問意向は高い。
- ・調査時期別では、「肯定的回答」に夏季調査と秋季調査で大きな差は見られなかった。
- ・居住地別では、関西以西より関西以东の方が再訪問意向は高い。
- ・エリアへの訪問回数別では、全てにおいて「肯定的回答」が8割以上を占めており、高い結果となった。

(15) エリアへの他人への推奨度

【他人への推奨度】

(%)

		全く 思わない	思 わ ない	や や 思 わ ない	ど ち ら で も な い	や や 思 う	思 う	大 変 思 う	無 回 答
調査数 (n=552)		0.2	-	0.7	5.8	14.9	42.0	30.8	5.6
時 調 期 査	夏季調査 (7-9 月期) (n=275)	-	-	1.5	4.4	17.5	38.5	34.2	4.0
	秋季調査 (10-12 月期) (n=277)	0.4	-	-	7.2	12.3	45.5	27.4	7.2

居 住 地 別	北海道・東北 (n=5)	-	-	-	-	-	40.0	60.0	-
	関東 (n=60)	1.7	-	-	8.3	16.7	38.3	28.3	6.7
	中部 (n=61)	-	-	-	4.9	13.1	47.5	29.5	4.9
	関西 (京都府除く) (n=291)	-	-	1.0	3.4	12.7	44.7	32.6	5.5
	京都府 (n=93)	-	-	-	11.8	16.1	39.8	29.0	3.2
	中国・四国 (n=29)	-	-	3.4	6.9	27.6	34.5	17.2	10.3
	九州・沖縄 (n=13)	-	-	-	7.7	30.8	7.7	38.5	15.4

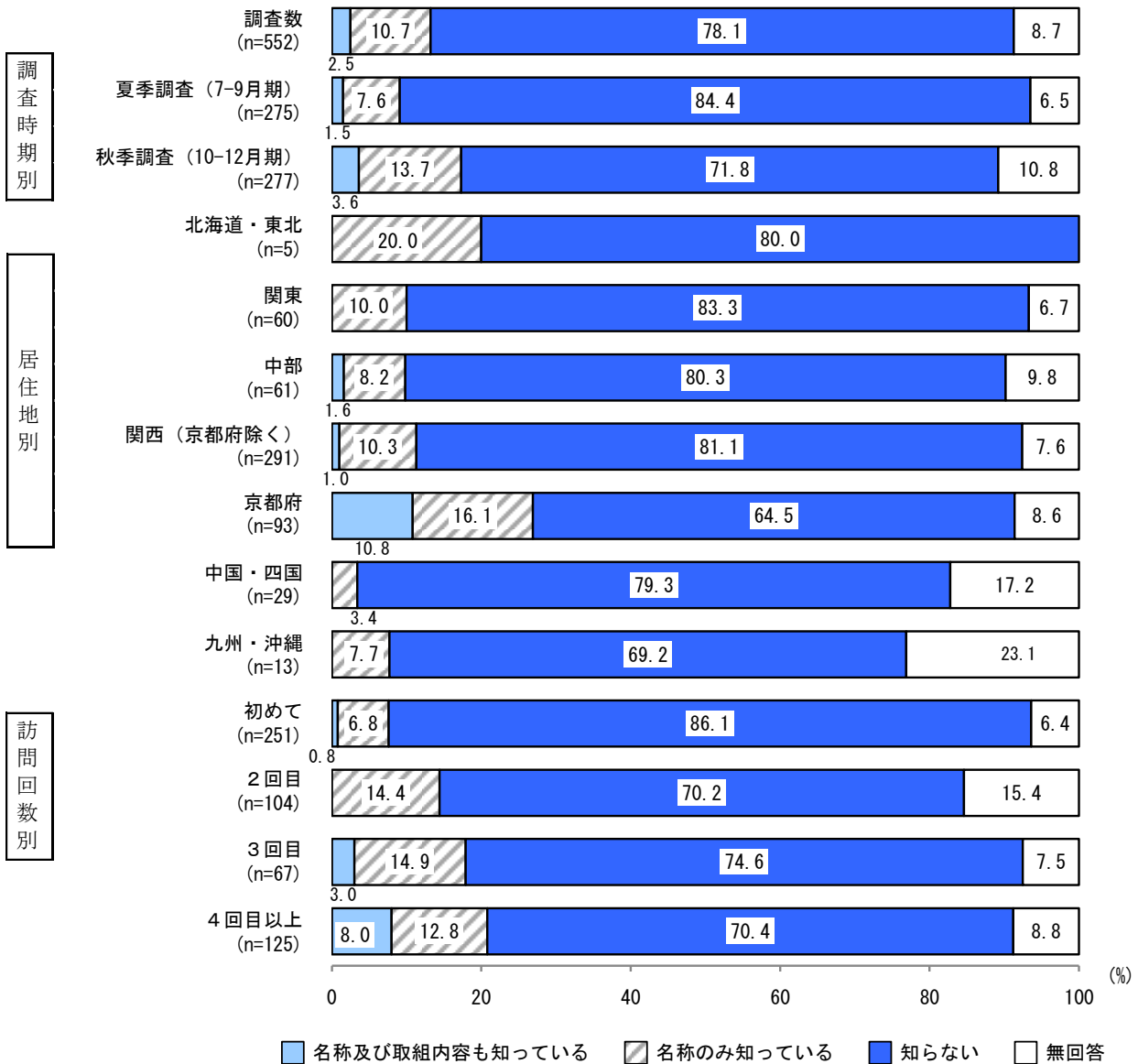
訪 問 回 数 別	初めて (n=251)	-	-	0.8	4.0	18.7	38.2	33.1	5.2
	2回目 (n=104)	-	-	-	5.8	10.6	46.2	26.0	11.5
	3回目 (n=67)	1.5	-	1.5	6.0	19.4	43.3	25.4	3.0
	4回目以上 (n=125)	-	-	0.8	9.6	7.2	47.2	32.0	3.2

※ 全体より5%以上高い値

- ・他人への推奨度は、再訪問意向と同様に「肯定的回答」が約9割となっており、高い結果となった。
- ・調査時期による推奨度に大きな差は見られなかったが、「大変思う」の割合が、夏季調査に比べて秋季調査では低い。再訪問意向と同様に、季節により何らかの原因による推奨度の変化があり、今後も同様の傾向が続くようであれば原因を突き止める必要性もある。
- ・居住地別では、全ての居住地において推奨度は高いが、関西以西ではやや低くなっている。
- ・エリアへの訪問回数別では、全てにおいて「肯定的回答」が8割以上を占めており、高い推奨度となっている。

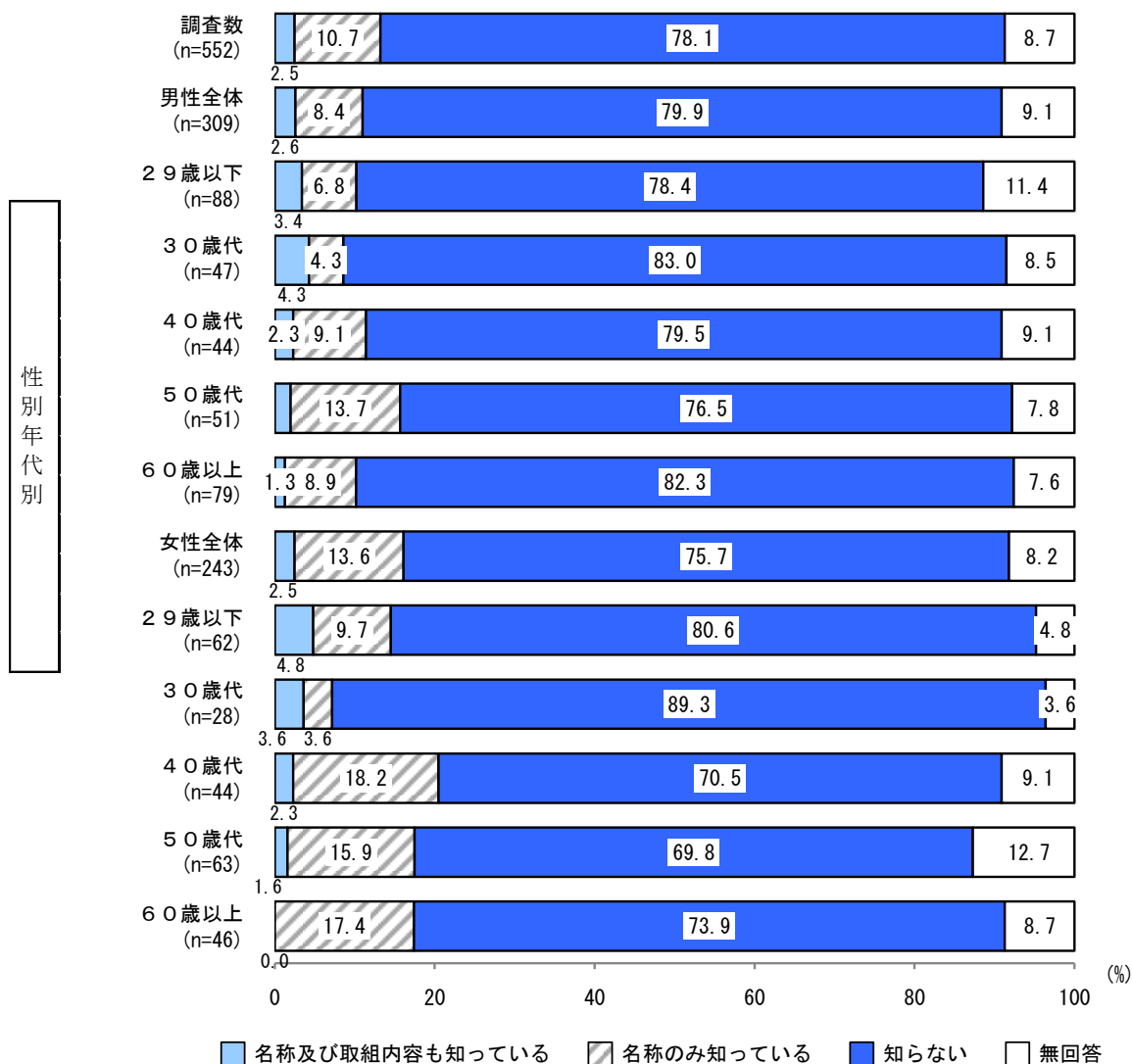
(16) 「もうひとつの京都」プロジェクトの認知度

【「もうひとつの京都」プロジェクト認知度】



- ・『もうひとつの京都』プロジェクトについて、「知らない」が78.1%となっており、認知度は低くなっている。
- ・調査時期別では、夏季調査は「知らない」が84.4%と全体と比較して高くなっている。
- ・居住地別では、京都府は「名称及び取組内容も知っている」と「名称のみ知っている」を合わせた割合が26.9%と他の地域より高くなっている。
- ・訪問回数別では、訪問回数が増えるほど、「名称及び取組内容も知っている」と「名称のみ知っている」を合わせた割合が高くなる傾向がある。

【「もうひとつの京都」プロジェクト認知度】



- ・性別では、女性に比べて男性の方が「知らない」割合がやや高くなっている。
- ・年代別では、女性40歳以上は「名称のみ知っている」の割合が15%を超えており、全体と比較して高くなっている。

(17) 調査地点の認知度

【調査地点の認知度】

(%)

		全く知らない	知らない	あまり知らない	どちらもない	少し知っている	知っている	よく知っている	無回答
調査数 (n=552)		4.5	2.7	12.9	-	21.4	28.6	22.6	7.2
時 調 期 査	夏季調査 (7-9 月期) (n=275)	7.3	3.6	14.2	-	21.8	32.0	16.0	5.1
	秋季調査 (10-12 月期) (n=277)	1.8	1.8	11.6	-	20.9	25.3	29.2	9.4
居 住 地 別	北海道・東北 (n=5)	-	-	20.0	-	-	20.0	60.0	-
	関東 (n=60)	6.7	1.7	10.0	-	26.7	26.7	18.3	10.0
	中部 (n=61)	4.9	6.6	8.2	-	16.4	34.4	21.3	8.2
	関西 (京都府除く) (n=291)	4.5	2.7	11.7	-	21.3	30.6	22.0	7.2
	京都府 (n=93)	4.3	1.1	15.1	-	18.3	25.8	32.3	3.2
	中国・四国 (n=29)	3.4	3.4	20.7	-	34.5	24.1	3.4	10.3
	九州・沖縄 (n=13)	-	-	38.5	-	23.1	-	23.1	15.4
訪 問 回 数 別	初めて (n=251)	8.4	4.8	15.9	-	24.7	25.1	14.7	6.4
	2回目 (n=104)	1.0	1.0	9.6	-	23.1	37.5	15.4	12.5
	3回目 (n=67)	4.5	3.0	13.4	-	25.4	25.4	20.9	7.5
	4回目以上 (n=125)	-	-	8.8	-	10.4	30.4	45.6	4.8

※ 全体より5%以上高い値

- ・調査地点の認知度は、「肯定的回答（「少し知っている」と「知っている」、「よく知っている」を合わせた回答）」が7割以上となっており、調査場所のことを知らずに来た方は約2割となっている。
- ・調査時期別では、秋季調査は「よく知っている」の割合が高い。
- ・居住地別では、地元の京都府在住の方は「よく知っている」と回答している割合が他の居住地の方に比べて高く、中国・四国では「あまり知らない」が2割を超えており、全体より高い。
「否定的回答（「あまり知らない」と「知らない」、「全く知らない」を合わせた回答）」は約2割となっており、特に中国・四国では1/4以上が調査地点について、「否定的回答」をしている。
結果として、あまり知らないと回答している観光地点へ訪れており、知っている（有名な）観光地だけを訪れているわけではない。
- ・エリアへの訪問回数別では、初めては「否定的回答」が約3割となっているが、訪問回数が増える毎に認知度は上がっている。

(18) 訪問前の関心度

【調査地点の関心度】

(%)

		大変低い	低い	やや低い	どちらでもない	やや高い	高い	大変高い	無回答
調査数 (n=552)		0.5	0.7	2.0	11.2	24.5	37.0	16.8	7.2
時 調 期 査	夏季調査 (7-9 月期) (n=275)	0.7	1.5	1.8	12.7	25.8	36.4	15.6	5.5
	秋季調査 (10-12 月期) (n=277)	0.4	-	2.2	9.7	23.1	37.5	18.1	9.0
居 住 地 別	北海道・東北 (n=5)	-	-	-	-	20.0	40.0	40.0	-
	関東 (n=60)	-	1.7	-	6.7	26.7	40.0	13.3	11.7
	中部 (n=61)	-	-	-	3.3	21.3	52.5	14.8	8.2
	関西 (京都府除く) (n=291)	1.0	0.3	2.4	11.3	25.8	35.4	17.2	6.5
	京都府 (n=93)	-	1.1	-	19.4	24.7	29.0	21.5	4.3
	中国・四国 (n=29)	-	3.4	3.4	13.8	20.7	44.8	3.4	10.3
	九州・沖縄 (n=13)	-	-	23.1	7.7	7.7	23.1	23.1	15.4
訪 問 回 数 別	初めて (n=251)	0.8	1.2	2.0	11.6	23.9	38.2	15.5	6.8
	2回目 (n=104)	1.0	-	1.9	7.7	26.9	36.5	12.5	13.5
	3回目 (n=67)	-	1.5	3.0	9.0	31.3	32.8	16.4	6.0
	4回目以上 (n=125)	-	-	1.6	14.4	20.0	36.8	23.2	4.0

※ 全体より5%以上高い値

- ・観光地点訪問前の関心度は、「肯定的回答（「やや高い」と「高い」、「大変高い」を合わせた回答）」が78.3%となっており、全体を通して高い結果となった。一方、残りの2割の方は訪問前にあまり関心はななく訪れている。全ての方が関心を持って訪れているわけではない。
- ・調査時期別では、関心度に大きな差は見られない。
- ・居住地別では、関西以西は「肯定的回答」が7割をやや下回ったが、中部以东は8割を超えている。
- ・訪問回数別では、関心度に大きな差は見られなかった。

(19) 訪問時の満足度

【調査地点の満足度】

(%)

		大変低い	低い	やや低い	どちらでもない	やや高い	高い	大変高い	無回答
調査数 (n=552)		0.2	-	0.4	6.9	18.5	42.9	23.4	7.8
時 調 期 査	夏季調査 (7-9 月期) (n=275)	0.4	-	0.4	7.6	19.6	42.5	23.3	6.2
	秋季調査 (10-12 月期) (n=277)	-	-	0.4	6.1	17.3	43.3	23.5	9.4
居 住 地 別	北海道・東北 (n=5)	-	-	-	-	20.0	40.0	40.0	-
	関東 (n=60)	-	-	1.7	5.0	18.3	33.3	30.0	11.7
	中部 (n=61)	-	-	-	3.3	13.1	52.5	23.0	8.2
	関西 (京都府除く) (n=291)	0.3	-	-	5.5	19.6	44.7	22.7	7.2
	京都府 (n=93)	-	-	-	14.0	18.3	37.6	24.7	5.4
	中国・四国 (n=29)	-	-	-	6.9	24.1	48.3	10.3	10.3
	九州・沖縄 (n=13)	-	-	7.7	15.4	7.7	30.8	23.1	15.4
訪 問 回 数 別	初めて (n=251)	0.4	-	0.4	5.6	18.3	43.8	24.3	7.2
	2回目 (n=104)	-	-	1.0	6.7	18.3	38.5	22.1	13.5
	3回目 (n=67)	-	-	-	3.0	23.9	44.8	22.4	6.0
	4回目以上 (n=125)	-	-	-	12.0	16.0	43.2	23.2	5.6

※ 全体より5%以上高い値

- ・訪問時の満足度については、8割以上の方が「満足（「やや高い」と「高い」、「大変高い」を合わせた回答）」をしている。「どちらでもない以下」を回答している割合は、1割未満となっている。
- ・調査時期別では、満足度は大きな差は見られない。
- ・居住地別では、全ての居住地において「満足」が8割以上となっており、居住地による満足度の違いは見られない。一方、地元の京都府では「どちらでもない」の回答が1割を超えており、やや高い。
- ・エリアへの訪問回数別では、2回目を除いた回数で「肯定的回答」が約8割を超えている。一方、4回目以上は「どちらでもない」が12.0%と1割を超えている。

(20) 総合満足度

[総合満足度]

(%)

		調査数	大変不満	不満	やや不満	どちらでもない	やや満足	満足	大変満足	無回答
		(n=552)	-	-	-	2.5	16.1	50.2	25.0	6.2
時 調 期 査	夏季調査 (7-9 月期)	(n=275)	-	-	-	2.9	17.5	48.4	27.3	4.0
	秋季調査 (10-12 月期)	(n=277)	-	-	-	2.2	14.8	52.0	22.7	8.3
居 住 地 別	北海道・東北	(n=5)	-	-	-	-	-	60.0	40.0	-
	関東	(n=60)	-	-	-	-	25.0	43.3	23.3	8.3
	中部	(n=61)	-	-	-	-	13.1	59.0	23.0	4.9
	関西 (京都府除く)	(n=291)	-	-	-	2.1	14.1	51.2	27.1	5.5
	京都府	(n=93)	-	-	-	5.4	16.1	48.4	24.7	5.4
	中国・四国	(n=29)	-	-	-	6.9	31.0	37.9	13.8	10.3
	九州・沖縄	(n=13)	-	-	-	7.7	7.7	53.8	15.4	15.4
訪 問 回 数 別	初めて	(n=251)	-	-	-	2.0	15.1	51.0	25.9	6.0
	2回目	(n=104)	-	-	-	2.9	14.4	49.0	23.1	10.6
	3回目	(n=67)	-	-	-	-	23.9	50.7	22.4	3.0
	4回目以上	(n=125)	-	-	-	4.8	13.6	49.6	27.2	4.8

※ 全体より5%以上高い値

- ・総合的な満足度は、9割以上の方が「肯定的回答（「やや満足」と「満足」、「大変満足」を合わせた回答）」をしており、高い満足度となった。
- ・調査時期別では、満足度に大きな差は見られなかったが、秋季調査では89.5%と夏季調査に比べて「肯定的回答」が若干減少した。
- ・居住地では、北海道・東北から中国・四国まで「肯定的回答」が8割以上となっており、関西以东では9割を超えている。総じて満足度の高い結果となった。
- ・エリアへの訪問回数別では、2回目を除き「肯定的回答」が9割以上となっており、高い満足度となっている。

(2 1) 興味のある滞在や居住形態

[滞在や居住形態]

(MA%)

		ワーケーション	地域とのかかわり	二地域居住	お試し暮らし	移住	特になし	無回答
調査数 (n=552)		14.5	9.4	9.8	11.6	5.4	58.0	11.1
時 調 期 査	夏季調査 (7-9 月期) (n=275)	18.5	10.2	13.8	14.9	5.5	55.3	6.5
	秋季調査 (10-12 月期) (n=277)	10.5	8.7	5.8	8.3	5.4	60.6	15.5
居 住 地 別	北海道・東北 (n=5)	20.0	-	20.0	20.0	-	80.0	-
	関東 (n=60)	18.3	10.0	8.3	8.3	5.0	58.3	13.3
	中部 (n=61)	6.6	4.9	3.3	13.1	1.6	67.2	9.8
	関西 (京都府除く) (n=291)	14.1	8.9	8.9	12.0	5.2	59.5	8.9
	京都府 (n=93)	17.2	15.1	16.1	12.9	9.7	45.2	15.1
	中国・四国 (n=29)	13.8	6.9	13.8	10.3	-	62.1	13.8
	九州・沖縄 (n=13)	23.1	7.7	7.7	-	15.4	53.8	23.1
訪 問 回 数 別	初めて (n=251)	18.3	10.0	12.4	13.9	6.8	58.2	7.6
	2回目 (n=104)	13.5	8.7	7.7	9.6	3.8	52.9	20.2
	3回目 (n=67)	16.4	11.9	7.5	14.9	1.5	52.2	14.9
	4回目以上 (n=125)	7.2	8.0	8.0	6.4	4.8	65.6	8.8

※ 全体より5%以上高い値

- 興味のある滞在や居住形態は、約6割の方が「特になし（興味がない）」と回答しているが、約3割の方は何らかの興味を持っている。
興味のあるものとして、「ワーケーション」が14.5%で最も高く、次いで、「お試し暮らし」が11.6%となっている。
- 調査時期による変動が見られ、夏季調査では「移住」以外の項目で興味があるが1割を超えており、何かしらに興味がある方が38.2%となっており、「特になし」が6割を下回った。秋季調査では、「ワーケーション」のみが1割を超えており、何かしらに興味がある方が23.9%、「特になし」が6割となっている。
- 居住地別では、何かしらに興味がある方は京都府が39.7%、関西（京都府除く）が31.6%と3割を超えており、その他の地域では23~28%となっている。京都府は「地域とのかかわり」（15.1%）や「二地域居住」（16.1%）が全体と比較して高くなっている。

【滞在や居住形態】

(MA%)

		ワーケーション	地域とのかかわり	二地域居住	お試し暮らし	移住	特になし	無回答
調査数 (n=552)		14.5	9.4	9.8	11.6	5.4	58.0	11.1
性別年代別	男性全体 (n=309)	15.5	9.4	10.0	10.0	5.2	58.9	10.4
	29歳以下 (n=88)	19.3	14.8	15.9	10.2	2.3	48.9	11.4
	30歳代 (n=47)	19.1	2.1	8.5	6.4	10.6	55.3	12.8
	40歳代 (n=44)	22.7	9.1	9.1	13.6	9.1	54.5	9.1
	50歳代 (n=51)	13.7	9.8	9.8	15.7	5.9	62.7	2.0
	60歳以上 (n=79)	6.3	7.6	5.1	6.3	2.5	72.2	13.9
	女性全体 (n=243)	13.2	9.5	9.5	13.6	5.8	56.8	11.9
	29歳以下 (n=62)	27.4	14.5	11.3	19.4	9.7	40.3	11.3
	30歳代 (n=28)	3.6	7.1	10.7	14.3	3.6	64.3	3.6
	40歳代 (n=44)	13.6	15.9	18.2	20.5	4.5	43.2	20.5
	50歳代 (n=63)	9.5	6.3	6.3	9.5	7.9	66.7	9.5
	60歳以上 (n=46)	4.3	2.2	2.2	4.3	-	73.9	13.0

※ 全体より5%以上高い値

- ・性別では、男女による大きな差は見られない。
- ・年代別では、男性は年代が上がるほど、「特になし」の割合が上がる傾向が見られた。
 男性40歳代と女性29歳以下は「ワーケーション」に興味を持っている方が2割以上となっている。
 男性29歳以下は「地域とのかかわり」や「二地域居住」、男性30歳代は「移住」、女性29歳以下は「ワーケーション」の他に「地域とのかかわり」や「お試し暮らし」、女性40歳代は「地域とのかかわり」、「二地域居住」、「お試し暮らし」に興味を持っている方が全体より多く見られた。
 性別年代により、興味を持っている内容が異なるため、ターゲットは慎重に選ぶ必要がある。

(22) 検討候補に入る滞在や居住形態

【エリアが候補になる滞在や居住形態】

(MA%)

		ワーケーション	地域とのかかわり	二地域居住	お試し暮らし	移住	特になし	無回答
調査数 (n=552)		8.7	4.2	5.6	7.6	3.4	64.5	14.3
時 調 期 査	夏季調査 (7-9 月期) (n=275)	10.9	4.4	6.9	11.3	4.4	66.9	6.5
	秋季調査 (10-12 月期) (n=277)	6.5	4.0	4.3	4.0	2.5	62.1	22.0
居 住 地 別	北海道・東北 (n=5)	-	-	20.0	20.0	-	80.0	-
	関東 (n=60)	10.0	1.7	1.7	3.3	3.3	66.7	16.7
	中部 (n=61)	4.9	1.6	3.3	8.2	-	72.1	11.5
	関西 (京都府除く) (n=291)	9.6	3.8	5.8	7.6	4.1	64.6	13.4
	京都府 (n=93)	8.6	8.6	6.5	8.6	5.4	57.0	16.1
	中国・四国 (n=29)	6.9	3.4	10.3	10.3	-	65.5	13.8
	九州・沖縄 (n=13)	7.7	7.7	7.7	7.7	-	61.5	30.8
訪 問 回 数 別	初めて (n=251)	11.2	4.8	6.4	8.0	4.8	65.3	10.4
	2回目 (n=104)	8.7	3.8	5.8	7.7	1.0	57.7	23.1
	3回目 (n=67)	7.5	3.0	4.5	7.5	1.5	62.7	19.4
	4回目以上 (n=125)	4.8	4.0	4.8	6.4	3.2	69.6	12.8

※ 全体より5%以上高い値

- ・海の京都が候補になる滞在や居住形態については、「特になし」が64.5%で最も高く、候補になると回答したのは21.2%と約2割となっている。
- ・調査時期別では、候補になると回答したのは夏季調査で26.6%、秋季調査で15.9%となっており、季節で差が見られた。夏季調査は「ワーケーション」や「お試し暮らし」の割合が秋季調査よりも高かった。
- ・居住地別では、関西（京都府除く）(22.0%)、京都府 (26.9%)、中国・四国 (20.7%) で興味がある方が2割を超えている。
- ・訪問回数別では、訪問回数が増えるほど興味がある方が減少している（初めて：24.3%、2回目：19.2%、3回目：1.9%、4回目以上：17.6%）。

【エリアが候補になる滞在や居住形態】

(MA%)

		ワーケーション	地域とのかかわり	二地域居住	お試し暮らし	移住	特になし	無回答
調査数 (n=552)		8.7	4.2	5.6	7.6	3.4	64.5	14.3
性別年代別	男性全体 (n=309)	9.1	3.6	5.8	6.8	3.2	66.0	13.3
	29歳以下 (n=88)	12.5	4.5	8.0	6.8	3.4	61.4	13.6
	30歳代 (n=47)	10.6	-	6.4	2.1	2.1	66.0	14.9
	40歳代 (n=44)	18.2	9.1	9.1	13.6	4.5	54.5	11.4
	50歳代 (n=51)	3.9	5.9	5.9	11.8	3.9	72.5	5.9
	60歳以上 (n=79)	2.5	-	1.3	2.5	2.5	73.4	17.7
	女性全体 (n=243)	8.2	4.9	5.3	8.6	3.7	62.6	15.6
	29歳以下 (n=62)	14.5	9.7	4.8	11.3	3.2	56.5	12.9
	30歳代 (n=28)	3.6	7.1	10.7	10.7	3.6	64.3	3.6
	40歳代 (n=44)	9.1	4.5	6.8	11.4	6.8	50.0	27.3
	50歳代 (n=63)	7.9	3.2	4.8	6.3	4.8	66.7	15.9
	60歳以上 (n=46)	2.2	-	2.2	4.3	-	76.1	15.2

※ 全体より5%以上高い値

- ・性別では、男女ともに6割以上の方が「特になし」としており、性別での差はない。
- ・年代別では、男女40歳代は「ワーケーション」と「お試し暮らし」、女性29歳は「ワーケーション」と「地域とのかかわり」、女性30歳代は「二地域居住」が全体と比較して高くなっている。

(23) 長期滞在や居住等の地域を検討する場合に重視すること

【長期滞在や移住の際に重視すること】

(MA%)

		調査数	公共交通機関等による アクセスの良さ	車移動による アクセスの良さ	自然など滞在・ 居住地周辺の環境	店舗や病院など 生活の利便性	ライフスタイル があるに	仕事環境 オフィスなどの	その他	無回答
調査数		(n=171)	31.6	23.4	55.0	25.7	24.0	5.8	-	8.8
時 調 期 査	夏季調査 (7-9 月期)	(n=105)	26.7	19.0	62.9	21.9	24.8	4.8	-	9.5
	秋季調査 (10-12 月期)	(n=66)	39.4	30.3	42.4	31.8	22.7	7.6	-	7.6
居 住 地 別	北海道・東北	(n=1)	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-
	関東	(n=17)	47.1	11.8	47.1	35.3	35.3	11.8	-	5.9
	中部	(n=14)	35.7	28.6	64.3	21.4	14.3	-	-	7.1
	関西 (京都府除く)	(n=92)	26.1	22.8	56.5	25.0	22.8	6.5	-	8.7
	京都府	(n=37)	35.1	24.3	51.4	24.3	27.0	2.7	-	13.5
	中国・四国	(n=7)	42.9	28.6	71.4	42.9	14.3	-	-	-
	九州・沖縄	(n=3)	33.3	66.7	-	-	33.3	-	-	-
訪 問 回 数 別	初めて	(n=86)	36.0	24.4	50.0	29.1	24.4	9.3	-	8.1
	2回目	(n=28)	39.3	25.0	64.3	25.0	21.4	3.6	-	3.6
	3回目	(n=22)	22.7	31.8	63.6	18.2	27.3	-	-	18.2
	4回目以上	(n=32)	21.9	15.6	53.1	25.0	21.9	3.1	-	9.4

※ 全体より5%以上高い値

- ・長期滞在や居住等の地域を検討する場合に重視する点については、「自然など滞在・居住地周辺の環境」が55.0%で最も高く、次いで「公共交通機関等によるアクセスの良さ」が31.6%、「店舗や病院など生活の利便性」が25.7%と続いており、生活環境と公共交通機関が重要になっている。
- ・調査時期別では、夏季調査は「自然など滞在・居住地周辺の環境」、秋季調査は「公共交通機関等によるアクセスの良さ」、「車移動によるアクセスの良さ」、「店舗や病院など生活の利便性」が全体と比較をして高くなっている。
- ・居住地別では、関西圏は全体と比較をして大きな差は見られなかった。(その他の居住地については、集計時のサンプルが極端に少ないため、結果のみ掲載)

【長期滞在や移住の際に重視すること】

(MA%)

		公共交通機関等による アクセスの良さ	車移動による アクセスの良さ	居住地周辺 の滞在環境	店舗や病院など の利便性	ライフスタイル があるに	仕事環境 オフィスなどの	その他	無回答
調査数 (n=171)		31.6	23.4	55.0	25.7	24.0	5.8	-	8.8
性別年代別	男性全体 (n=95)	21.1	30.5	54.7	30.5	26.3	8.4	-	8.4
	29歳以下 (n=35)	25.7	28.6	42.9	28.6	28.6	5.7	-	11.4
	30歳代 (n=15)	33.3	20.0	60.0	33.3	40.0	13.3	-	-
	40歳代 (n=16)	18.8	25.0	93.8	37.5	18.8	6.3	-	-
	50歳代 (n=18)	16.7	38.9	50.0	22.2	22.2	11.1	-	16.7
	60歳以上 (n=11)	-	45.5	36.4	36.4	18.2	9.1	-	9.1
	女性全体 (n=76)	44.7	14.5	55.3	19.7	21.1	2.6	-	9.2
	29歳以下 (n=30)	50.0	13.3	53.3	16.7	26.7	3.3	-	10.0
	30歳代 (n=9)	22.2	11.1	77.8	33.3	11.1	-	-	11.1
	40歳代 (n=16)	62.5	18.8	50.0	12.5	18.8	6.3	-	6.3
	50歳代 (n=15)	40.0	20.0	46.7	26.7	20.0	-	-	6.7
60歳以上 (n=6)	16.7	-	66.7	16.7	16.7	-	-	16.7	

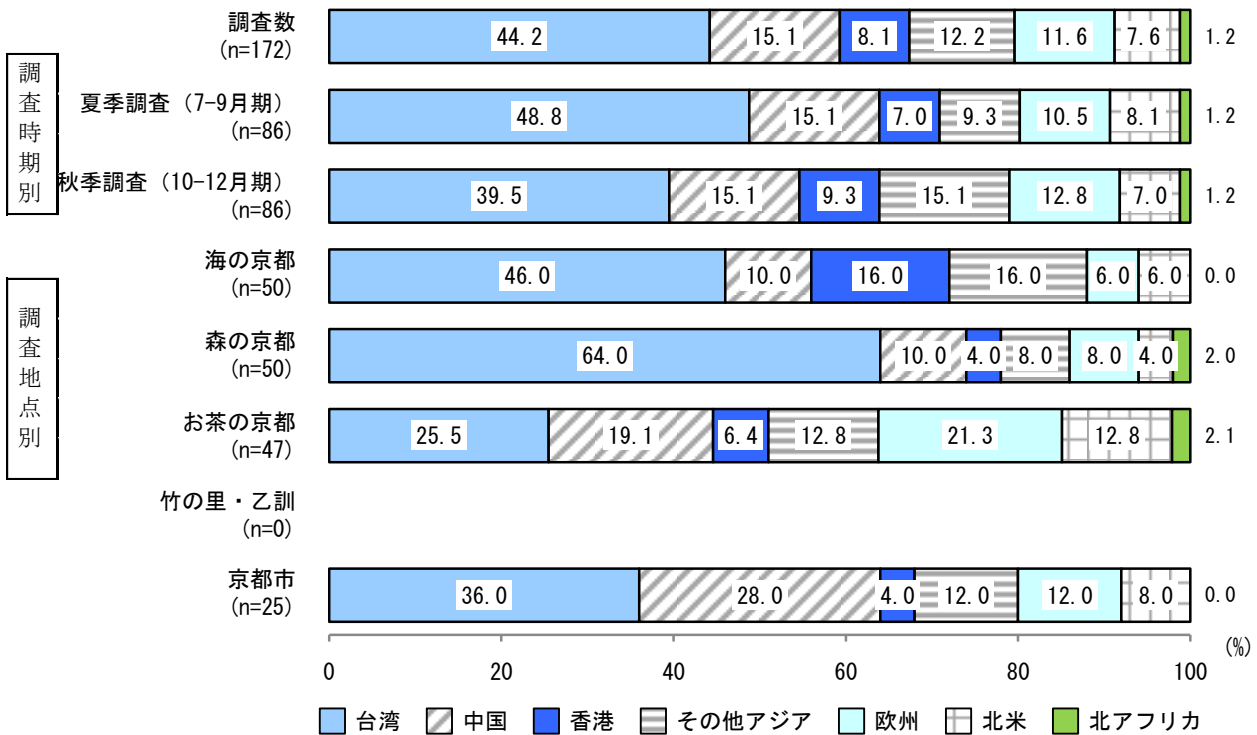
※ 全体より5%以上高い値

- ・性別では、男性は「車移動によるアクセスの良さ」、女性は「公共交通機関等によるアクセスの良さ」が全体より高く、男女間で差が表れている。
- ・年代別では、男性29歳以下は「車移動によるアクセスの良さ」、女性29歳以下は「公共交通機関等によるアクセスの良さ」が全体より高くなっている。(その他の年代については、集計時のサンプルが極端に少ないため、結果のみ掲載)

Ⅲ 調査結果（インバウンド調査）

1 基本属性

（1） 国名



- ・対象者の出身国については、「台湾」が最も高く44.2%、次いで「中国」が15.1%、「香港」が8.1%となっている。（国内在住の方も含まれている。「その他アジア」、「欧州」、「北米」、「北アフリカ」には複数の国の為、上位としてコメントは記載していない）
- ・調査時期別では、夏季調査、秋季調査ともに、「台湾」が最も高く、次いで「中国」となっている。
- ・エリア別では、全てのエリアにおいて「台湾」が最も高くなっている。海の京都や森の京都に比べて、お茶の京都や京都市は「台湾」の割合がやや低く、「中国」の割合が高い。

【入国時の空港】

(%)

入国時の空港		成田空港	羽田空港	中部国際空港	関西国際空港	福岡空港	その他空港	無回答
調査数 (n=172)		10.5	9.9	2.3	71.5	0.6	1.7	3.5
時 調 期 査	夏季調査 (7-9月期) (n=86)	14.0	10.5	2.3	70.9	-	2.3	-
	秋季調査 (10-12月期) (n=86)	7.0	9.3	2.3	72.1	1.2	1.2	7.0
調 査 地 点 別	海の京都 (n=50)	8.0	6.0	6.0	72.0	2.0	4.0	2.0
	森の京都 (n=50)	6.0	12.0	2.0	76.0	-	2.0	2.0
	お茶の京都 (n=47)	12.8	12.8	-	66.0	-	-	8.5
	竹の里・乙訓 (n=-)	-	-	-	-	-	-	-
	京都市 (n=25)	20.0	8.0	-	72.0	-	-	-
居 住 地 別	台湾 (n=76)	1.3	-	-	96.1	-	2.6	-
	中国 (n=26)	11.5	15.4	7.7	61.5	-	3.8	-
	香港 (n=14)	7.1	-	7.1	78.6	-	-	7.1
	その他アジア (n=21)	19.0	4.8	4.8	61.9	4.8	-	4.8
	欧州 (n=20)	25.0	25.0	-	40.0	-	-	10.0
	北米 (n=13)	23.1	53.8	-	15.4	-	-	7.7
	北アフリカ (n=2)	50.0	-	-	-	-	-	50.0

※ 全体より5%以上高い値

- ・インバウンド観光客の入国時の空港（港湾）は、「関西国際空港」が71.5%で最も高く、次いで「成田空港」が10.5%、「羽田空港」が9.9%となっている。「関西国際空港」以外からの入国は全体の約3割となっている。
- ・調査時期別では、夏季調査・秋季調査ともに「関西国際空港」が最も高く、夏季調査は、「成田空港」と「羽田空港」がそれぞれ1割を超えている。
- ・エリア別では、海の京都、森の京都、京都市は「関西国際空港」が7割以上、お茶の京都は2/3を占めている。森の京都は「羽田空港」、お茶の京都は「成田空港」と「羽田空港」、京都市は「成田空港」の割合がそれぞれ1割を超えている。
- ・国別では、台湾は「関西国際空港」が96.1%とほぼ100%に近づいている。その他の国については、地域により入国時の空港は様々となっているが、中国と香港は「関西国際空港」が高くなっている。

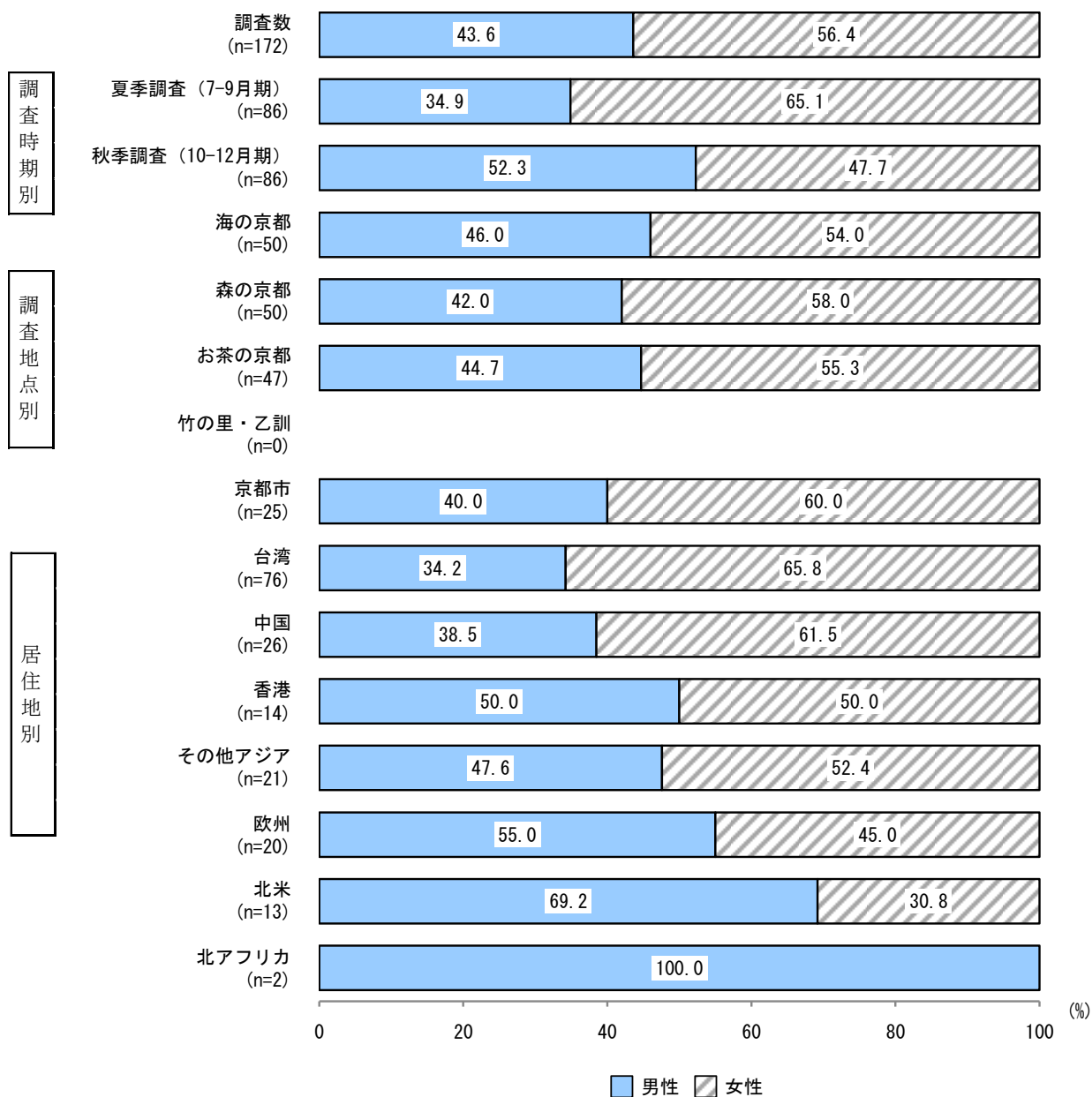
[出国時の空港]

出国時の空港			成田空港	羽田空港	中部国際空港	関西国際空港	福岡空港	無回答
調査数 (n=172)			11.6	6.4	0.6	70.3	0.6	10.5
時期別	夏季調査 (7-9月期) (n=86)		11.6	5.8	-	80.2	1.2	1.2
	秋季調査 (10-12月期) (n=86)		11.6	7.0	1.2	60.5	-	19.8
調査地点別	海の京都 (n=50)		6.0	-	-	74.0	-	20.0
	森の京都 (n=50)		10.0	6.0	2.0	78.0	2.0	2.0
	お茶の京都 (n=47)		14.9	12.8	-	57.4	-	14.9
	竹の里・乙訓 (n=-)		-	-	-	-	-	-
	京都市 (n=25)		20.0	8.0	-	72.0	-	-
居住地別	台湾 (n=76)		2.6	-	-	90.8	1.3	5.3
	中国 (n=26)		11.5	15.4	-	73.1	-	-
	香港 (n=14)		7.1	7.1	-	71.4	-	14.3
	その他アジア (n=21)		14.3	4.8	4.8	57.1	-	19.0
	欧州 (n=20)		45.0	15.0	-	20.0	-	20.0
	北米 (n=13)		15.4	15.4	-	46.2	-	23.1
	北アフリカ (n=2)		-	-	-	50.0	-	50.0

※ 全体より5%以上高い値

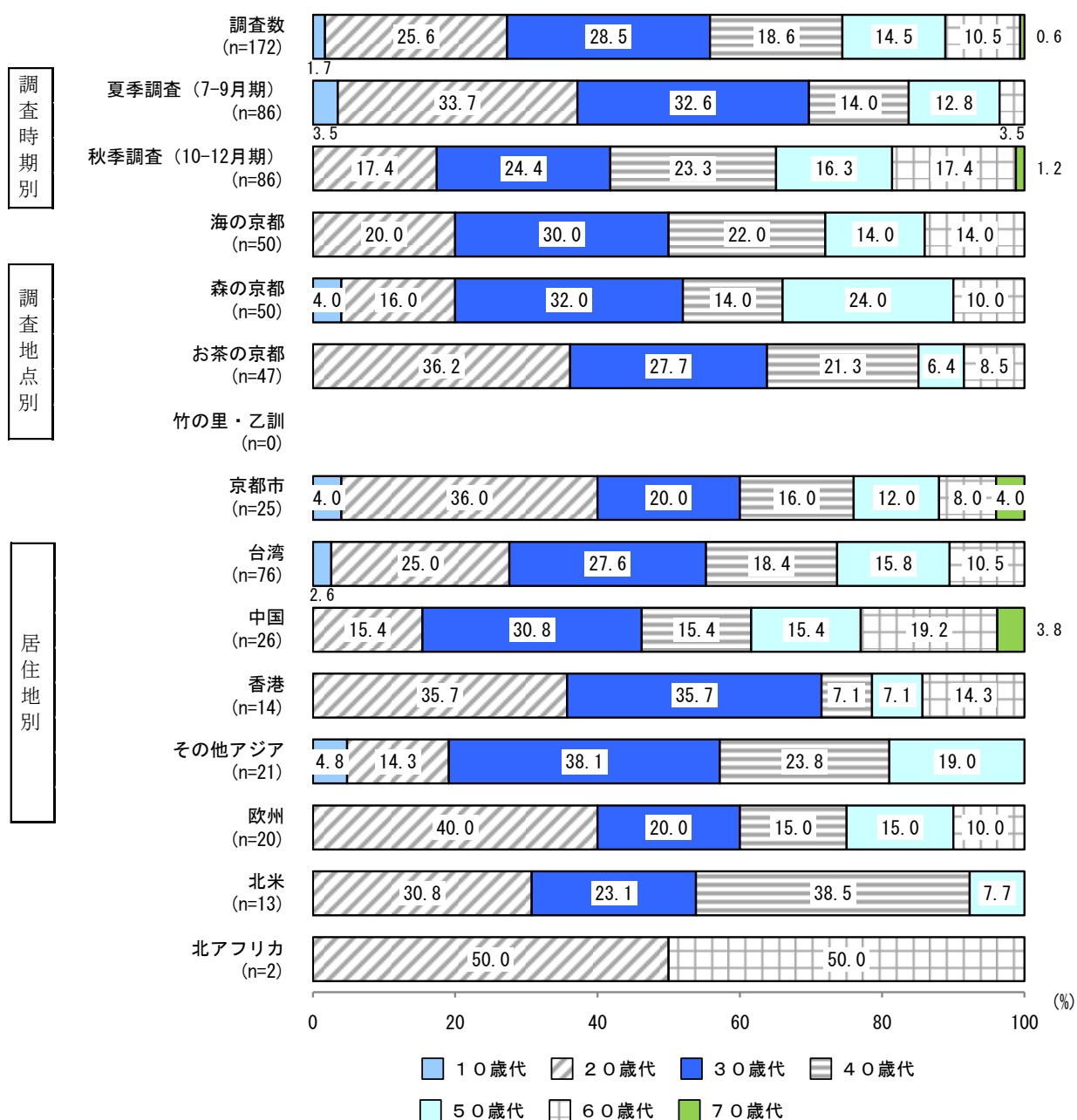
- ・インバウンド観光客の出国時の空港（港湾）は、「関西国際空港」が70.3%で最も高く、次いで「成田空港」が11.6%、「羽田空港」が6.4%となっている。「関西国際空港」からの入出国は全体の7割を占めている。
- ・調査時期別では、夏季調査・秋季調査ともに「関西国際空港」が最も高く、夏季調査では8割を占めている。
- ・エリア別では、海の京都、森の京都、京都市は「関西国際空港」が7割以上、お茶の京都は6割を下回っており、他のエリアと比較するとやや少ない。お茶の京都は「羽田空港」、京都市は「成田空港」の割合が他のエリアと比較してやや高い。
- ・国別では、台湾は「関西国際空港」が90.8%となっている。その他の国については、地域により出国時の空港は様々となっているが、中国と香港は「関西国際空港」からの出国が7割を超えている。欧州については、「関西国際空港」からの便が少ないこともあり、低くなっている。

【性別】



- ・性別については、「男性」が43.6%、「女性」が56.4%となっており、「女性」がやや多くなっている。
- ・調査時期別では、夏季調査は「女性」が65.1%、秋季調査は「男性」が52.3%とそれぞれ高くなっている。
- ・エリア別では、全てのエリアで「女性」の割合が半数を超えている。
- ・国別では、台湾、中国、その他アジアは「女性」の割合が過半数を超えており、欧州は「男性」の割合が過半数を超えている。

[年齢]

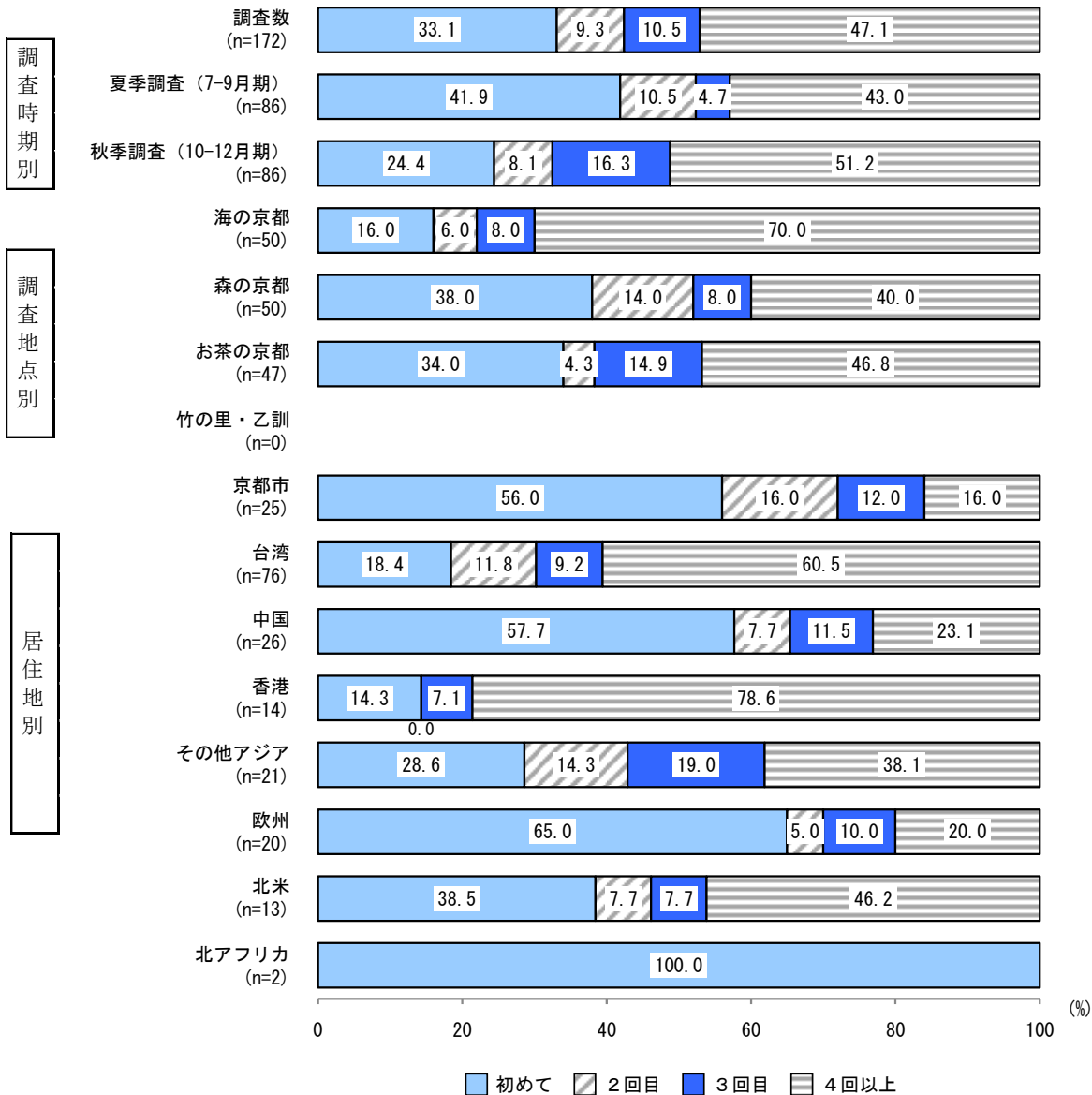


- ・年代については、「30歳代」が28.5%で最も多く、次いで「20歳代」が25.6%、「40歳代」が18.6%となっている。「20歳代～30歳代」で54.1%と過半数以上を占めている。
- ・調査時期別では、夏季調査は「20歳代」が33.7%、秋季調査は「30歳代」が24.4%と最も高くなっているが、秋季調査では、「40歳代」が23.3%となっており、夏季調査より高い。
- ・エリア別では、海の京都と森の京都は、「30歳代」、お茶の京都と京都市は「20歳代」が最も高く、エリアにより年代に違いが若干表れている。
- ・国別では、台湾、中国、その他アジアは「30歳代」、欧州は「20歳代」の割合が最も高くなっている。

2 今回の旅行について

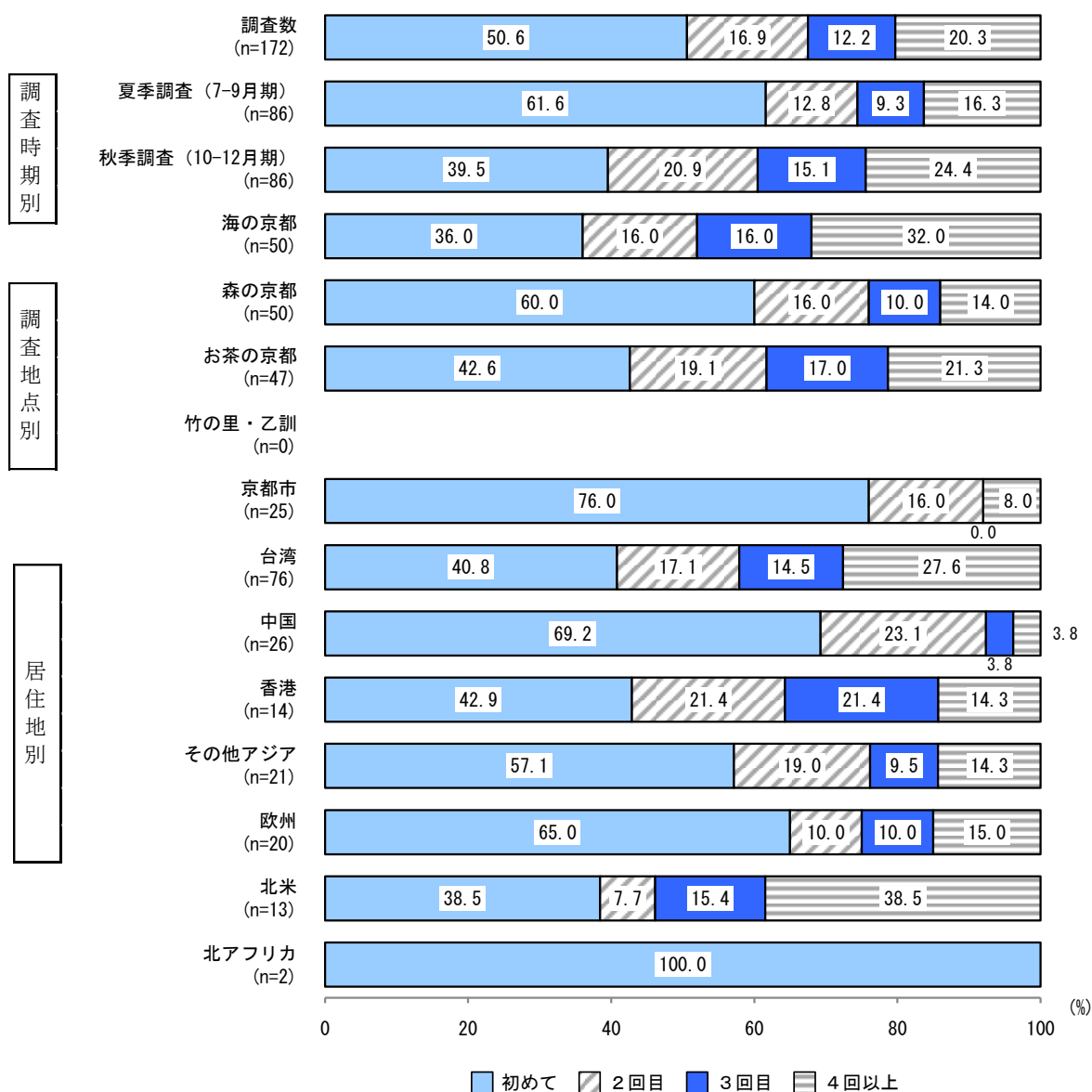
(1) 訪日旅行・京都府・エリアへの訪問回数、宿泊の有無/宿泊数

[訪日旅行の回数]



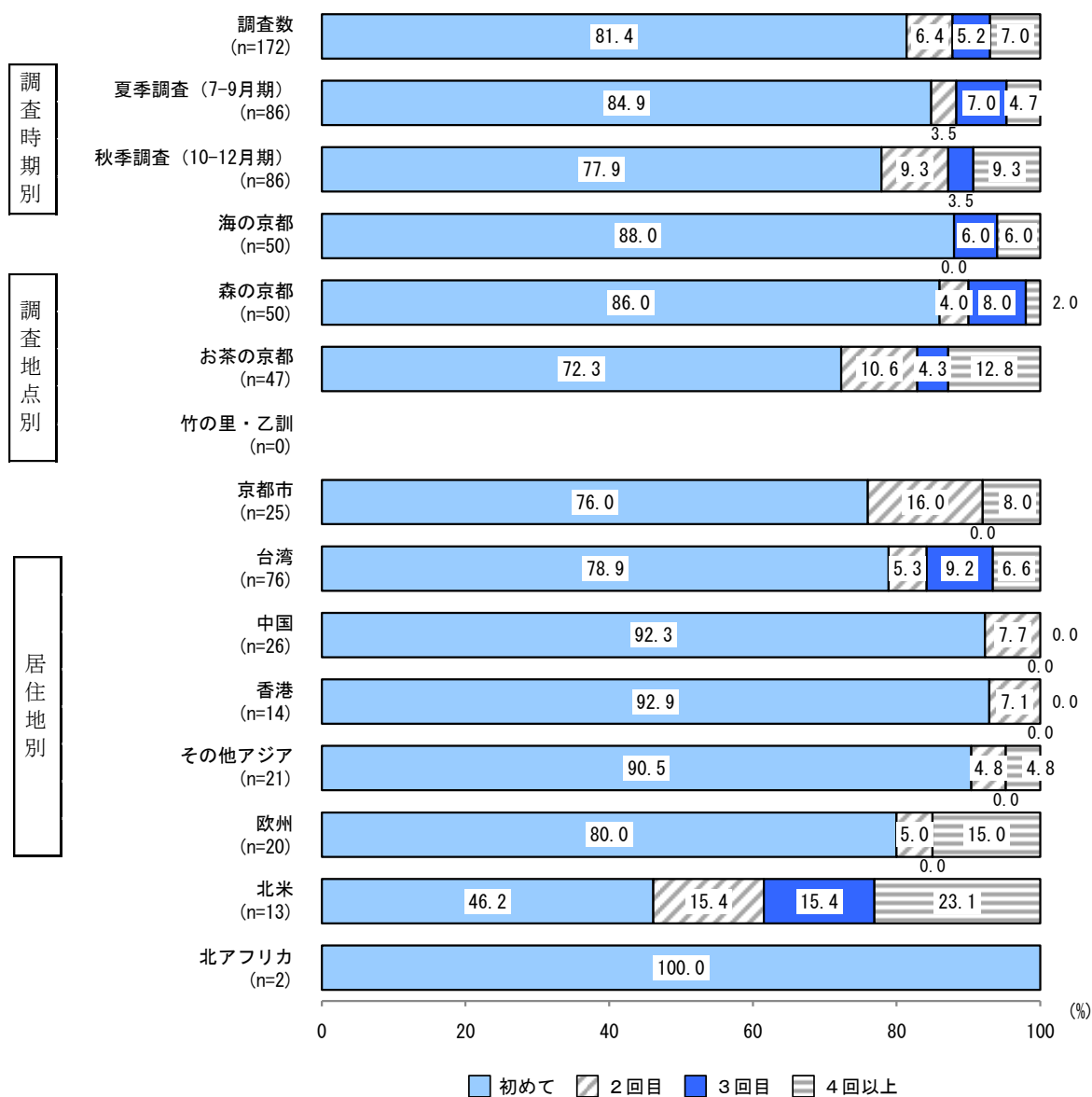
- ・訪日旅行の回数については、「4回以上」が47.1%で最も高く、次いで「初めて」が33.1%となっており、約7割の方が訪日旅行の経験者となっている。
- ・調査時期別では、夏季調査は「4回以上」が43.0%、「初めて」が41.9%とほぼ同数、秋季調査は「4回以上」が51.2%で半数以上を占めており、「初めて」が24.4%と夏季調査に比べてやや低い。
- ・エリア別では、海の京都は「4回以上」が7割と訪日旅行のリピーターが非常に多く、京都市は「初めて」が約6割となっている。森の京都とお茶の京都は「初めて」がそれぞれ3割程度となっている。
- ・国別では、台湾、香港、その他アジア、北米は「4回以上」訪日経験のある方が多く、中国と欧州は「初めて」の割合がやや高い。

【京都府への来訪回数】



- ・京都府への来訪回数は、「初めて」が50.6%で最も高く、次いで「4回以上」が20.3%となっており、京都府へのリピーターは約半数となっている。
- ・調査時期別では、夏季調査は「初めて」が61.6%、秋季調査は、「初めて」が39.5%、夏季調査において「初めて」の方が多く見られた。
- ・エリア別では、全てのエリアにおいて「初めて」が最も高く、海の京都は36.0%、森の京都は60.0%、お茶の京都は42.6%、京都市は76.0%となっており、エリアによりかなりのバラつきが見られた。海の京都とお茶の京都は半数以上がリピーターとなっている。
- ・国別では、全ての国において「初めて」が最も高く、台湾と北米では「4回以上」が高くなっており、その他の国に比べて「4回以上」の割合が高い。

【エリアへの来訪回数】



- ・エリアへの来訪回数については、「初めて」が81.4%で最も高く、リピーターは約2割となっている。
- ・調査時期別では、夏季調査と秋季調査ともに「初めて」が最も高く、リピーターは夏季調査では約15%、秋季調査では約22%となっている。
- ・エリア別では、全てのエリアにおいて「初めて」が最も高く、最もリピーターが多かったのはお茶の京都で約28%、最も少なかったのは海の京都で12.0%となっており、エリアにより差が見られた。
- ・国別では、全ての国において「初めて」が最も高く、中国、香港、その他アジアは「初めて」が9割を超えている。

[平均宿泊日数]

平均宿泊日数		(泊)		訪日旅行初めて			訪日旅行4回以上		
		旅行全体	エリア内		旅行全体	エリア内		旅行全体	エリア内
調査数 (n=163)		9.4	1.6	(n=54)	10.5	1.4	(n=75)	8.8	1.5
時 調 期 査	夏季調査 (7-9月期) (n=81)	9.7	1.5	(n=34)	11.1	1.5	(n=34)	9.0	0.9
	秋季調査 (10-12月期) (n=82)	9.1	1.7	(n=20)	9.5	1.3	(n=41)	8.6	2.2
調 査 地 点 別	海の京都 (n=47)	9.5	1.6	(n=8)	10.8	1.5	(n=32)	9.1	1.8
	森の京都 (n=47)	8.4	0.7	(n=18)	11.6	1.2	(n=18)	6.6	0.3
	お茶の京都 (n=45)	11.2	2.4	(n=15)	10.6	1.2	(n=21)	11.1	1.9
	竹の里・乙訓 (n=-)	-	-	(n=-)	-	-	(n=-)	-	-
	京都市 (n=24)	7.8	1.9	(n=13)	8.6	1.9	(n=4)	4.3	1.5
居 住 地 別	台湾 (n=74)	6.1	1.0	(n=14)	6.5	1.1	(n=44)	6.3	1.2
	中国 (n=25)	9.3	1.5	(n=14)	9.1	0.6	(n=6)	12.8	3.6
	香港 (n=13)	5.7	1.1	(n=2)	4.5	0.0	(n=10)	5.1	1.0
	その他アジア (n=19)	10.0	1.1	(n=5)	11.0	1.2	(n=7)	10.9	1.7
	欧州 (n=17)	17.6	2.9	(n=12)	16.8	2.7	(n=2)	9.0	3.5
	北米 (n=13)	20.8	4.5	(n=5)	14.4	2.6	(n=6)	26.3	1.8
	北アフリカ (n=2)	5.5	1.0	(n=2)	5.5	1.0	(n=-)	-	-

- ・旅行の平均宿泊数とエリア内宿泊数は、旅行全体では9.4泊、エリア内では1.6泊となった。
- ・調査時期別では、夏季調査は旅行全体が9.7泊、エリア内が1.5泊、秋季調査は旅行全体が9.1泊、エリア内が1.7泊と、旅行全体の宿泊数は減少しているが、エリア内の宿泊数は微増している。
- ・エリア別では、旅行全体の宿泊数はお茶の京都が11.2泊で最も多く、京都市が7.8泊で最も少ない。エリア内の宿泊数もお茶の京都が2.4泊で最も多く、森の京都が0.7泊で最も少ない。
- ・国別では、旅行全体の宿泊数は北米が20.8泊で最も多く、香港が5.7泊で最も少ない。エリア内宿泊数は北米が4.5泊で最も多く、台湾が1.0泊で最も少ない。

(サンプル数が少ないため参考値)

- ・訪日旅行が初めての方と4回以上の方の旅行全体の平均宿泊数とエリア内宿泊数を比較すると、初めての方は4回以上の方に比べて、旅行全体の宿泊数は多いが、エリア内宿泊数は4回以上の方が若干多い。

(2) エリア以外にも旅行する場所

【旅行するエリア】

(%)

		ない	海の京都	森の京都	お茶の京都	京都市	竹の里・乙訓	府外
調査数 (n=172)		14.0	6.4	5.8	8.7	54.7	7.6	47.1
時 調 期 査	夏季調査 (7-9月期) (n=86)	11.6	9.3	1.2	5.8	46.5	9.3	57.0
	秋季調査 (10-12月期) (n=86)	16.3	3.5	10.5	11.6	62.8	5.8	37.2
調 査 地 点 別	海の京都 (n=50)	6.0	-	16.0	20.0	76.0	8.0	28.0
	森の京都 (n=50)	2.0	14.0	-	10.0	58.0	6.0	66.0
	お茶の京都 (n=47)	27.7	6.4	4.3	-	57.4	12.8	34.0
	竹の里・乙訓 (n=-)	-	-	-	-	-	-	-
	京都市 (n=25)	28.0	4.0	-	-	-	-	72.0
居 住 地 別	台湾 (n=76)	9.2	7.9	6.6	9.2	55.3	1.3	51.3
	中国 (n=26)	15.4	3.8	-	3.8	53.8	-	50.0
	香港 (n=14)	14.3	-	7.1	7.1	64.3	-	14.3
	その他アジア (n=21)	9.5	14.3	14.3	14.3	71.4	19.0	47.6
	欧州 (n=20)	25.0	-	-	5.0	45.0	20.0	55.0
	北米 (n=13)	23.1	-	7.7	15.4	38.5	30.8	38.5
	北アフリカ (n=2)	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0
訪 問 回 数 別	初めて (n=57)	17.5	8.8	1.8	7.0	31.6	10.5	59.6
	2回目 (n=16)	12.5	12.5	6.3	-	50.0	6.3	50.0
	3回目 (n=18)	16.7	-	11.1	-	72.2	11.1	33.3
	4回目以上 (n=81)	11.1	4.9	7.4	13.6	67.9	4.9	40.7

※ 全体より5%以上高い値

- ・エリア以外に旅行する場所は、「京都市」が最も高く 54.7%、次いで「府外」が 47.1%、「ない（そのエリアのみ）」が 14.0%となっている。半数以上の方が予定も含めて京都市を訪れている。
- ・調査時期別では、夏季調査は、「府外」が 57.0%で最も高く、次いで「京都市」が 46.5%、秋季調査は「京都市」が 62.8%で最も高く、次いで「府外」が 37.2%となっている。
夏は「府外」へ行く割合が高く、秋には「京都府内」での観光割合が高い
- ・エリア別では、海の京都とお茶の京都は「京都市」、森の京都と京都市は「府外」へ行く割合が高く、エリアにより訪問場所に違いがある。
- ・国別では、アジア圏の国は「京都市」、欧米は「府外」を訪れる割合が高くなっている。香港は「府外」へ行かれる方が 14.3%となっており、府内観光の割合が高い。
- ・訪日回数別では、初めては約 6 割、4 回目以上は約 4 割が「府外」を訪れており、訪日回数が増えるほど、「京都府内の周遊」が多くなる。

(3) 旅行の際に重視した点

【旅行の際に重視した点】

(MA%)

		日程	季節	観光地・訪問スポット	現地で体験できること	宿泊施設	同行者	交通手段	旅行費用	訪問地の情報	現地での食事	その他	
調査数 (n=172)		18.6	44.8	76.2	34.9	7.0	12.2	11.6	2.9	1.2	26.2	4.7	
時期別	夏季調査 (7-9月期) (n=86)	17.4	25.6	83.7	43.0	12.8	8.1	20.9	3.5	1.2	32.6	3.5	
	秋季調査 (10-12月期) (n=86)	19.8	64.0	68.6	26.7	1.2	16.3	2.3	2.3	1.2	19.8	5.8	
調査地点別	海の京都 (n=50)	18.0	42.0	88.0	32.0	6.0	14.0	8.0	2.0	2.0	26.0	2.0	
	森の京都 (n=50)	14.0	36.0	90.0	26.0	8.0	8.0	14.0	-	2.0	32.0	4.0	
	お茶の京都 (n=47)	27.7	55.3	61.7	55.3	10.6	14.9	14.9	8.5	-	29.8	4.3	
	竹の里・乙訓 (n=-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	京都市 (n=25)	12.0	48.0	52.0	20.0	-	12.0	8.0	-	-	8.0	12.0	
居住地別	台湾 (n=76)	17.1	46.1	80.3	21.1	6.6	17.1	10.5	2.6	2.6	25.0	2.6	
	中国 (n=26)	34.6	50.0	57.7	30.8	15.4	7.7	19.2	3.8	-	34.6	15.4	
	香港 (n=14)	28.6	50.0	100.0	50.0	-	14.3	-	7.1	-	7.1	-	
	その他アジア (n=21)	4.8	33.3	95.2	19.0	9.5	4.8	9.5	-	-	19.0	-	
	欧州 (n=20)	15.0	55.0	65.0	65.0	-	10.0	20.0	5.0	-	45.0	-	
	北米 (n=13)	7.7	15.4	61.5	84.6	-	7.7	7.7	-	-	23.1	15.4	
	北アフリカ (n=2)	50.0	100.0	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	
訪問回数別	初めて (n=57)	15.8	31.6	77.2	36.8	8.8	12.3	12.3	3.5	-	31.6	8.8	
	2回目 (n=16)	18.8	75.0	75.0	25.0	-	-	-	6.3	-	37.5	6.3	
	3回目 (n=18)	16.7	55.6	61.1	38.9	-	16.7	11.1	5.6	-	22.2	-	
	4回目以上 (n=81)	21.0	45.7	79.0	34.6	8.6	13.6	13.6	1.2	2.5	21.0	2.5	

※ 全体より5%以上高い値

- ・旅行の際に重視した点については、「観光地・訪問スポット」が76.2%で最も高く、次いで「季節」が44.8%、「現地で体験できること」が34.9%となっている。
- ・調査時期別では、夏季調査と秋季調査は「観光地・訪問スポット」が最も高く、次いで夏季調査は「現地で体験できること」、秋季調査は「季節」が高い。夏季調査は「宿泊施設」、「交通手段」や「現地での食事」、秋季調査は「同行者」の割合がそれぞれ高い。
- ・エリア別では、全てのエリアにおいて「観光地・訪問スポット」は高くなっているが、海の京都と森の京都は約9割と非常に高い。また、森の京都は「現地での食事」、お茶の京都は「日程」、「季節」、「現地で体験できること」の割合が高い。
- ・国別では、アジア圏は「観光地・観光スポット」が高くなっているが、欧米は「現地で体験できること」の割合がアジア圏と比較して高い。
- ・訪日回数別では、初めては「現地での食事」が31.6%と全体と比較して重視している割合が高いが、4回目以上は21.0%と低い。

(3) 最も重視した点

【旅行の際に最も重視した点】

		日程	季節	観光地・訪問スポット	現地で体験できること	宿泊施設	同行者	交通手段	旅行費用	訪問地の施設の情報	現地での食事	その他	無回答	
調査数 (n=172)		4.7	18.0	48.8	10.5	-	4.1	0.6	0.6	-	8.1	3.5	1.2	
時期別	夏季調査 (7-9月期) (n=86)	3.5	8.1	58.1	10.5	-	2.3	1.2	-	-	10.5	3.5	2.3	
	秋季調査 (10-12月期) (n=86)	5.8	27.9	39.5	10.5	-	5.8	-	1.2	-	5.8	3.5	-	
調査地点別	海の京都 (n=50)	6.0	14.0	54.0	12.0	-	6.0	-	-	-	6.0	-	2.0	
	森の京都 (n=50)	4.0	8.0	60.0	8.0	-	4.0	2.0	-	-	10.0	4.0	-	
	お茶の京都 (n=47)	6.4	23.4	36.2	14.9	-	2.1	-	2.1	-	10.6	2.1	2.1	
	竹の里・乙訓 (n=-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	京都市 (n=25)	-	36.0	40.0	4.0	-	4.0	-	-	-	4.0	12.0	-	
居住地別	台湾 (n=76)	5.3	15.8	55.3	3.9	-	6.6	1.3	-	-	9.2	2.6	-	
	中国 (n=26)	7.7	38.5	34.6	3.8	-	-	-	-	-	-	11.5	3.8	
	香港 (n=14)	-	14.3	71.4	7.1	-	7.1	-	-	-	-	-	-	
	その他アジア (n=21)	4.8	28.6	52.4	4.8	-	-	-	-	-	4.8	-	4.8	
	欧州 (n=20)	-	5.0	40.0	25.0	-	5.0	-	5.0	-	20.0	-	-	
	北米 (n=13)	-	-	30.8	46.2	-	-	-	-	-	15.4	7.7	-	
	北アフリカ (n=2)	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	

※ 全体より5%以上高い値

- ・旅行の際に最も重視した点については、「観光地・訪問スポット」が48.8%で最も高く、次いで「季節」が18.0%、「現地で体験できること」が10.5%となっている。
- ・調査時期別では、夏季調査と秋季調査は「観光地・訪問スポット」が最も高く、次いで夏季調査では「現地で体験できること」と「現地での食事」、秋季調査は「季節」が高い。秋季調査は、夏季調査に比べて「観光地・訪問スポット」を最重視する割合が低い。
- ・エリア別では、全てのエリアにおいて「観光地・訪問スポット」は高いが、海の京都と森の京都は「観光地・訪問スポット」が半数以上と高くなっている。また、お茶の京都や京都市は「季節」の割合が高い。
- ・国別では、台湾、香港、その他アジア、欧州は「観光地・訪問スポット」、中国は「季節」、北米は「現地で体験できること」が最も高い。

(4) エリアへの交通手段

[エリアへの交通手段]

(%)

		新幹線	鉄道（新幹線以外）	高速バス	貸切・観光バス	路線バス	航空機	自家用車	レンタカー・カーシェア	バイク・自転車	その他	無回答
調査数 (n=172)		11.6	34.3	1.2	20.9	6.4	-	6.4	16.9	1.2	0.6	0.6
時 調 期 査	夏季調査 (7-9月期) (n=86)	10.5	39.5	-	19.8	1.2	-	10.5	17.4	1.2	-	-
	秋季調査 (10-12月期) (n=86)	12.8	29.1	2.3	22.1	11.6	-	2.3	16.3	1.2	1.2	1.2
調 査 地 点 別	海の京都 (n=50)	6.0	8.0	4.0	14.0	16.0	-	14.0	38.0	-	-	-
	森の京都 (n=50)	-	46.0	-	30.0	-	-	2.0	20.0	2.0	-	-
	お茶の京都 (n=47)	29.8	53.2	-	4.3	2.1	-	6.4	-	2.1	-	2.1
	竹の里・乙訓 (n=-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	京都市 (n=25)	12.0	28.0	-	48.0	8.0	-	-	-	-	4.0	-
居 住 地 別	台湾 (n=76)	-	38.2	-	31.6	6.6	-	5.3	18.4	-	-	-
	中国 (n=26)	26.9	23.1	-	26.9	3.8	-	-	15.4	-	3.8	-
	香港 (n=14)	7.1	50.0	-	7.1	7.1	-	7.1	21.4	-	-	-
	その他アジア (n=21)	4.8	38.1	4.8	14.3	9.5	-	9.5	14.3	4.8	-	-
	欧州 (n=20)	20.0	25.0	5.0	5.0	10.0	-	15.0	15.0	-	-	5.0
	北米 (n=13)	46.2	30.8	-	-	-	-	7.7	7.7	7.7	-	-
	北アフリカ (n=2)	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-

※ 全体より5%以上高い値

- ・エリアへの交通手段は、「鉄道（新幹線以外）」が 34.3% で最も高く、次いで「貸切・観光バス」が 20.9%、「レンタカー・カーシェア」が 16.9% と続いている。
- ・調査時期別では、夏季調査と秋季調査ともに「鉄道（新幹線以外）」が最も高く、次いで「貸切・観光バス」となっており、この2つを利用して移動する方が半数を超えており、主な移動手段となっている。
- ・エリア別では、海の京都は「レンタカー・カーシェア」、森の京都とお茶の京都は「鉄道（新幹線以外）」、京都市は「貸切・観光バス」が最も高い。エリアにより交通手段が異なっている。
- ・国別では、中国は「新幹線」と「貸切・観光バス」、北米は「新幹線」、それ以外の国は「鉄道（新幹線以外）」が高い。また、台湾と香港は「レンタカー・カーシェア」を利用する割合が他に比べて若干高い。

(5) 訪問の際の情報源

【訪問の際の情報源】

		(MA%)								
		家族・友人	旅行会社	新聞・雑誌	テレビ	ラジオ	旅行ガイド・ロコミサイト	その他HP	Facebook	
調査数 (n=172)		28.5	17.4	4.1	1.7	-	18.0	9.9	14.0	
時 調 期 査	夏季調査 (7-9月期) (n=86)	34.9	20.9	5.8	3.5	-	16.3	9.3	8.1	
	秋季調査 (10-12月期) (n=86)	22.1	14.0	2.3	-	-	19.8	10.5	19.8	
調 査 地 点 別	海の京都 (n=50)	26.0	2.0	4.0	-	-	22.0	16.0	24.0	
	森の京都 (n=50)	30.0	28.0	-	2.0	-	4.0	10.0	8.0	
	お茶の京都 (n=47)	27.7	14.9	6.4	2.1	-	27.7	8.5	10.6	
	竹の里・乙訓 (n=-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	京都市 (n=25)	32.0	32.0	8.0	4.0	-	20.0	-	12.0	
		In s t a g r a m	T w i t t e r	Y o u T u b e	パ ン ス フ レ ー ツ ・ ト	京 都 の 観 光 ・ 物 産 展	そ の 他	以 前 か ら 知 っ て い た	無 回 答	
調査数 (n=172)		17.4	0.6	18.6	0.6	2.9	14.0	5.2	2.3	
時 調 期 査	夏季調査 (7-9月期) (n=86)	17.4	1.2	18.6	-	3.5	14.0	8.1	1.2	
	秋季調査 (10-12月期) (n=86)	17.4	-	18.6	1.2	2.3	14.0	2.3	3.5	
調 査 地 点 別	海の京都 (n=50)	22.0	2.0	20.0	-	-	8.0	2.0	4.0	
	森の京都 (n=50)	10.0	-	28.0	-	2.0	26.0	4.0	-	
	お茶の京都 (n=47)	19.1	-	6.4	2.1	8.5	6.4	10.6	4.3	
	竹の里・乙訓 (n=-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	京都市 (n=25)	20.0	-	20.0	-	-	16.0	4.0	-	

※ 全体より5%以上高い値

- ・訪問の際の情報源については、「家族・友人」が28.5%で最も高く、次いで「YouTube」が18.6%、「旅行ガイド・ロコミサイト」が18.0%と続いている。
- ・調査時期別では、夏季調査と秋季調査ともに「家族・友人」が最も高く、次いで、夏季調査は「旅行会社」、「YouTube」となっており、秋季調査は「旅行ガイド・ロコミサイト」と「Facebook」が続いている。
- ・エリア別では、全てのエリアにおいて「家族・友人」が最も高いが、その他では、海の京都は「Facebook」、森の京都は「旅行会社」と「YouTube」、お茶の京都は「旅行ガイド・ロコミサイト」、京都市は「旅行会社」が上位に来ており、エリアにより情報源がやや異なっている。

【訪問の際の情報源】

(MA%)

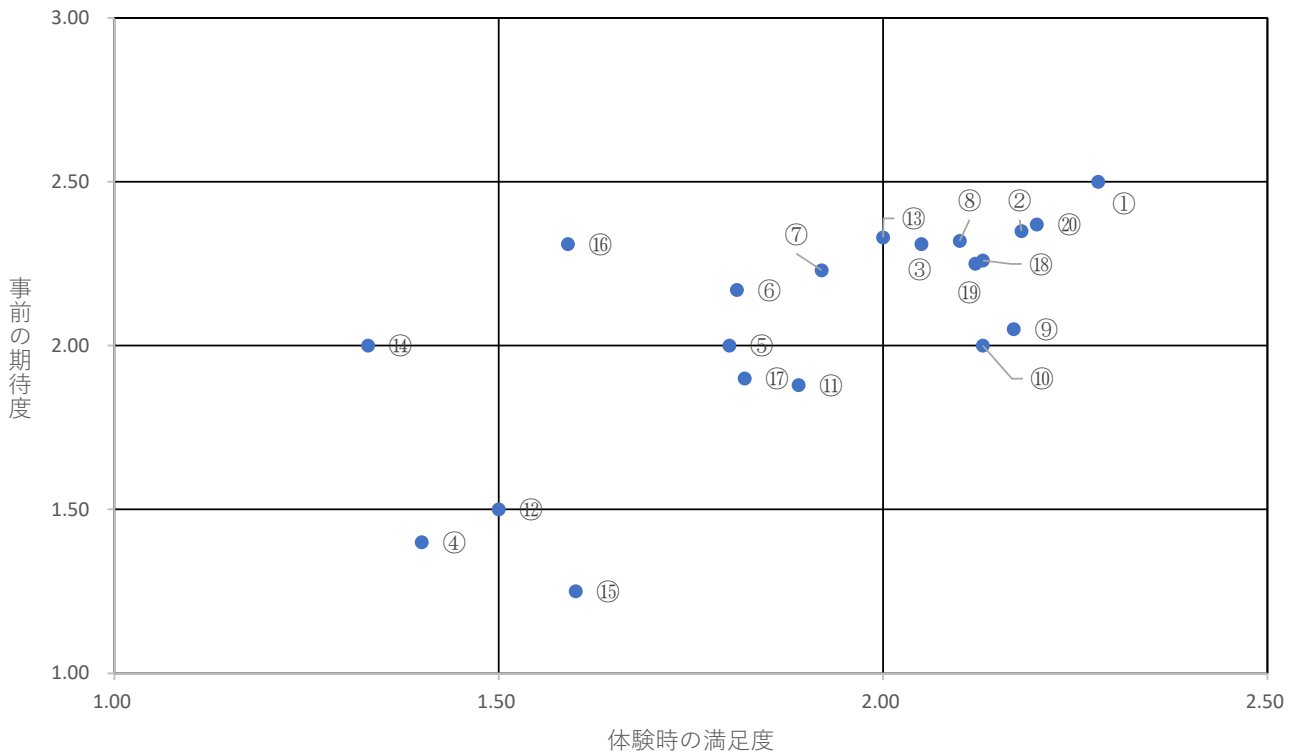
		家族・友人	旅行会社	新聞・雑誌	テレビ	ラジオ	旅行ガイド・ロコミサイト	その他HP	Facebook
調査数 (n=172)		28.5	17.4	4.1	1.7	-	18.0	9.9	14.0
居住地別	台湾 (n=76)	30.3	25.0	5.3	2.6	-	14.5	14.5	15.8
	中国 (n=26)	23.1	11.5	7.7	3.8	-	23.1	11.5	7.7
	香港 (n=14)	7.1	-	7.1	-	-	28.6	7.1	28.6
	その他アジア (n=21)	19.0	14.3	-	-	-	28.6	9.5	23.8
	欧州 (n=20)	30.0	15.0	-	-	-	20.0	-	5.0
	北米 (n=13)	69.2	7.7	-	-	-	-	-	-
	北アフリカ (n=2)	-	50.0	-	-	-	-	-	-

		Instagram	Twitter	YouTube	ポスター・パンフレット	京都の観光・物産展	その他	以前から知っている・いた	無回答
調査数 (n=172)		17.4	0.6	18.6	0.6	2.9	14.0	5.2	2.3
居住地別	台湾 (n=76)	18.4	1.3	25.0	-	3.9	11.8	7.9	-
	中国 (n=26)	7.7	-	3.8	3.8	-	38.5	3.8	3.8
	香港 (n=14)	21.4	-	50.0	-	-	-	-	7.1
	その他アジア (n=21)	19.0	-	14.3	-	4.8	4.8	-	-
	欧州 (n=20)	30.0	-	5.0	-	-	5.0	5.0	5.0
	北米 (n=13)	7.7	-	7.7	-	7.7	15.4	7.7	7.7
	北アフリカ (n=2)	-	-	-	-	-	50.0	-	-

※ 全体より5%以上高い値

- ・国別では、台湾、欧州、北米は「家族・友人」、香港とその他アジアは「旅行ガイド・ロコミサイト」、中国は「家族・友人」と「旅行ガイド・ロコミサイト」が最も高くなっている。その他に、その他アジアは「Facebook」、欧州は「Instagram」などが活用されている。

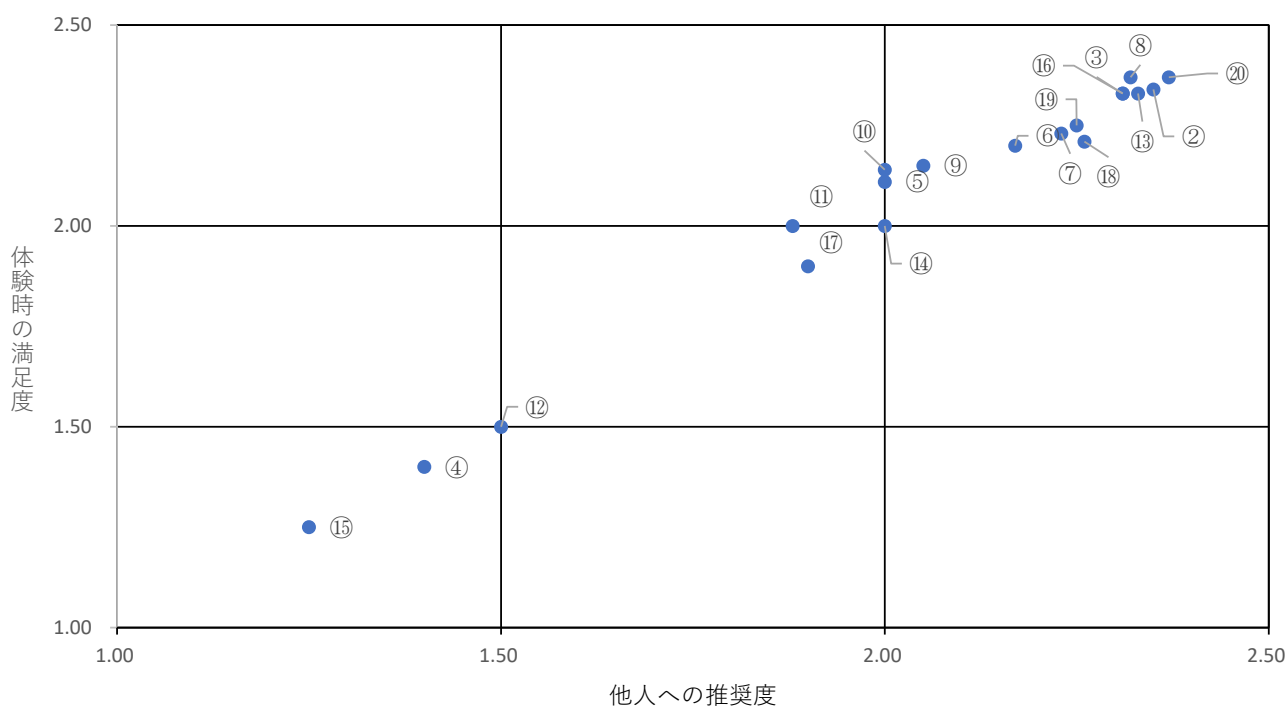
(6) コンテンツ／観光資源に対する事前期待度・体験時の満足度の平均点



- | | | |
|----------------|------------------|--------------------|
| ① 自然景観 | ⑧ 日本食等の飲食 | ⑮夜観光（花火・イルミネーション等） |
| ② 寺院・神社、名所・旧跡 | ⑨（上記8以外の）食事・飲食 | ⑯温泉、入浴施設 |
| ③ 町家・街並み等の郷土景観 | ⑩アウトドア（山・海・川） | ⑰宿泊施設 |
| ④ 郷土芸能・伝統工芸 | ⑪体験型プログラムやガイドツアー | ⑱乗り物 |
| ⑤ 博物館・美術館・資料館 | ⑫スポーツ | ⑲移動（観光地までのアクセス等） |
| ⑥ 買物 | ⑬マンガ・アニメの聖地巡礼 | ⑳観光情報 |
| ⑦ 地域ならではのお土産 | ⑭祭り、イベント | |

・コンテンツ／観光資源に対する事前の期待度と体験時の満足度については、上記の結果となった。
 (サンプル数が少ない項目があるため、必ずしも現状と一致しない場合がある)

(7) コンテンツ／観光資源に対する体験時の満足度・他人への推奨度の平均点



- | | | |
|----------------|-------------------|---------------------|
| ① 自然景観 | ⑧ 日本食等の飲食 | ⑮ 夜観光（花火・イルミネーション等） |
| ② 寺院・神社、名所・旧跡 | ⑨ （上記8以外の）食事・飲食 | ⑯ 温泉、入浴施設 |
| ③ 町家・街並み等の郷土景観 | ⑩ アウトドア（山・海・川） | ⑰ 宿泊施設 |
| ④ 郷土芸能・伝統工芸 | ⑪ 体験型プログラムやガイドツアー | ⑱ 乗り物 |
| ⑤ 博物館・美術館・資料館 | ⑫ スポーツ | ⑲ 移動（観光地までのアクセス等） |
| ⑥ 買物 | ⑬ マンガ・アニメの聖地巡礼 | ⑳ 観光情報 |
| ⑦ 地域ならではのお土産 | ⑭ 祭り、イベント | |

・コンテンツ／観光資源に対する体験時の満足度と他人への推奨度については、上記の結果となった。
 （サンプル数が少ない項目があるため、必ずしも現状と一致しない場合がある）

(8) 地元の方との交流

【地元の方との交流】

(MA%)

		体験ツアーの中で地元の人と交流した	飲食店の店員・スタッフと交流した	飲食店で地元の人と交流した	祭りや地元行事に参加した	観光案内所で交流した	道を尋ねた	交流はなかった	その他	無回答
調査数 (n=172)		7.6	30.2	13.4	1.7	12.8	13.4	41.9	2.3	4.7
時 調 期 査	夏季調査 (7-9月期) (n=86)	10.5	36.0	19.8	3.5	12.8	11.6	40.7	4.7	-
	秋季調査 (10-12月期) (n=86)	4.7	24.4	7.0	-	12.8	15.1	43.0	-	9.3
調 査 地 点 別	海の京都 (n=50)	6.0	32.0	24.0	4.0	18.0	14.0	38.0	-	4.0
	森の京都 (n=50)	4.0	28.0	6.0	-	8.0	20.0	46.0	4.0	8.0
	お茶の京都 (n=47)	14.9	29.8	12.8	2.1	19.1	8.5	38.3	2.1	4.3
	竹の里・乙訓 (n=-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	京都市 (n=25)	4.0	32.0	8.0	-	-	8.0	48.0	4.0	-
居 住 地 別	台湾 (n=76)	9.2	35.5	19.7	3.9	15.8	18.4	30.3	1.3	5.3
	中国 (n=26)	3.8	23.1	3.8	-	-	15.4	65.4	3.8	-
	香港 (n=14)	-	35.7	14.3	-	-	7.1	50.0	-	-
	その他アジア (n=21)	-	19.0	9.5	-	23.8	19.0	47.6	-	4.8
	欧州 (n=20)	10.0	25.0	5.0	-	15.0	-	50.0	-	10.0
	北米 (n=13)	23.1	38.5	15.4	-	15.4	-	30.8	15.4	-
	北アフリカ (n=2)	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0

※ 全体より5%以上高い値

- ・地元の方との交流については、「飲食店の店員・スタッフと交流した」が30.2%で最も高く、次いで「飲食店で地元の人と交流した」と「道を尋ねた」が13.4%となっている。
- ・調査時期別では、夏季調査と秋季調査ともに「飲食店の店員・スタッフと交流した」が最も高く、次いで、夏季調査は「飲食店で地元の人と交流した」、秋季調査は「道を尋ねた」が続いている。
- ・エリア別では、全てのエリアにおいて「飲食店の店員・スタッフと交流した」が最も高いが、その他では、海の京都は「飲食店で地元の人と交流した」、森の京都は「道を尋ねた」、お茶の京都は「体験ツアーの中で地元の人と交流した」の割合が上位に来ており、エリアによりやや異なっている。
- ・国別では、台湾は「飲食店の店員・スタッフと交流した」、「飲食店で地元の人と交流した」、「道を尋ねた」、その他アジアは「観光案内所で交流した」と「道を尋ねた」の割合が全体と比較して高い。

(9) エリアへの再訪問意向と推奨度

【再訪問意向】

			全く 思わない	思わ ない	やや 思わ ない	ど ちら でも ない	や や 思 う	思 う	大 変 思 う	無 回 答
調査数 (n=172)			-	0.6	0.6	5.2	12.8	44.8	35.5	0.6
時 調 期 査	夏季調査 (7-9月期) (n=86)		-	-	-	5.8	9.3	45.3	39.5	-
	秋季調査 (10-12月期) (n=86)		-	1.2	1.2	4.7	16.3	44.2	31.4	1.2
調 査 地 点 別	海の京都 (n=50)		-	-	-	10.0	14.0	46.0	28.0	2.0
	森の京都 (n=50)		-	2.0	-	4.0	22.0	52.0	20.0	-
	お茶の京都 (n=47)		-	-	-	4.3	4.3	34.0	57.4	-
	竹の里・乙訓 (n=-)		-	-	-	-	-	-	-	-
	京都市 (n=25)		-	-	4.0	-	8.0	48.0	40.0	-
居 住 地 別	台湾 (n=76)		-	-	-	2.6	21.1	43.4	32.9	-
	中国 (n=26)		-	3.8	3.8	7.7	7.7	61.5	15.4	-
	香港 (n=14)		-	-	-	28.6	14.3	42.9	14.3	-
	その他アジア (n=21)		-	-	-	4.8	-	61.9	33.3	-
	欧州 (n=20)		-	-	-	-	10.0	35.0	50.0	5.0
	北米 (n=13)		-	-	-	-	-	15.4	84.6	-
北アフリカ (n=2)		-	-	-	-	-	-	100.0	-	
訪 問 回 数 別	初めて (n=57)		-	1.8	1.8	3.5	8.8	38.6	45.6	-
	2回目 (n=16)		-	-	-	6.3	12.5	68.8	12.5	-
	3回目 (n=18)		-	-	-	5.6	16.7	55.6	22.2	-
	4回目以上 (n=81)		-	-	-	6.2	14.8	42.0	35.8	1.2

※ 全体より5%以上高い値

- ・エリアへの再訪問意向は、「思う」が44.8%で最も高く、次いで「大変思う」が35.5%となっており、「肯定的回答（「やや思う」と「思う」、「大変思う」を合わせた回答）」の割合は93.1%と高い。
- ・調査時期別では、夏季調査と秋季調査ともに「肯定的回答」の割合は9割を超えている。
- ・エリア別では、「肯定的回答」が海の京都は9割を下回ったが、森の京都、お茶の京都、京都市は9割を超えており、高くなっている。
- ・国別では、「肯定的回答」の割合が香港は71.5%、中国は84.6%となっており、他の国の方に比べるとやや低い。
- ・訪日回数別では、全てにおいて「肯定的回答」が9割を超えている。一方、「大変思う」の割合は初めてに比べて4回以上では減少をしており、満足度の度合いが落ちている。

【他人への推奨度】

(%)

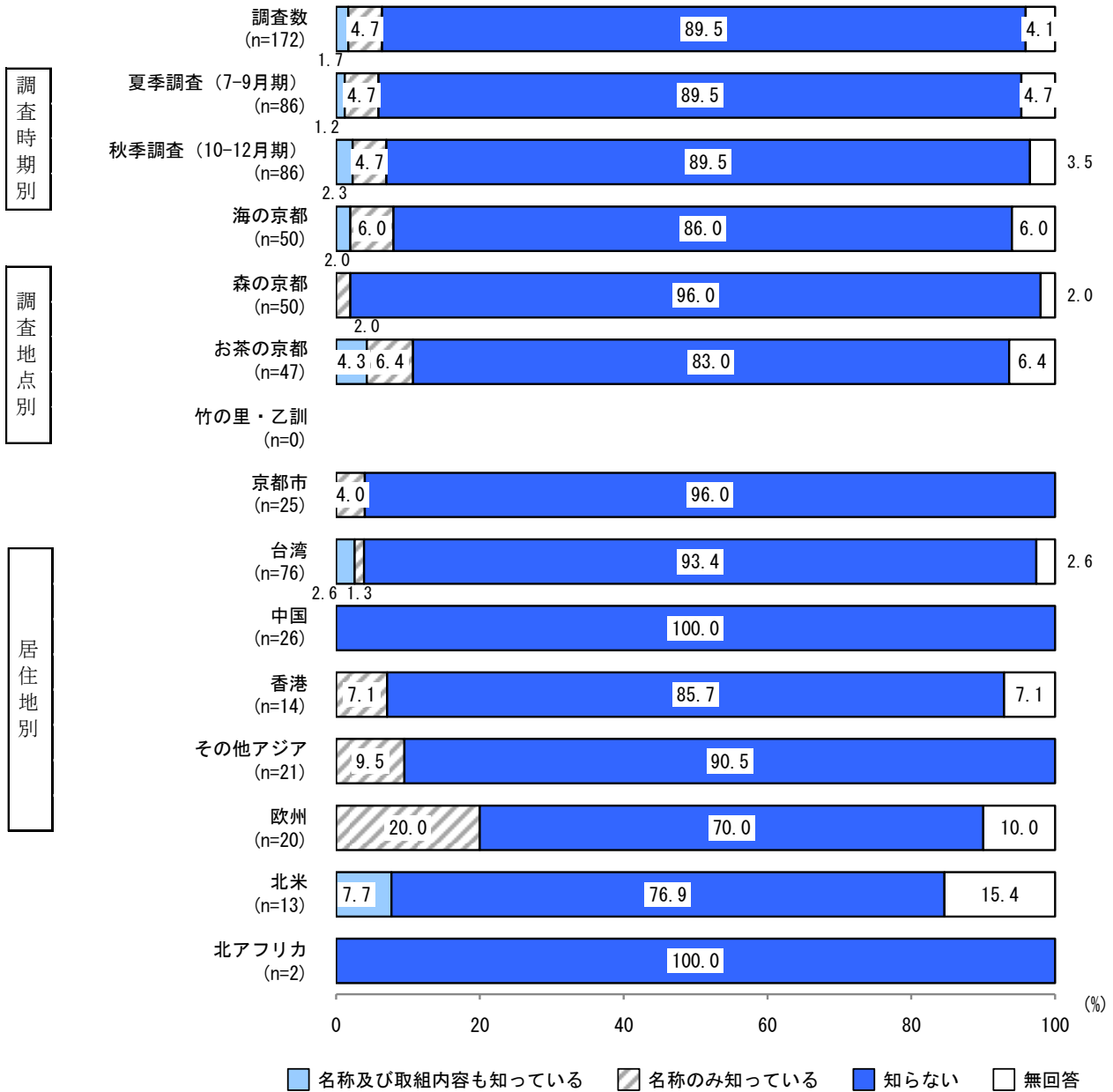
		全く思わない	思わない	やや思わない	どちらでもない	やや思う	思う	大変思う	無回答
調査数 (n=172)		-	-	0.6	4.7	9.9	45.9	38.4	0.6
時 調 期 査	夏季調査 (7-9月期) (n=86)	-	-	-	5.8	7.0	44.2	43.0	-
	秋季調査 (10-12月期) (n=86)	-	-	1.2	3.5	12.8	47.7	33.7	1.2
調 査 地 点 別	海の京都 (n=50)	-	-	-	8.0	14.0	42.0	34.0	2.0
	森の京都 (n=50)	-	-	-	4.0	18.0	56.0	22.0	-
	お茶の京都 (n=47)	-	-	-	4.3	-	38.3	57.4	-
	竹の里・乙訓 (n=-)	-	-	-	-	-	-	-	-
	京都市 (n=25)	-	-	4.0	-	4.0	48.0	44.0	-
居 住 地 別	台湾 (n=76)	-	-	-	1.3	15.8	44.7	38.2	-
	中国 (n=26)	-	-	-	7.7	11.5	65.4	15.4	-
	香港 (n=14)	-	-	7.1	28.6	7.1	35.7	21.4	-
	その他アジア (n=21)	-	-	-	4.8	-	61.9	33.3	-
	欧州 (n=20)	-	-	-	-	5.0	40.0	50.0	5.0
	北米 (n=13)	-	-	-	-	-	15.4	84.6	-
	北アフリカ (n=2)	-	-	-	-	-	-	100.0	-
訪 問 回 数 別	初めて (n=57)	-	-	-	3.5	8.8	42.1	45.6	-
	2回目 (n=16)	-	-	-	6.3	12.5	68.8	12.5	-
	3回目 (n=18)	-	-	-	5.6	11.1	61.1	22.2	-
	4回以上 (n=81)	-	-	1.2	4.9	9.9	40.7	42.0	1.2

※ 全体より5%以上高い値

- ・他人への推奨度は、「思う」が45.9%で最も高く、次いで「大変思う」が38.4%となっており、「肯定的回答（「やや思う」と「思う」、「大変思う」を合わせた回答）の割合は94.2%と高い。
- ・調査時期別では、夏季調査と秋季調査ともに「肯定的回答」の割合が9割を超えており高い。
- ・エリア別では、「肯定的回答」が全てのエリアにおいて9割を超えており、高い。
- ・国別では、「肯定的回答」の割合が香港は64.2%となっており、他の国の方に比べるとやや低い。
- ・訪日回数別では、全てにおいて「肯定的回答」が9割を超えている。訪日回数による大きな変化は見られない。

(10) 「もうひとつの京都」プロジェクトの認知度

【もうひとつの京都プロジェクトの認知度】



- ・「もうひとつの京都」プロジェクトについては、「知らない」が89.5%で約9割を占めている。
- ・調査時期別では、大きな差は見られなかった。
- ・エリア別では、お茶の京都で「知っている（「名称及び取組内容も知っている」と「名称のみ知っている」を合わせた割合）」が1割を超えている。
- ・国別では、欧州は「名称のみ知っている」の割合が2割となっており、他の国より高い。

(11) 調査地点の認知度について

【調査地点の認知度】

(%)

		全く知らない	知らない	あまり知らない	どちらもない	少し知っている	知っている	よく知っている	無回答
調査数 (n=172)		2.9	5.2	10.5	-	28.5	34.3	17.4	1.2
時 調 期 査	夏季調査 (7-9月期) (n=86)	3.5	5.8	10.5	-	25.6	29.1	24.4	1.2
	秋季調査 (10-12月期) (n=86)	2.3	4.7	10.5	-	31.4	39.5	10.5	1.2
調 査 地 点 別	海の京都 (n=50)	-	2.0	10.0	-	40.0	28.0	16.0	4.0
	森の京都 (n=50)	-	10.0	10.0	-	28.0	42.0	10.0	-
	お茶の京都 (n=47)	6.4	4.3	14.9	-	19.1	34.0	21.3	-
	竹の里・乙訓 (n=-)	-	-	-	-	-	-	-	-
	京都市 (n=25)	8.0	4.0	4.0	-	24.0	32.0	28.0	-
居 住 地 別	台湾 (n=76)	-	2.6	7.9	-	22.4	46.1	19.7	1.3
	中国 (n=26)	7.7	11.5	3.8	-	30.8	19.2	26.9	-
	香港 (n=14)	-	-	-	-	64.3	28.6	7.1	-
	その他アジア (n=21)	-	4.8	14.3	-	47.6	23.8	9.5	-
	欧州 (n=20)	10.0	-	20.0	-	15.0	35.0	15.0	5.0
	北米 (n=13)	7.7	7.7	30.8	-	15.4	23.1	15.4	-
	北アフリカ (n=2)	-	100.0	-	-	-	-	-	-

※ 全体より5%以上高い値

- ・調査地点の認知度は、「肯定的回答（「少し知っている」と「知っている」、「よく知っている」を合わせた回答）」が8割を占めており、調査場所のことを知らずに来た方は約2割となっている。
 - ・調査時期別による認知度に大きな差は見られないが、夏季調査は「よく知っている」の割合がやや高い。
 - ・エリア別では、お茶のエリアを除いて「肯定的回答」が8割となっている。
 - ・国別では、台湾、香港、その他アジアは「肯定的回答」が8割を超えているが、中国(76.9%)、欧州(65.0%)、北米(53.9%)は8割を下回っている。
- 日本人同様に、結果として、あまり知らないと回答している観光地点へ訪れており、知っている(有名な)観光地だけを訪れているわけではない。

【訪問前の関心度】

(%)

		大変低い	低い	やや低い	どちらでもない	やや高い	高い	大変高い	無回答
調査数 (n=172)		0.6	2.9	1.7	18.0	20.9	34.3	19.8	1.7
時 調 期 査	夏季調査 (7-9月期) (n=86)	1.2	2.3	1.2	17.4	22.1	27.9	26.7	1.2
	秋季調査 (10-12月期) (n=86)	-	3.5	2.3	18.6	19.8	40.7	12.8	2.3

調 査 地 点 別	海の京都 (n=50)	-	2.0	4.0	20.0	22.0	30.0	16.0	6.0
	森の京都 (n=50)	-	2.0	-	14.0	26.0	44.0	14.0	-
	お茶の京都 (n=47)	2.1	4.3	2.1	14.9	14.9	38.3	23.4	-
	竹の里・乙訓 (n=-)	-	-	-	-	-	-	-	-
	京都市 (n=25)	-	4.0	-	28.0	20.0	16.0	32.0	-

居 住 地 別	台湾 (n=76)	-	-	3.9	17.1	22.4	36.8	18.4	1.3
	中国 (n=26)	-	11.5	-	11.5	15.4	38.5	23.1	-
	香港 (n=14)	-	-	-	14.3	35.7	42.9	7.1	-
	その他アジア (n=21)	-	4.8	-	19.0	28.6	23.8	19.0	4.8
	欧州 (n=20)	-	-	-	20.0	15.0	30.0	30.0	5.0
	北米 (n=13)	7.7	-	-	38.5	7.7	23.1	23.1	-
	北アフリカ (n=2)	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-

※ 全体より5%以上高い値

- ・観光地点訪問前に関心度は、「肯定的回答」が75.0%となっており、高い結果となった。一方、残りの方は訪問前にあまり関心はなく訪れている。全ての方が関心を持って訪れているわけではない。
- ・調査時期別では、夏季調査は「大変高い」の割合が秋季調査に比べて高くなっており、関心を持って訪れたインバウンド観光客が多かった。
- ・エリア別で「肯定的回答」の割合は、海の京都は68.0%、森の京都は84.0%、お茶の京都は76.6%、京都市は68.0%となっており、エリアにより差が見られた。
- ・国別では、北米以外で「肯定的回答」が7割以上となっている。

【訪問時の満足度】

(%)

		調査数	大変低い	低い	やや低い	どちらでもない	やや高い	高い	大変高い	無回答
		(n=172)	-	-	0.6	4.7	17.4	39.5	34.9	2.9
時 調 期 査	夏季調査 (7-9月期)	(n=86)	-	-	-	5.8	16.3	34.9	39.5	3.5
	秋季調査 (10-12月期)	(n=86)	-	-	1.2	3.5	18.6	44.2	30.2	2.3
調 査 地 点 別	海の京都	(n=50)	-	-	2.0	-	24.0	40.0	28.0	6.0
	森の京都	(n=50)	-	-	-	2.0	18.0	54.0	26.0	-
	お茶の京都	(n=47)	-	-	-	8.5	8.5	29.8	48.9	4.3
	竹の里・乙訓	(n=-)	-	-	-	-	-	-	-	-
	京都市	(n=25)	-	-	-	12.0	20.0	28.0	40.0	-
居 住 地 別	台湾	(n=76)	-	-	1.3	2.6	18.4	39.5	36.8	1.3
	中国	(n=26)	-	-	-	3.8	19.2	46.2	30.8	-
	香港	(n=14)	-	-	-	14.3	21.4	57.1	7.1	-
	その他アジア	(n=21)	-	-	-	9.5	23.8	28.6	33.3	4.8
	欧州	(n=20)	-	-	-	-	10.0	30.0	45.0	15.0
	北米	(n=13)	-	-	-	7.7	7.7	38.5	46.2	-
	北アフリカ	(n=2)	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-

※ 全体より5%以上高い値

- ・訪問時の満足度については、9割以上の方が「満足」をしている。
- ・調査時期別による満足度については、大きな差は見られない。
- ・エリア別では、海の京都と森の京都は9割以上、お茶の京都と京都市は8割以上が「満足」と回答しており、全てのエリアにおいて高い満足度となった。京都市は「どちらでもない」が1割を超えており、改善の余地がある。
- ・国別では、「満足」が台湾、中国、北米は9割以上、その他の国は8割以上となっており、高い満足度になっている。

(12) 総合満足度

【総合満足度】

(%)

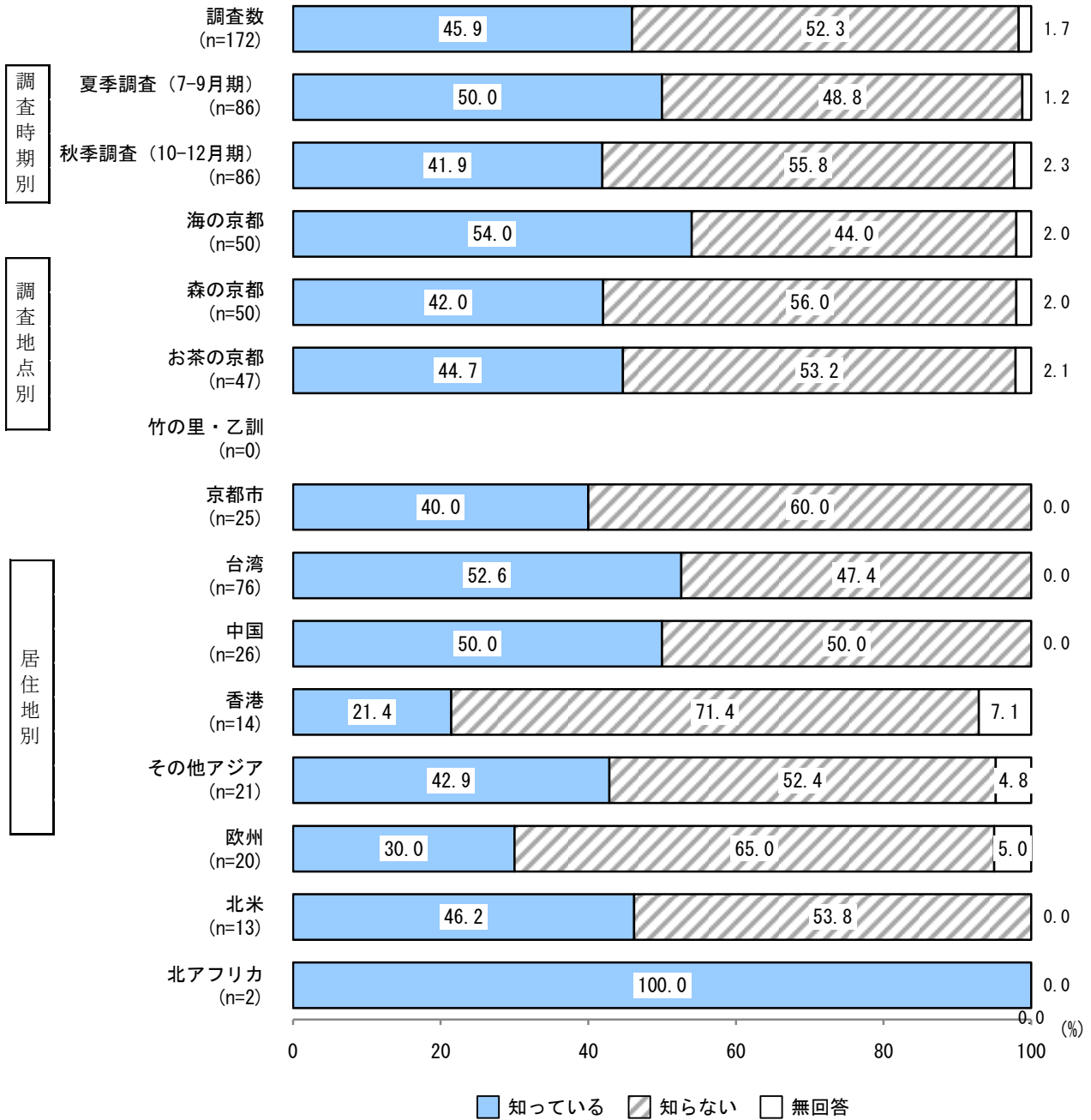
		調査数	大変不満	不満	やや不満	どちらでもない	やや満足	満足	大変満足	無回答
		(n=172)	-	-	-	0.6	8.7	47.7	40.7	2.3
時 期 別	夏季調査 (7-9月期)	(n=86)	-	-	-	-	10.5	43.0	43.0	3.5
	秋季調査 (10-12月期)	(n=86)	-	-	-	1.2	7.0	52.3	38.4	1.2
調 査 地 点 別	海の京都	(n=50)	-	-	-	-	10.0	54.0	32.0	4.0
	森の京都	(n=50)	-	-	-	-	12.0	60.0	28.0	-
	お茶の京都	(n=47)	-	-	-	-	8.5	27.7	59.6	4.3
	竹の里・乙訓	(n=-)	-	-	-	-	-	-	-	-
	京都市	(n=25)	-	-	-	4.0	-	48.0	48.0	-
居 住 地 別	台湾	(n=76)	-	-	-	-	6.6	56.6	35.5	1.3
	中国	(n=26)	-	-	-	-	7.7	57.7	34.6	-
	香港	(n=14)	-	-	-	7.1	14.3	57.1	21.4	-
	その他アジア	(n=21)	-	-	-	-	23.8	47.6	28.6	-
	欧州	(n=20)	-	-	-	-	5.0	25.0	60.0	10.0
	北米	(n=13)	-	-	-	-	-	-	92.3	7.7
	北アフリカ	(n=2)	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-
訪 問 回 数 別	初めて	(n=57)	-	-	-	-	7.0	43.9	47.4	1.8
	2回目	(n=16)	-	-	-	-	6.3	56.3	37.5	-
	3回目	(n=18)	-	-	-	-	16.7	55.6	27.8	-
	4回目以上	(n=81)	-	-	-	1.2	8.6	46.9	39.5	3.7

※ 全体より5%以上高い値

- ・総合的な満足度は、ほぼ100%の方が「肯定的回答」をしており、非常に高い満足度となった。
- ・調査時期別による満足度に大きな差は見られなかった。
季節や時期による変動は見られず、高い満足度を得られている。
- ・エリア別では、全てのエリアにおいて「肯定的回答」が9割を超えており、お茶の京都と京都市は「大変満足」が4割を超えており、高い満足度を得られている。
- ・国別では、全ての国において「肯定的回答」が9割以上となっている。特に欧州と北米は「大変満足」が6割以上となっている。
- ・訪日回数別では、全てにおいて「肯定的回答」が9割を超えている。一方、「大変思う」の割合は初めてに比べて、4回以上では減少をしており、満足度の度合いが落ちている。

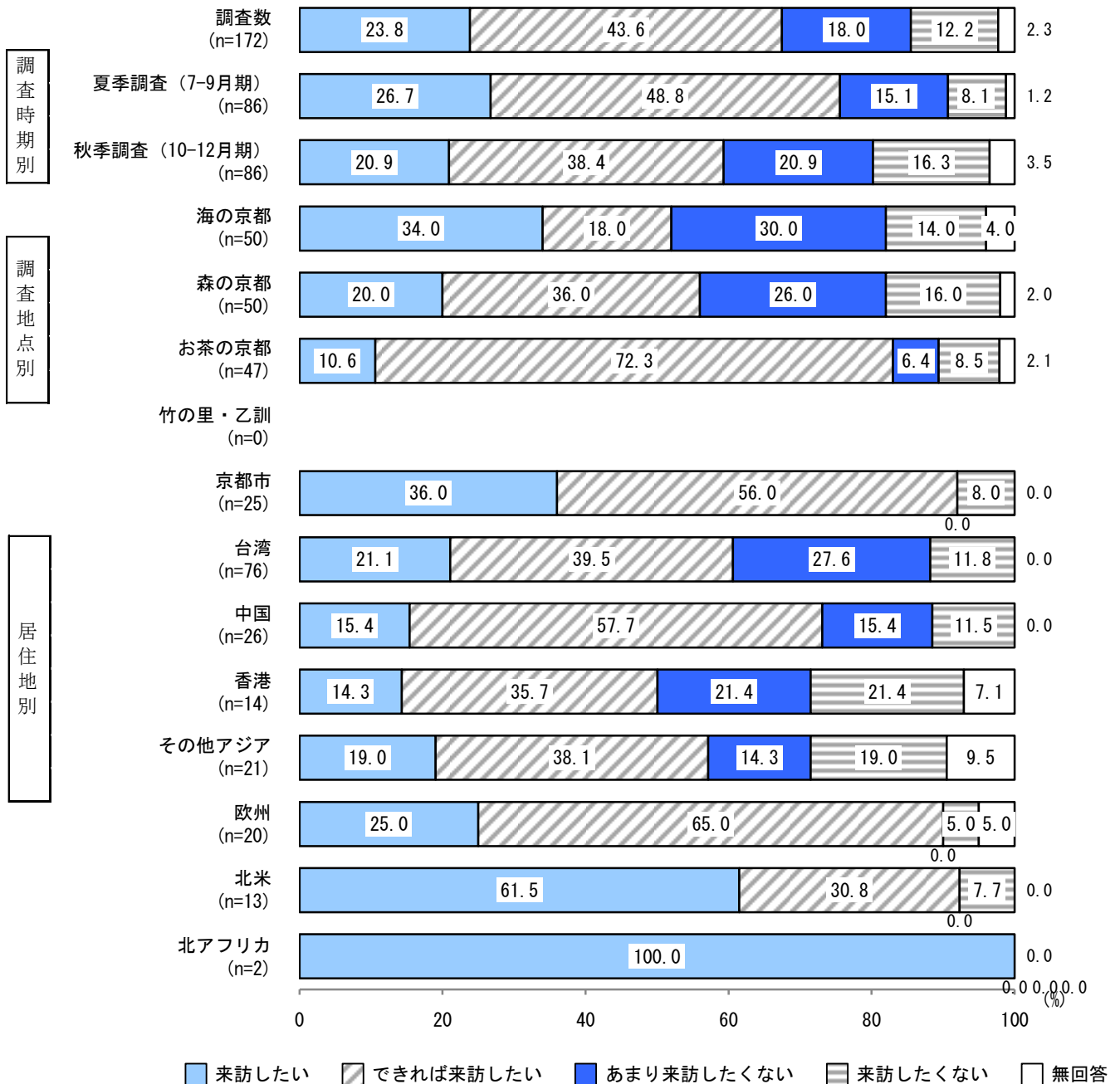
(13) 日本国際博覧会の開催認知度と来訪意向

【日本国際博覧会の開催認知度】



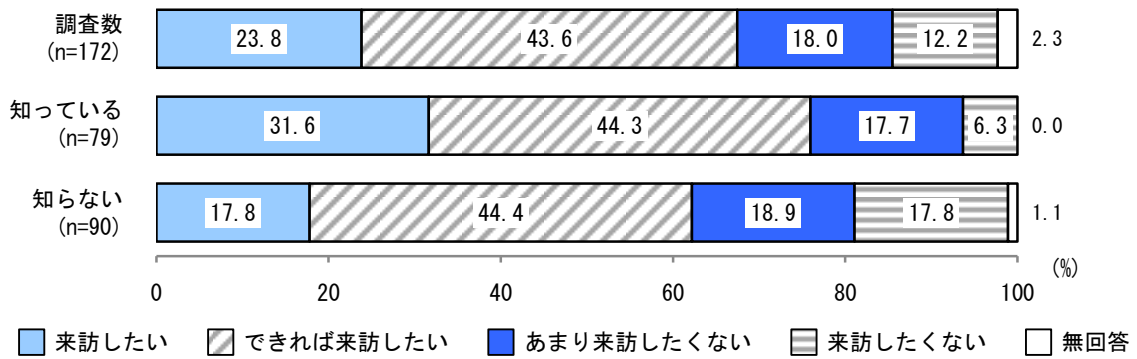
- ・日本国際博覧会の開催認知度について、「知っている」と「知らない」で若干「知らない」が高くなっている。
- ・調査時期別では、夏季調査は「知っている」と回答した割合が秋季調査に比べて高い。
- ・エリア別では、海の京都は「知っている」が半数を超えている。
- ・国別では、香港、その他アジア、欧州、北米は「知らない」が過半数を超えており、特に香港は7割を超えている。

【日本国際博覧会の来訪意向】



- ・日本国際博覧会の来訪意向について、「肯定的回答（「来訪したい」と「できれば来訪したい」を合わせた回答）」の割合が約7割を占めており、インバウンド観光客の来日が期待できる結果となった。
- ・調査時期別では、「肯定的回答」が夏季調査は75.5%、秋季調査は59.3%と調査時期で差が見られる。
- ・エリア別では、「肯定的回答」は、海の京都と森の京都は5割台、お茶の京都と京都市は8割以上とエリアにより差も見られる。
- ・国別では、欧州と北米は「肯定的回答」が9割以上となっているが、香港は半数となっており、国により受け取り方が異なっている。

【日本国際博覧会の認知度別来訪意向】



- ・日本国際博覧会の来訪意向について、認知度別では「肯定的回答」の割合が「知っている」と回答した方は7割以上を占めており、「知らない」と回答した方は約6割となっており、認知度により来訪意向に差が表れている。

IV 調査結果まとめ・今後の方向性

【実態調査】

(対象者の属性 6 ページ)

- ・回答者の居住地の約4割は関西在住（京都府を除く）、1/3は京都府在住となっており、関西圏在住が全体の3/4と多く見られた。
年齢層では、「40歳以上」が70.6%（70歳以上は11.5%）と7割を占めており、「40歳代～60歳代」が高くなっている。

(旅行の状況 9 ページ)

- ・宿泊を伴う旅行は41.5%となっており、4割以上を占める。また、宿泊を伴う旅行の割合は令和4年（43.1%）より微減しているが、大きく変わらない。また、国の統計で宿泊旅行統計調査においても令和4年1月～12月（確定値）では、京都府の延べ宿泊者数は前年比+77.1%と増加傾向で、今後もこの傾向が続くものと考えられる。

(URL : https://www.mlit.go.jp/kankocho/news02_000518.html)

宿泊場所からのエリア内周遊観光をより推奨し、エリア内の消費額アップや宿泊数の増加につなげることが必要となる。

- ・関西圏は日帰りが中心、それ以外の地域は宿泊を伴う旅行が過半数を占めており、地域ごとにアピールポイントを変えることが必要となる。
- ・近隣府県では、「兵庫県」（55.4%）へ宿泊する割合が高い。
（インバウンド観光客は「大阪府」が85.2%）
- ・府内の宿泊場所は、府内宿泊市町村は、海の京都を含む周辺市町村が中心となっているが、京都市への宿泊が時期により1割～2割存在しており、こちらの観光客の地域内宿泊へ取り込みを促す方策の検討も今後検討をしていきたい。

(京都観光への誘致 13 ページ)

- ・京都府へ訪問経験のある方が海の京都を旅行する傾向が伺える。（海の京都において、京都府へ「初めて来た方」は7.0%、海の京都は「初めて来た方」は33.1%、この差は京都観光のリピーター）
今後も観光客を増やす手立ては2つ考えられ、1つ目は「京都府へ観光に来た方を海の京都へ誘致」、2つ目は「京都府へ観光経験がない方を誘致」、この2つが今後重要。
観光客増加の即効性は低い、「海の京都以外」を訪れている観光客に対してのアピールを行うことで、次回の京都観光の際に海の京都を訪れてもらうための方策も検討する余地はある。
- ・海の京都は「兵庫県」に宿泊をしている方が多いため、海の京都では「兵庫県（北部）」からの観光周遊ルートを再設定や見直し等を行い、他府県に来た観光客の誘致が可能。隣接県・市町村と共同して誘致を進めることも検討する必要がある。

(周遊ルートについて 22ページ)

- ・調査地点前後の訪問地については、取りまとめの通りとなっているが、エリア（市町村）で想定をしている観光ルートになっているか現状と照らし合わせて検討する必要がある。
また、取りまとめの上位の観光地点において、周辺の観光施設案内等を掲示することで、エリア内周遊の増加につなげることが可能。
地域を運行している鉄道やバス事業者とより一層連携することも必要となる。

(誘致する観光客のエリアについて 24ページ)

- ・観光客については、上記にも示しているが、関西圏の観光客が多数を占めている。しかし、旅行費用のグラフに示している通り、旅行の費用総額は、関西は京都府内が約13,000円、エリア内が約12,000円、京都市は京都府内が約6,400円、エリア内が約5,700円。一方で、当然のことではあるが、海外を含め遠方になればなるほど、旅行費用総額はアップしている。
観光庁の「旅行・観光消費動向調査」の2023年の年間速報値では、日本人の国内旅行における平均単価は43,995円/人（宿泊旅行63,212円/人、日帰り旅行19,023円/人）となっている。
実態調査では、府内の費用のみを聴取しているため厳密に比較はできないが、平均単価のみで見れば、「関東」（37,174.9円/人）に近い金額となる。
また、今回の調査における旅行人数は、「関東」からの旅行人数（97人）と「中部」からの旅行人数（150人）を比較すると「中部」の方が1.55倍となっている。旅行費用の面では、「関東」（37,174.9円/人）と「中部」（20,470.4円）を比較すると「関東」が1.82倍の費用を使っている。
平均旅行費用や調査対象となった旅行人数から、今後誘致を行うべきエリアについては、訪日観光客は当然のこととなるが、国内では「関東」からの誘致を積極的に進めるべきである。
前述はしているが、長期的な視点での誘致も必要となることから、「関東」から、「京都観光」へ来ている方への2回目以降の観光地としてのアピールも有効と考えられる。

【満足度調査－日本人】

(対象者の属性 36 ページ)

- ・回答者全体の居住地の 52.7%は関西圏在住、16.8%は京都府在住、11.1%は「中部」、10.9%は「関東」となっている。

現在、エリアが行っている観光客誘致の地域（居住エリア）と相違がないことを確認する必要がある。

(旅行の状況 39 ページ)

- ・宿泊を伴う旅行は 49.8%となっており、全体の約半数を占めている。実態調査よりも高い割合となっている。
 - ・実態調査同様に、関西圏と京都府を除くエリアでは宿泊の割合が半数以上を占めており、関西圏は日帰りで楽しめる周遊や観光地の案内、関西圏以外では宿泊を伴う周遊や観光地巡りが必要。（実態調査同様）周遊や観光地巡りについては、実態調査の結果を踏まえた周遊の検討が必要。
- 海の京都以外で、他に訪れる旅行先は「府外」（51.0%）が半数以上を占めており、「京都市」（39.3%）、「森の京都」（10.3%）となっている。

(旅行の際に重視した点 42 ページ)

- ・観光の際に重視した点は、「観光地・訪問スポット」を重視する割合が 79.5%で最も高く、次いで「季節」が 18.7%となっている。訪れたい観光スポットを中心に旅行プランの検討がされていることが伺える。

受け入れ側は、人気の観光スポットと組み合わせた周遊プランなどを作成することで、新しい周遊が生まれ、点を線にすることにより、地域経済の活性化にもつながる。

既に実施をしていることに含まれるが、周遊ルートには、自家用車で周遊できる観光地、電車やバス等で周遊する観光地とパターンを分けて細分化するなどの方策が必要かもしれない。

(キャッシュレス決済について 47 ページ)

- ・キャッシュレス決済については、時代の流れとして今後も利用者は増えると考えられるため、より一層対応している施設や店舗を増やす必要がある。

一方、問題点として、施設側は設備や機材の設置が必要となり、それに伴う費用などが発生することから敬遠している施設も一定数存在すると考えられる。京都府や各エリアでどこまで普及の支援が出来るかが今後の課題である。特に、クレジットカードについては、利用率が 22.8%と他のキャッシュレス決済より高く、利用できなかった手段としても 28.3%で最も高いため、こちらの普及から進める必要があるかもしれない。

(地元の方との交流について 52 ページ)

- ・地元の方との交流は、観光交流、地域間交流といった視点では大変重要ではあるが、観光客にとっては、まだ根付いていない文化と言える。

地元の方と交流することのメリットや利点などについて、観光客に認知させることから始めることが必要となる。

その上で観光客自身が旅行先の地元の方と交流をしたいと考えるような意識の熟成も必要である。

(エリアの再訪問意向と他人への推奨 53ページ)

- ・エリアへの再訪問意向と他人への推奨度は、ともに「肯定的回答」が約9割を占めており、非常に高い結果となった。これがリピーターや新規観光客の獲得に繋がっている。

(訪問地について 57ページ)

- ・訪れる観光地については、詳しく知らずともきっかけがあれば観光客は訪れており、その場所に観光地があることを認知させることが重要である。
観光客全ての方が関心を持って訪れているわけではないため、認知度同様に観光地点へいかにして来てもらうかということが非常に重要。

(満足度 59ページ)

- ・調査地点の満足度、総合的な満足度ともに「肯定的回答」の割合が高い結果となった。今後も観光地点や総合的な満足度を維持することで、リピーターを増やすことが可能である。

(滞在や移住形態について 61ページ)

- ・興味のある滞在や居住形態は、性別や年代により好みが分かれているが、29歳以下の若年層にて興味を持っている人が見られた。

エリアにて進めている滞在や移住形態のターゲット層と今回のアンケート結果による興味を持っている層にズレが生じていないことは確認する必要がある。

回答者の半数以上は、滞在や移住形態について、「特になし（興味がない）」と回答をしており、観光地としてのイメージが強く、昨今話題である移住や定住、田舎暮らしといったイメージとは外れているのかもしれない。「観光地としての京都府」ではなく「滞在や移住先としての京都府」としたイメージを構築する必要性もある。そのような中で推進をしていくことは容易ではないと考えられる。

エリアにてターゲットの厳選をした上で行わないと事業としての成果が表れにくいと考えられる。

【満足度調査－インバウンド（全体版調査結果より）】

（対象者の属性 67ページ）

- ・回答者全体の国の44.2%は「台湾」、15.1%は「中国」、12.2%は「その他アジア」、11.6%は「欧州」となっている。しかし、エリアにより割合は大きく異なっている。全てのエリアにおいて「台湾」が最も高くなっているが、海の京都は46.0%、森の京都は64.0%、お茶の京都は25.5%、京都市は36.0%となっている。サンプル数が少ないため、必ずしもエリア内の訪日旅行者の構成比率になっていないことは留意をしたい。
- ただし、調査現場にて観察をする限り、「台湾」、「中国」「香港」からの訪日旅行者が多いことには間違いはない。また、観光庁が実施している「訪日外国人消費動向調査」においても2023年の速報値として、「台湾」、「中国」が上位であり、多いことに間違いはない。

（入出国時の空港について 68ページ）

- ・アジア圏からの訪日外国人は、「関西国際空港」を利用している割合が非常に高く、「欧州」や「北米」からの旅行者は「成田空港」、「羽田空港」を利用する割合が高い。これは航空会社の航路によるものが原因である。
- 「欧州」や「北米」からの直通便が少ないことが少なからず影響をしている。

（旅行の状況 72ページ）

- ・回答者の訪日経験については、約半数が「4回以上」、1/3が「初めて」となっており、訪日経験のある旅行者が全体の2/3を占めている。しかし、国別では「台湾」と「香港」は「4回以上」、「中国」と「欧州」は「初めて」が半数以上を占めている。
- エリア別では、海の京都は「4回以上」、京都市は「初めて」が半数以上を占めており、訪日経験の回数に違いが表れている。
- 台湾・北米は「4回以上」訪日されている方が多いが、中国・香港・その他アジアは「2回」または「3回」の来訪が多く、いかに次回以降に繋げられるかが重要となる
- ・京都府への来訪回数については、「初めて」が「中国」、「その他アジア」、「欧州」で過半数を超えており、「台湾」と「香港」で4割以上と高い。
- エリア別では、京都府への来訪回数について「森の京都」と「京都市」は「初めて」が6割以上、「海の京都」は36.0%、「お茶の京都」は42.6%と差が出ている。
- ・エリアへの来訪回数については、「北米」を除いて7割以上が「初めて」の来訪となっている。各エリアにおいても同様で、7割以上が「初めて」と回答している。
- ・訪日経験があり、「京都府」への来訪経験もある方が、海の京都やお茶の京都などの京都市以外のエリアへ旅行をしている傾向が見られた。こちらは日本人同様であり、「京都観光」のリピーターが多いことが伺える。

- ・旅行するエリアについては、半数以上が「京都市」を訪れており、また約半数が「府外」を訪れている。「京都市」以外のエリアを周遊する割合は低くなっている。
国別では「香港」は「府外」を訪れる割合が低く、「府内観光」が中心になっている。
京都観光という括りでは「京都市」を訪れることも重要ではあるが、「もうひとつの京都」という観点から見れば、他のエリアへの周遊をいかに促すかが重要となる。

(平均宿泊日数について 75 ページ)

- ・旅行全体では9.4泊、エリア内宿泊は1.6泊となっている。
エリア毎に差が出ている。国別では、旅行全体の宿泊数は、「香港」が最も少なく5.7泊、「北米」が最も多く20.8泊となっている。エリア内宿泊数も同様に差が出ている。サンプル数が少ないため、参考程度になるが、訪日回数が「初めて」と「4回以上」を比較すると、旅行全体の宿泊数は「初めて」の方が多く、エリア内宿泊数は「4回以上」が多くなっている。
訪日旅行が初めての方は、国内の宿泊数は多いが、京都府下の宿泊数はやや少なく、「4回以上」は、国内の宿泊数はやや少ないが、京都府下の宿泊数がやや多くなる傾向がある。
インバウンドにおいても「京都観光」のリピーターを増やすことが重要となる。

(旅行の際に重視した点 77 ページ)

- ・旅行の際に重視した点について、「観光地・訪問スポット」が76.2%、「季節」が44.8%、「現地で体験できること」が34.9%となっているが、夏季調査は「観光地・訪問スポット」や「現地で体験できること」、「現地での食事」、秋季調査は「季節」が重要視されており、季節により差が表れている。
国別では、中国は「日程」や「現地での食事」、香港は「日程」や「観光地・訪問スポット」、欧州では「現地で体験できること」や「現地での食事」、北米は「現地で体験できること」がそれぞれ高い割合となっており、国により重視した点がかなり異なっている。
インバウンド観光客の呼び込みには各国に合わせたセールスが非常に重要。

(エリアへの交通手段について 79 ページ)

- ・エリアへの交通手段については、「鉄道」や「貸切・観光バス」の利用が日本人観光客より多く見られるため、「鉄道」や「貸切・観光バス」で周遊が可能な観光ルートの設定が必要。一方、「レンタカーやカーシェア」を利用する方も一定数存在しており、車での移動についても配慮した観光ルートの設定が必要。
国別では、台湾と中国は「貸切・観光バス」、中国と欧州、北米は「新幹線」を利用する割合が高く、それぞれの国に合わせた移動手段の設定も同時に検討する必要がある。

(訪問の際の情報源について 80 ページ)

- ・訪問の際の情報源については、「家族・友人」が28.5%、「YouTube」が18.6%、「旅行ガイド・口コミサイト」が18.0%、その他に「旅行会社」、「Facebook」、「Instagram」などが挙がっており、日本人観光客より高くなっている。
海の京都は「Facebook」や「その他HP」、森の京都は「旅行会社」や「YouTube」、お茶の京都は「旅行ガイド・口コミサイト」、京都市は「旅行会社」の割合が他のエリアや全体と比較して高い。
エリア毎に見ている情報源が異なっており、現在行っている情報発信の拡充が必要となる。
情報の発信としては、WEBを中心とした情報発信を行い、旅行会社とのさらなる提携も必要。

(再訪問意向や他人への推奨度 85ページ)

- ・再訪問意向や他人への推奨度については、「肯定的回答」の割合が高く、「京都観光」のリピーターとして見込むことができる。国別では、「香港」は「肯定的回答」が他の国と比較してやや低くなっており、今後も続くようであれば原因の追究が必要となる。「京都観光」に関する情報発信を継続的に行い訪れたいと思わせる観光地の魅力発信も重要。

(調査地点について 88ページ)

- ・調査地点の認知度は「肯定的回答」が8割を占めており、認知度は高くなっている。国別では、「欧州」や「北米」で「否定的回答」がやや多くなっており、あまり有名ではない場所にも観光として訪れている。こちらは日本人観光客と同様になるが、有名ではなくとも、観光地がある（観光地である）ことを周知することが必要であり、観光客は存在を認知していれば来訪する。
調査地点の関心度についても認知度と同様に「肯定的回答」が75.0%と高くなっている。関心度についても、「どちらでもない」と回答している割合が一定数存在するが、来訪をされている。
認知度や関心度は総じて高くなっている。また、認知や関心のない方が訪れても高い満足度を得られている。
有名ではない観光地点においても満足度は得られているため、有名な観光地点のみを情報発信する必要はなく、周遊が可能な観光地点を一緒に情報発信する必要がある。

(総合満足度について 91ページ)

- ・全体の9割以上の方が「満足」をしている。エリア別や国別においてもほぼ全てにおいて高い満足度が得られている。

(日本国際博覧会について 92ページ)

- ・日本国際博覧会の開催認知度については、「知っている」と「知らない」がほぼ半数であり、認知度は決して高いとは言えない。一方で「来訪はしたい」と考えるインバウンド観光客は多く見られた。日本国際博覧会へ来たインバウンド観光客を京都観光へいかに取り込むかについては、今後十分に検討する必要がある。